

京 都 大 学

結核胸部疾患研究所年報

昭 和 6 2 年 度

(1 9 8 8 年 3 月)

京都大学結核胸部疾患研究所

京 都 大 学

結 核 胸 部 疾 患 研 究 所 年 報

昭 和 62 年 度

(1987年)

京都大学結核胸部疾患研究所職員

(昭和63年3月30日現在)

所 長 教 授 大 島 駿 作

(内科学第一部門)

主任教授：久世文幸，助教授：川合 満，講師：倉沢卓也，助手：網谷良一，村山尚子，田中榮作，講師（非常勤）：今井節朗，中井 準，田中健一，岩田猛邦，辻野博之，中西通泰，技官：本間トキエ，技能補佐員：片岡和美

(内科学第二部門)

主任教授：大島駿作，助教授：泉 孝英，講師：門 政男，助手：北市正則，松井祐佐公，平田健雄，講師（非常勤）：日置辰一郎，中島道郎，佐藤篤彦，杉本幾久雄，今井弘行，中山昌彦，技官：今井保代，技能補佐員：谷岡文子，今村美貴，奥田敦子

(胸部外科学部門)

主任教授：人見滋樹，助教授：和田洋己，講師：田村康一，助手：岡田賢二，青木 稔，千原幸司，講師（非常勤）：吉栖正之，秋山文彌，香川輝正，草川 實，玉井 直，事務補佐員：高 淳恵，技能補佐員：石橋浩一，寺本奈尾美

(病理学部門)

主任教授：竹田俊男，助教授：鈴木康弘，助手：細川昌則，樋口京一，講師(非常勤)：馬場満男，里内 清，岩倉洋一郎，技官：松下隆寿，小岸久美子，岩井昭一，技能補佐員：門田一美，医員：藤田葉子，内木宏延，(研修医)加藤星河

(細菌血清学部門)

主任教授：桂 義元，助教授：細野正道，講師：喜納辰夫，助手：藤本真慈，鏑田武志，講師(非常勤)：徳永徹，湊 長博，佐渡敏彦，技能補佐員：岡田洋子

(細胞化学部門)

主任教授：永田和宏，助教授：大川欣一，助手：平芳一法，講師(非常勤)：矢原一郎，安本 茂，祖父江憲治，技官：島田道子，事務補佐員：坪田晴子

(臨床肺生理学部門)

主任教授：久野健志，助教授：大井元晴，佐藤公彦，講師：三嶋理晃，助手：陳 和夫，講師(非常勤)：山林

一, 仲田 祐, 山田久和, 太田和夫, 中川正晴, 加藤幹夫, 阿部光幸, 伊藤春海, 小野公二, 技能補佐員: 服部央子, 石田嘉子

(事務部)

事務部長: 馬場傳次, 管理課長: 樋田義久, 庶務掛長: 塩見裕之, 同主任: 生駒時秀, 同事務官: 池下和美, 水原貞子, 藤木清文, 事務補佐員: 杉山智美, 能田直子, 經理掛長: 佐野重信, 同主任: 野元頼子, 北野和男, 同事務官: 中久保隆雄, 天野浩明, 山腰俊昭, 事務補佐員: 中瀬安子, 施設掛長: 谷 泰雄, 技官: 人見博和, 松浦 康, 小西喜一郎, 業務課長: 佐藤文宣, 医事掛長: 畠中秀雄, 同主任: 田原 親, 事務官: 野田芳子, 田村長生, 殿崎雅弘, 久富文志, 技官: 竹内孝子, 事務補佐員: 集治昌代, 中村房枝, 澤井晃子, 大谷小百合, 収入掛長: 橋本修身, 事務官: 藤井芳克, 関 保子, 事務補佐員: 多田真由美

(附属感染免疫動物実験施設)

施設 長(兼) 教授: 竹田俊男, 助教授: 前田道之, 技官: 安岡倉一, 大字雪雄, 近藤照子, 高沖悠子

(電子顕微鏡室)

技官: 増田 稔

(附属病院)

病院長(兼) 教授: 久世文幸

(第一内科診療科)

科 長(兼) 教授: 久世文幸, 外来医長(兼) 助教授: 川合 満, 病棟医長(兼) 講師: 倉澤卓也, 医員: 鈴木克洋, (研修医), 西村尚志, 嶋岡洋海, 河村哲治, 杉田孝和, 長谷川吉則, 富崎洋一

(第二内科診療科)

科 長(兼) 教授: 大島駿作, 外来医長(兼) 助教授: 泉 孝英, 病棟医長(兼) 講師: 門 政男, 医員: 長井苑子, 鐔田利恵子, (研修医) 奥田 薫, 川口英人, 公文正仁, 小泉 聡

(外科診療科)

科 長(兼) 教授: 人見滋樹, 外来医長(兼) 助教授: 和田洋己, 病棟医長(兼) 講師: 田村康一, (研修医) 石田久雄, 植田充宏, 奥田訓裕

(理学呼吸器科診療科)

科 長(兼) 教授: 久野健志, 外来医長(兼) 助教授: 佐藤公彦, 病棟医長(兼) 助教授: 大井元晴, 医員: 田中恵美子(研修医) 屯 英夫, 田中嘉人, 大塚直紀, 中出雅治

(検査部)

検査部長(兼) 助教授: 木野稔也, 技師長: 木津 啓, 技官: 前田清子, 黒住真史, 春名和代, 山根すま子, 平井 要, 技術補佐員: 冨田由美子, 浅沼由美, 植村知子, 技能補佐員: 林すみ子, 東 杏枝

(放射線部)

放射線部長(兼) 教授: 久野健志, 技師長: 濱川純一, 同主任: 藏岡信良, 技官: 大坂泰夫, 曾我部康之, 灘井智代子, 田中龍蔵, 技能補佐員: 小林 忍, 北 玲子

(麻醉部)

麻醉部長(兼) 助教授: 和田洋己

(輸血部)

輸血部長(兼) 助教授: 川合 満

(手術部)

手術部長(兼) 教授: 人見滋樹

(材料部)

材料部長(兼) 助教授: 和田洋己

(薬剤部)

薬剤部長: 武山正治, 薬剤主任: 澤岡平和, 技官: 藤原壽子, 小林千代子, 川田昌子, 川勝一雄, 薬剤師: 中島

英一，事務補佐員：芦田明子

(看護部)

看護部長：平野照子，看護婦長：小林とよ，松田比佐子，和多田すみ子，西森三保子，山本喜美，副看護婦長：丘 恵子，斉藤千鶴子，末田恵子，技官：大山峯子，小林裕子，稲田ひろ子，山中祥子，柴田佐代子，松本敏枝，藤井喜代子，福田千恵子，濃野ヒロ子，岩佐純子，松原千里，川中マスコ，今西美千乃，小林富貴子，阿部喜代子，寺戸美枝子，山西順子，梅田正子，田尻春代，榊喜久子，高橋わさ子，北川繁子，小林梅野，永利明美，渡部幸子，安藤純子，水上絹子，荻田孝子，三宅重子，平畑早苗，内藤敏子，松田初枝，村西直美，稲垣美智子，湯浅里恵，坂東フサエ，谷内かおり，玄真利子，田中悦子，若村智子，原田芳香，能井美千代，内木カネ子，森朝子，片桐久江，山道美津子，濱村初子，広瀬文代，勇 恵子，朴 貞子，技能補佐員：松本不二，安部川百枝，技術補佐員：秋里 梢，早川泉子，曾我部京子，若松栄子，鈴木早苗，五箇直美，鈴木淑代，梅田正子，蒲田志奈恵

教 官 人 事

胸部外科学部門 神 頭 徹 助手

京大医学部を昭和54年3月に卒業し，直ちに胸部外科教室寺松孝教授のもとに入門し，島田市民病院呼吸器科，ついで倉敷中央病院呼吸器科にて，呼吸器外科の修練を積んできた。昭和61年4月からは古巣の胸部研にもどり，免疫研究施設淀井淳司博士の指導のもとで免疫学の基礎を勉強した。今後は当教室の移植免疫班のチームリーダーとして活躍してもらう予定である。誠実，実直な人物で，コツコツとデータを積み上げていく学究派である。

(人見 滋樹)

細菌血清学部門 藤 本 真 慈 助手

昭和56年京都大学理学部生物々理学科卒。大学院時代は小関治男教授の教室で山岸秀夫先生の指導のもとに胸腺細胞中に小環状 DNA を発見し，これがT細胞抗原レセプター遺伝子の再配列の結果生じたものであることを明らかにした。再配列の機構は利根川進氏が抗体遺伝子に関して提唱したものであり，藤本君が明らかにした小環状 DNA の構造はその再配列機構に実験的根拠を与えることとなったので，一躍注目を集めた。本研究所においても引き続きT細胞の機能及び分化の研究を行なうことになるので，今後の成果が期待される。

(桂 義元)

細菌血清学部門 鏑 田 武 志 助手

昭和56年京大医学部卒。研修医として医学部第二内科で1年，胸部研内科第二部門で1年勤めた後，医学部第二内科の大学院生となる。大学院在学中は胸部研細菌血清部門で自己免疫に関する研究を行なった。自己免疫は自己トレランスと表裏一体をなす免疫学における最も解析困難な問題の一つであるが，鏑田君は抗原レセプターを発現する前と発現後のB系列細胞を分離し，これらから非常に多数のハイブリドマクローンを分離してそのDNA反応性細胞の頻度を検討した。その結果，DNA反応性B細胞はレセプター発現前には正常マウスでも自己免疫系統マウスにも同じく存在するが，レセプター発現後は正常マウスでは消失し，自己免疫マウスでは消失しないことが明らかにされた。この仕事はトレランスの機構解析に正攻法で取組んだ数少ない研究として高く評価されており，今後さらに発展するものと期待されている。

(桂 義元)

感染免疫動物実験施設 前田道之助教授

昨年の細胞化学部門講師昇任につづいて、今回感染免疫動物実験施設助教授に昇任されました。

先生の御経歴、研究内容は昨年の本紀要「教官人事」に記されていますので省略します。数年前の動物委員会では委員長として、山積した難題に正面から取り組まれ、精力的にその解決に活躍されたことは記憶に新しいところです。直接研究にかかわりのない「雑用」の多いポジションとは思いますが、持ち前の包容力と、ねばり強さで、動物飼育条件のより一層の改善に努力していただけるものと期待しています。なお、これまで着実に進展させてこられた先生御自身のテーマである ATL の発症機構の研究が、ますます進展しますよう祈っています。

(竹田 俊男)

 学術集会記録

昭和62年度 京大胸部研学術講演会抄録

胸部疾患の最近の話題

1. 緑膿菌による慢性気道感染症に関する検討

内科学第1部門 田中栄作

緑膿菌 (*P. aeruginosa*) は、通気好気性のグラム陰性桿菌であり、エンドトキシン (LPS) をはじめとして、ムコイド物質 (alginate) や Exotoxin A, Exoenzyme S などのエキソトキシン類、NCF 活性を持つ oligopeptide など多くの生理活性物質を産生する。この緑膿菌による肺感染症は、immunocompromised host に発症する急性肺炎型と、びまん性汎細気管支炎や気管支拡張症などの慢性気道感染症型に大別される。急性肺炎型では肺実質を炎症の主座とし、放置すれば敗血症に進展するのに対して、慢性気管支炎型では常時喀痰中より大量の緑膿菌が検出されるにもかかわらず、炎症は気道周囲に限局しており数年の経過で呼吸不全へと進展する。近年の化学療法剤の進歩や抗体製剤の併用により急性肺炎型の治療成績は格段に進歩したにもかかわらず、慢性気道感染症型では除菌にいたらず耐生菌の出現を促す結果となっているのが現状である。我々は、新たな治療法の開発のために臨床分離株の中からムコイド産生株を使用して健常マウスに実験的慢性気道感染症モデルを作製した。従来の如く噴霧感染や菌液の気管内注入では、臨床分離株の多く (自験25株中12株) が serum sensitive であるために、大葉性肺炎は発症するが、数日以内に自然治癒する。そこで菌を径 100 μ の寒天ビーズに混入して気管内に注入し細気管支レベルの気道内で増殖させると、膿瘍を形成し1~2週でマウスが死亡する株 (“強毒株”) と、4~6週後まで慢性の気道炎症が持続する株 (“弱毒株”) が認められた。

次に、BALB/c, C57BL, A/J, C57BL bg/bg (以下 beige mouse) の各 inbred mouse に対して気道感染症を発症させ、組織所見及び肺内菌量を比較すると、NK 活性が欠損し、好中球顆粒の proteinase 活性の低下した beige mouse が組織破壊、肺内菌量共に最小という結果が得られた。即ち、この種の感染症では、好中球 proteinase が組織破壊の増悪因子であり、好中球の集積が必ずしも望ましい結果をもたらさない事を示唆していると考えられる。

このように慢性気道感染症は、気道内で増殖した細菌の産生する NCF や LPS による炎症細胞の集積と活性化及び種々の多糖類や蛋白抗原による mucosa 側からの感作が、気管支周囲に限局して持続した局所炎症と考えられ、治療法としても、殺菌による治療が不可能な現時点では、局所炎症をコントロールし組織破壊を防ぐという観点からの検討が必要と考えられる。

2. 喫煙と肺・肺疾患

内科学第2部門 泉 孝 英

呼吸器科領域において喫煙の問題が関心を呼んでいる理由として、第一にはいくつかの肺疾患が喫煙と関係の

あることが明らかにされてきたことであり、第 2 には喫煙はヒトにおける肺傷害の機序を研究する上での恰好のモデルであることが挙げられる。このような観点から『喫煙と肺・肺疾患』について自験成績を中心に報告・解説を行った。

1. 喫煙と関係のある病気

肺気腫は喫煙歴のあるもののみで見られる疾患であり、肺癌、肺好酸球性肉芽腫症、特発性肺線維症には男子喫煙者が多いことが指摘されている。一方、過敏症肺臓炎は喫煙者には希な疾患である。

2. 喫煙によって肺のなかでどのような変化が起こっているか

BALF 所見を非喫煙者、喫煙者間で比較検討することにより、喫煙によって以下のような変化の起こることが認められている。

- (1) BALF 細胞数の増加が認められる。マクロファージの著明な増加だけでなく、リンパ球も増加している。OKT8+ が増加するため、4+/8+ 比は低下している。
- (2) マクロファージの IL-1 産生能は亢進しているが、Colony 形成能は低下している。
- (3) リンパ球の IL-2 産生能は亢進している。また、リンパ球表面上の CD3 抗原量は増加している。しかし、NK 細胞活性は低下している。

3. 本当に喫煙はヒト生体にとって有害だろうか

肺気腫症例の殆どが喫煙者であるところから、喫煙が発症と密接に関係していることはたしかである。しかし、喫煙者の全てが肺気腫に進展するものではない。わが国では欧米に比較して肺気腫症例は少なく、発症頻度は低い。この点について検討する目的で、京都と米国のセント・ルイスの健常人において BALF 細胞所見の比較を試みたところ、好中球の％、数において、セント・ルイスの方が京都の 4—5 倍以上であることが、非喫煙者、喫煙者のいずれにおいても認められた。

肺癌、肺好酸球性肉芽腫症は、男子症例だけについての検討成績では、喫煙者に多い疾患であることは確かであるが、女子症例についてみれば、必ずしも喫煙者に多い疾患ではない。性差に関する問題をも含めての検討が必要である。

まとめ：生活環境、職場環境の向上、抗生物質を中心とする医療の進歩により、病原微生物、職業性傷害因子などの外的要因による呼吸器疾患は激減してきた。代わって、喫煙、所得の向上に伴う喫煙量の増加は、呼吸器疾患の最も重要な外的要因として、気管支喘息、膠原病など内的要因による疾患の増加問題とともに、今後の呼吸器科領域における重要な検討課題である。

3. X線撮影を用いた新しい換気運動評価法——胸部外科手術の評価——

胸部外科学部門 千原幸司

換気運動の評価は Magnetmeter で体表面の胸部と腹部の背腹方向径の変化を計測する方法、Respiratory Inductive Plethysmography で胸部と腹部の横断面積の変化を計測する方法などが確立されたものである。しかし、これらの方法は胸部や腹部の変化の全体的なものを捉えているので、換気の原因力である横隔膜の運動に左右差がある場合、これを捉えることは困難である。そこで、著者らは横隔膜運動を直接評価できる X 線連続撮影を用いた換気運動の評価法を考案し、その有用性を検討した。

方法：初めに被験者は背部を固定し、TLC, RV, FRC の各肺気量位で Static に正側 2 方向胸部 X 線撮影を行なう。次に仰臥位で FRC 位から努力呼吸を行ない、この間に換気量を測定しながら正側 2 方向の胸部 X 線連続撮影 (2/秒×7 秒) する。側面画像において横隔膜頂点の頭尾方向の変位と胸部乳頭線と腹部に貼付された鉛のマークの背腹方向の変位とをデジタイザーで計測し、拡大率を補正し経時的にプロットし、それぞれ横隔膜、胸郭、腹壁の変位波形をうる。これらの変位波形の振幅と位相を指標として各々の運動と相互関係を検討する。正面画像では左右の横隔膜の運動の他、体表面のマークの縦横方向の運動から胸部ならびに腹壁のねじれ運動を検討する。

結果：健常者では横隔膜、胸郭、腹壁の運動は同期していた。これと対照的に 6 本肋骨骨折側では横隔膜と胸郭の運動の位相が 180° ずれ (paradoxical)、健側の両者にも同じ現象が認められた。3 本肋骨骨折側では患側の

み両者に位相のずれが認められた。胸郭成形術後例では当然ながら術側の胸郭の運動の振幅が健側に比べて低下していたが、横隔膜の運動の振幅もまた健側に比べて有意に低下していた。これらのことは骨性胸郭の保全が換気機能を保う上で重要であることを示した。

巨大気腫性肺嚢胞症を横隔膜と胸郭の運動に位相のずれを認めるものや横隔膜の運動が異常な症例（A群）と、横隔膜と胸郭の運動が健常型の症例（B群）とに分類するとA群は呼吸困難や胸痛などで受診した症例が多く、B群では検診などで発見された症例が多かった。肺機能検査ではA群が呼出障害や換気障害を示す一方、B群では肺機能が良好な症例が多かった。また、呼吸困難の強い中下肺野のブラの症例では、胸腹壁がねじれて運動するのが認められた。ブラ切除後A群では術後早期から自覚症状や肺機能の改善がみられ横隔膜と胸郭の位相のずれも改善したが、B群では術後いったん肺機能が低下し、特に正面画像で横隔膜とブラとが同期して運動した症例では回復に時間を要した。この評価法により巨大ブラ症を換気運動に及ぼす影響から病型分類でき、術後の肺機能を予測しうることが示唆された。以上、X線撮影による換気運動の評価法は種々の胸部疾患の病態生理の考察や手術計画において有用であることを示した。

4. 肺機能正常例における呼吸異常

臨床肺生理学部門 陳 和 夫

「肺機能正常例における呼吸異常」として、①mild hypoxia 下の睡眠時呼吸状態、②過換気症候群患者を中心とした呼吸困難患者の呼吸状態について検討した。

① mild hypoxia 下の睡眠時呼吸状態

15.6±0.4%（高度約 2500 m, 国際線航空機内の酸素濃度に相当する。）程度の mild hypoxia 下の睡眠時呼吸を11名の正常人について検討した。安定した stage 2 の睡眠状態に入ったのを確認後、空気呼吸下の呼吸諸量を測定、その後ベンチマスクを使用して回路内に窒素を流し、低酸素状態を作成して mild hypoxia 下の呼吸状態を観察した。11名全例、換気量は mild hypoxia 下になった当初数分間は増大したが、その後徐々に低下した。約10分経過後には、11名中4名において、換気量は低酸素吸入前の空気呼吸下より有意に低下した。この時の SaO₂ は約90%であった。なおこの4名と他の7名の覚醒時、低酸素換気応答及び高炭酸ガス換気応答値には有意差はなかった。この換気量の低下は、hypoxic depression の影響と思われる、hypoxic depression は SaO₂ 90%程度の睡眠時にも、すでに存在する事が明らかとなった。また、hypoxic depression の大小には個人差があると思われる。睡眠時呼吸異常には、apnea の他 hypopnea も存在するが、この hypopnea に hypoxic depression の大小が関与している可能性が示唆された。

② 過換気症候群患者を中心とした呼吸困難患者の呼吸状態

過換気症候群患者の発作時及び非発作時の呼吸状態を、ポリソムノグラフィとほぼ同様な方法で非侵襲的に測定した所、過換気症候群患者においては、安静時1回換気量に対する胸部成分の関与が正常人に比し有意に上昇していた。しかしながら、発作時には一定の傾向は認められなかった。この事より過換気症候群患者においては、非発作時よりすでに正常人とは異なった呼吸調節系の関与が示唆された。また過換気症候群患者を含め、正常人においても、過換気後に無呼吸を含む低換気により、低酸素血症を呈する事があり、特に過換気後に睡眠状態に陥った場合、低酸素血症は増強すると思われた。一般に、過換気症候群患者の治療上、鎮静剤投与が行なわれる事が多いが、鎮静剤投与後の過換気状態からの回復期の低酸素血症については、十分注意が必要であると思われた。

また、慢性の呼吸困難を主訴として来院した、肺機能正常患者3名についても検討を加えた。これらの患者はいずれもが、運動負荷後に過度の過換気を呈し、その回復過程に上記過換気症候群患者群について述べたと同様に低換気によると思われる低酸素血症を呈していた。これらの患者は3名とも安静時 PaCO₂ は 45 Torr 以上と高い傾向がみられ、呼吸調節系の異常が示唆された。以上、従来の肺機能検査上は異常を認めないが、呼吸調節系の異常によると思われる症状、徴候を持った患者は数多く見られ、今后呼吸器疾患患者の評価上、呼吸調節系の関与についても十分考慮すべきであると思われた。

免疫応答の分子機構

胸部研講演会にシンポジウム形式を導入するところみについて

細菌血清学部門 桂 義元

従来、研究所講演会は部門の紹介を兼ねて各部門から1人づつが講演する方式で行なってきた。しかし、この方式だとあまりにもかけ離れた分野の講演が散文的に並ぶだけで、学術講演会という名称になじまないのではないかとの意見もあり、年度ごとにテーマを絞ってシンポジウム形式にしてみようということになった。本年は準備期間が短かかったので、基礎3部門だけが免疫学に関する話題に統一することで意見が一致し、変則的ながらミニシンポジウム形式で出発することになった。

3人の演者で免疫学全体をカバーできるわけではないが、T細胞(藤本)、B細胞(鏑田)の遺伝子レベルの仕事に加えて、九州大学より笹月健彦氏を招いて免疫応答の調節に関する、これも遺伝子レベルの仕事をお話しいただいた。今回のところみが、本研究所学術講演会の発展につながれば幸いである。

1. 4週齢のマウス胸腺細胞に存在する小環状 DNA と T細胞レセプター遺伝子再配列

細菌血清学部門 藤本 真慈

真核細胞中には小環状 DNA というカテゴリーに分類される集団が広く存在している。その生成機構、機能についてはまだ十分解明されていないが、染色体 DNA と相同性をもっていること、またオルガネラやウイルスの環状 DNA とは異なるということが知られている。これまで骨髄、胸腺等の一次リンパ器官の細胞では大型の小環状 DNA が存在することが明らかにされてきた。これらの小環状 DNA は、抗体遺伝子、T細胞レセプター遺伝子の再配列と関連している可能性が考えられるので、4週齢のマウス胸腺細胞に存在する小環状 DNA をクローニングし、そのうち60クローンについて構造解析をおこなった。

小環状 DNA クローン間の相同性を調べた結果、小環状 DNA は染色体の特定領域から出ていることが示唆された。クローンの1つ ME113 には、環状化した際の組換え点が存在していることが Southern blot analysis により明らかになった。次にその塩基配列を決定したところ、T細胞レセプター α 鎖遺伝子 Jセグメント ($J\alpha$) の1つ J_1 と、その約 600 bp 下流に recombinase(s) により認識されると考えられているシグナル配列が head to head につながった reciprocal joint と呼ばれる構造を見いだした。そこで種々の T細胞レセプター α 鎖遺伝子領域をプローブとして小環状 DNA クローンを調べ、塩基配列の決定をおこなったところ、新たな reciprocal joint に加え、germ line 型の $V\alpha$, $J\alpha$ 遺伝子、 $V\alpha$ - $J\alpha$ coding joint さらに $V\alpha$ と $J\alpha$ の間に位置する $J\delta$, $C\delta$ 遺伝子を見いだした。

以上の解析により、4週齢のマウス胸腺細胞に存在する小環状 DNA は T細胞レセプター α 鎖遺伝子が $V\alpha$ - $J\alpha$ 結合する時に切り出された部分が再結合してできたことが明らかになった。

2. 免疫グロブリン κ 鎖遺伝子再構成における2つの機構

細菌血清学部門 鏑田 武志

近年、*in vitro* で B系細胞の分化を観察するすぐれた系がいくつか報告されている。Witte, Whitlock の長期骨髄培養より、種々の分化段階のストローマ依存性 B系細胞株が得られるが、とりわけ pre B 細胞に属する細胞株では高い効率で培養中に κ 鎖の再構成をおこし、B細胞へと分化する。今回、我々は、この中の1つの細胞株 DW100 の κ 鎖再構成を検討した。 κ 鎖の再構成は、deletion mechanism または inversion mechanism の2つの機構によって行われるが、そのほとんどが *inversim* mechanism によっていることが知られている。しかしながら DW100 の再構成では、種の V_k 遺伝子をとるにもかかわらず、その多くは deletion mechanism によっていることが明らかとなった。この現象は、どの V_k が再構成をおこすかが、または2つの機構のどちらがとられるかが何らかの影響をうけていることを示唆している。

3. HLA と連鎖した免疫抑制

九州大学生体防御医学研究所 教授 笹月 健彦

 業 績 目 録

内科学第一部門

〔学 会 発 表〕

1. 結核・非定型抗酸菌症

藤野昇三, 井上修平, 松本鉄也, 山鳥英世, 池田宣昭: 当院における最近5年間の結核関連手術の検討, 第4回日本呼吸器外科学会 (62.5.21. 仙台).

倉沢卓也, 富岡洋海, 鈴木克洋, 山本孝吉, 久世文幸, 黒田直明, 坂東憲司, 種田和清: 気管・気管支結核の臨床的検討, 第10回日本気管支学会総会 (62.6.5. 東京).

河南里江子, 田中栄作, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 加納 正: 肺非定型抗酸菌症に合併した良性単クローン性高 IgA 血症の1例, 第122回日本内科学会近畿地方会 (62.6.20. 大阪).

新実彰男, 山本孝吉, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 山尾 哲, 秋口一郎: 粟粒結核に合併し, 頭部 CT 及び MRI で証明された多発性頭蓋内結核腫の1例, 第59回日本結核病学会, 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.6.27. 京都).

松本鉄也, 足立嘉之, 鈴木 元, 山鳥英世, 森 一彌, 池田宣昭, 井上修平, 藤野昇三: 最近の結核化学療法成績及び結核菌耐性検査成績の検討. 同上 (62.6.27. 京都).

藤野昇三, 井上修平, 松本鉄也, 池田宣昭, 山崎 昇: スポンジ充填術後15年目にスポンジの部分摘出を施した結核性膿胸の1例, 同上 (62.6.27. 京都).

井上修平, 藤野昇三, 松本鉄也, 足立嘉之, 鈴木 元, 山鳥英世, 森 一弥, 池田宣昭: 当院における結核患者の死因について, 同上 (62.6.27. 京都).

松本鉄也, 池田宣昭, 金井慶一, 金網史至, 白井史朗, 岩垣克巳, 喜多舒彦, 竹中孝造, 上田英之助, 山崎正保: 難治持続排菌例に対する Ofloxacin の抗結核作用について, 同上 (62.6.27. 京都).

中井 準: 招請講演, 4) 呼吸器診療に占める抗酸菌症の位置, 同上 (62.6.27. 京都).

倉澤卓也: 招請講演, 大学研究所附属病院における肺結核症の位置, 同上 (62.6.27. 京都).

桜井信男, 平佐昌弘, 石井昌生, 笠間敏雄, 村田洋三: Dermatomyositis 治療中に合併した皮膚結核症の1例, 第123回日本内科学会近畿地方会 (62.9.5. 京都).

池田宣昭: 総合指定シンポジウム 6. 結核症の今日的診断(2)抗酸菌の検索, 第42回国立病院療養所総合医学会 (62.10.29. 熊本).

西村一郎, 葵 元奎, 馬場信雄, 池田宣昭, 深谷徳幸, 尹 彦詔, 駒田文彦: 腸結核の全結腸に及んだ1症例, 第42回国立病院療養所総合医学会 (62.10.30. 熊本).

藤田真由美, 遠藤顕子, 荻野篤彦, 久世文幸: Mycobacterium chelonae 皮膚感染症の1例, 日本皮膚科学会中部支部会 (62.11.1. 和歌山).

特別講演, 久世文幸: 非定型抗酸菌症の実験的研究, 第30回日本感染症学会中日本地方会総会 (62.11.14. 神戸).

嶋崎洋一, 富岡洋海, 加藤元一, 鈴木克洋, 村山尚子, 田中栄作, 山本孝吉, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸: 広汎な活動性病変を認めた粟粒結核の一例, 第60回日本結核病学会, 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.11.14. 京都).

杉田孝和, 富岡洋海, 鈴木克洋, 村山尚子, 田中栄作, 網谷良一, 山本孝吉, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸: 血痰にて発症した M. gordonae 症の一治験例, 同上 (62.11.14. 京都).

2. 腫 瘍

橋平 誠, 横見瀬裕保, 宮本好博, 富田哲也, 牛田伸一, 桂 栄孝: 完全縦隔内甲状腺腫の1例. 第46回, 日

本肺癌学会関西支部会 (62.2.21. 神戸).

岩崎博信, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 気管支カルチノイド14例の臨床的検討, 同上 (62.2.21. 神戸).

横見瀬裕保, 橋平 誠, 宮本好博, 岡田幾太郎, 牛田伸一, 桂 栄孝: 気管管状切除を行なったカルチノイドの1例, 同上 (62.2.21. 神戸).

石田 直, 中原由紀子, 中原保治, 牛田伸一, 松山栄一, 田村忠雄, 中塚栄治, 松田源治, 桂 栄孝: 腎癌の肺, 胸壁転移2例に対する α -インターフェロンの使用経験, 同上 (62.2.21. 神戸).

田中 茂, 梅宮正志, 川添隆司, 白川太郎, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 鈴木康弘: 血中VIP高値を伴い, WDHA症候群を呈した肺小細胞癌の1例, 同上 (62.2.21. 神戸).

長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 当院での肺癌症例における脳転移例の検討, 同上 (62.2.21. 神戸).

池上裕美子, 河南里江子, 田中栄作, 村山尚子, 網谷良一, 山本孝吉, 倉沢卓也, 川合 満, 久世文幸: 胸部レ線上多発結節性陰影にて発見された腎癌の肺転移の4例, 同上 (62.2.21. 神戸).

坂本廣子, 長谷川幹, 片上信之, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 2年以上 disease free で生存しえた肺小細胞癌症例の検討, 同上 (62.2.21. 神戸).

高嶋義光, 大野暢宏, 岡崎美樹, 武藤 真, 長谷光雄: 肺癌手術症例と重複癌の検討, 第4回日本呼吸器外科学会総会 (62.5.).

富岡洋海, 山本孝吉, 倉澤卓也, 久世文幸, 大川和春: 放射線小量照射にて著明な縮小をきたした扁平上皮癌の1例, 第10回日本気管支学会総会 (62.6.5. 東京).

石田 直, 中原由紀子, 中原保治, 牛田伸一, 松山栄一, 田村忠雄, 中塚栄治, 松田源治, 桂 栄孝: 腎癌の肺, 胸壁転移2例に対する α -インターフェロンの使用経験, 第46回肺癌学会関西支部会 (62.2.21. 神戸).

岩崎博信, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 気管支カルチノイド14例の臨床的検討, 同上 (62.2.21. 神戸).

長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 当院での肺癌症例における脳転移例の検討, 同上 (62.2.21. 神戸).

坂本廣子, 長谷川幹, 片上信之, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 2年以上 disease free で生存しえた肺小細胞癌症例の検討, 同上 (62.2.21. 神戸).

中原保治, 他5名: 喀痰細胞診における脂肪染色一組織型とその出現状態, 第28回日本臨床細胞学会総会 (62.5.22. 大阪).

藤本憲弘, 久保嘉朗, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 大野陽一郎, 小橋陽一郎, 市島国雄: 急激な両側胸水貯留と呼吸困難で発症した悪性リンパ腫の1症例, 第59回日本結核病学会, 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.6.27. 京都).

長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 気管支動脈造影が診断に有用であった肺硬化性血管腫の1例, 同上 (62.6.27. 京都).

山下直己, 北野司久, 辰己明利, 山中 晃, 松井輝夫, 岩田猛邦, 市島国雄, 小橋陽一郎: 縦隔内 Castleman 腫瘍の1切除例, 同上 (62.6.27. 京都).

岩崎博信, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 非切除非小細胞癌の予後因子, 同上 (62.6.27. 京都).

郡 義明, 久保嘉朗, 南部静洋, 田口善夫, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦: PRCA, 低 α -グロブリン血症を合併した胸腺腫の1症例, 同上 (62.6.27. 京都).

郡 義明, 久保嘉朗, 南部静洋, 田口善夫, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: T-cell lymphoma に合併した BOOP の1例, 同上 (62.6.27. 京都).

大野暢宏, 高嶋義光, 橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄: 小腸穿孔をきたした肺癌の一例, 第21回日本肺癌学会北陸地方会 (62.7.11. 金沢).

坂東憲司, 多田公英, 縄田隆平, 浦野 徹, 黒田直明, 倉澤卓也: 縦隔腫瘍で発見された Malignant

Melanoma の1例, 第47回日本肺癌学会関西支部会 (62.7.25. 大阪).

岡崎美樹, 榎 正幸, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 岡田行功, 内田博也: 胸腺脂肪腫の1例, 同上 (62.7.25. 大阪).

河南里江子, 加藤元一, 鈴木克洋, 村山尚子, 倉澤卓也, 久世文幸: 胸腺囊腫から8年間の経過で移行したと考えられる悪性胸腺腫の1例, 同上 (62.7.25. 大阪).

牛田伸一, 池上裕美子, 石田 直, 中原由紀子, 中原保治, 松山栄一, 桂 栄孝, 橋平 誠, 宮本好博: 国立姫路病院における経皮的針吸引生検, 同上 (62.7.25. 大阪).

岡崎美樹, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 本院における肺癌化学療法関連死亡症例の検討, 同上 (62.7.25. 大阪).

長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 肺癌に対する化学療法に伴う白血球減少に関する臨床的検討, 同上 (62.7.25. 大阪).

片上信之, 岡崎美樹, 長谷川幹, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 倉澤卓也, 久世文幸, 他5施設: 多施設共通プロトコールによる切除不能肺癌の治療, 同上 (62.7.25. 大阪).

望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 松井保憲, 市島国雄, 小橋陽一郎: 胸部レ線上特異な経過を示した細気管支肺胞上皮癌の1例, 同上 (62.7.25. 大阪).

黒田直明, 浦野 透, 多田公英, 縄田隆平, 坂東憲司: 肺癌放射線療法により発症した acute tumorlysis syndrome の1例, 同上 (62.7.25. 大阪).

岡崎美樹, 片上信之, 長谷川幹, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 倉澤卓也, 久世文幸: 肺小細胞癌に対する CAV-CVP 交代療法と胸部照射併用療法の成績 (中間報告), 第28回日本肺癌学会総会 (62.11.5. 大阪).

藤野昇三, 井上修平, 中江一郎, 池田宣昭, 中西通泰: 消化器原発癌の縦隔リンパ節転移により高度気管狭窄を来した症例の治療——高周波焼灼と救急化学療法が奏効した2症例, 同上 (62.11.5, 6. 大阪).

中原由紀子, 中原保治, 石田 直, 牛田伸一, 松山栄一, 桂 栄孝, 寺田正之: 肺腺様嚢胞癌検索中に発見された Tracheobronchopathia Osteoplastica, 第28回日本肺癌学会総会 (62.11.6. 大阪).

牛田伸一, 池上裕美子, 石田 直, 河南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 松山栄一, 糸氏英一郎: CoQ₁₀ による放射性肺炎の予防効果—血中濃度による比較, 同上 (62.11.6. 大阪).

大野暢宏, 磯和理貴, 高嶋義光, 橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄: 気管支嚢胞に合併した肺癌の一例, 第23回日本胸部疾患学会北陸地方会 (62.11.7. 金沢).

片上信之, 岡崎美樹, 長谷川幹, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 肺腫瘍塞栓を呈した Grawitz 腫瘍の一部検例, 第60回日本結核病学会, 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.11.14. 京都).

杉田孝和, 西村尚志, 長谷川吉則, 富岡洋海, 倉澤卓也, 久世文幸: 肺癌切除後の局所再発および新たな病巣を認めた肺の重複癌と思われる1例, 第32回近畿気管支鏡懇話会 (62.11.26. 大阪).

金子滋夫, 石橋孝文, 郡山俊昭, 谷崎俊郎, 山下元秀, 東 郁夫, 山田栄一, 井上 勉, 満谷 進, 森本真成, 平出 典, 松本秀敏: 高 AFP 血症と, 一見胃癌と肝癌の重複癌を疑わせる組織像を呈した肝転移胃癌の1剖検例, 第124回日本内科学会近畿地方会 (62.12.5. 尼崎).

多田公英, 縄田隆平, 山田勝彦, 黒田直明, 坂東憲司, 酒見英太, 小柳津直樹: Erythroid Crisis をきたした CML の一例, 第48回近畿血液学地方会 (62.12.19. 京都).

3. 感染症の化学療法

望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 久保嘉朗, 市島国雄, 小橋陽一郎: Pneumocystis carinii 肺炎に対する予防投与法の検討, 第61回日本感染学会総会 (62.4.2. 東京).

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 望月吉郎, 郡 義明, 南部静洋, 久保嘉郎, 高橋 豊, 天野博之, 岡 裕也, 高橋 浩, 相原雅典, 市島国雄, 小橋陽一郎: Legionella 肺炎 (*L. bozemanii*, *L. dumoffii*) の臨床的, 病理的検討, 同上 (62.4.2. 東京).

鍛治田英俊, 野村信介, 田口善夫, 岩田猛邦, 相原雅典, 上木正成: SLE の経過中に腹水より Legionella

pneumophila を検出した 1 例, 同上 (62. 4. 2. 東京).

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 望月吉郎, 郡 義明, 南部静洋, 久保嘉朗: 慢性気道感染症に対する Erythromycin の有用性について, 同上 (62. 4. 3. 東京).

岩田猛邦, 種田和清, 望月吉郎, 郡 義明, 田口善明, 南部静洋, 久保嘉朗, 市島国雄, 小橋陽一郎, 上田善道: 臨床診断 “びまん性汎細気管支炎” の剖検例における病理形態学的検討, 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 6. 東京).

河南里江子, 田中栄作, 久世文幸: 各種免疫グロブリン製剤における抗緑膿菌抗体価, 第35回日本化学療法学会総会 (62. 5. 22. 盛岡).

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 望月吉郎, 郡 義明, 南部静洋, 久保嘉朗: 慢性下気道感染に対する Erythromycin の有用性について, 同上 (62. 5. 23. 盛岡).

倉沢卓也, 山本孝吉, 久世文幸, 鍵岡 朗, 辻野博之, 牛田伸一: 呼吸器感染症に対する RU28965 の臨床的検討, 同上 (62. 5. 23. 盛岡).

池上裕美子, 加藤元一, 縄田隆平, 倉沢卓也, 久世文幸, 鍵岡 朗, 稲葉宣雄, 黒田直明, 坂東憲司, 堀川禎夫, 前川暢夫, 大野暢宏, 岡崎美樹, 武藤 真, 長谷光雄: 呼吸器感染症に対する THR-221 の臨床的効果, 同上 (62. 5. 23. 盛岡).

望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 久保嘉朗, 市島国雄, 小橋陽一郎, 相原雅典: いわゆる末期肺炎の剖検肺における検討, 同上 (62. 5. 23. 盛岡).

中西通泰: Relapsing polychondritis の 1 例, 第23回京都病院学会 (62. 6. 21. 京都).

浦野 透, 黒田直明, 多田公英, 縄田隆平, 酒見英太, 坂東憲司, 辻野博之, 笠原 宏: 肝膿瘍穿破による細菌性膿胸の 2 例, 第59回日本結核病学会, 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27. 京都).

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 望月吉郎, 郡 義明, 南部静洋, 久保嘉朗, 市島国雄, 小橋陽一郎: 9 年間の経過を追えた典型的びまん性汎細気管支炎の 1 例, 同上 (62. 6. 27. 京都).

多田公英, 田中栄作, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 武曾恵理: 進行性の気管支拡張症・細気管支炎に結節性動脈周囲炎を併発した 1 症例, 同上 (62. 6. 27. 京都).

榊 正幸, 村田 裕, 岡崎美樹, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 石川隆之, 斎藤 厚: 多発性骨髄腫に合併したレジオネラ肺炎の 1 剖検例, 同上 (62. 6. 27. 京都).

Y. Taguchi, T. Iwata, K. Oida, Y. Mochizuki, Y. Kobri, Y. Nanbu, Y. Kubo: Long-term administration of Ofloxacin, XVth International congress of chemotherapy, (July 19, 1987. Istanbul, Turkey).

Tanaka, E. and Kuze, F.: The role of granulocyte neutral protease in pseudomonas bronchial infection in mice, 15th International Congress of chemotherapy, (July 22, 1987. Istanbul, Turkey).

中本 賢, 片上信之, 岡崎美樹, 長谷川幹, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: γ -globulin 投与が有効であった成人発症麻疹肺炎の一治験例, 第60回日本結核病学会, 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 11. 14. 京都).

郡 義明, 弓場吉哲, 久保嘉朗, 南部静洋, 松井保憲, 田口善夫, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 相原雅典: 重症喘息のためステロイド大量使用中に発症した Legionella 肺炎の一例, 同上 (62. 11. 14. 京都).

辰巳明利, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 山中 晃, 北野司久, 岩田猛邦, 種田和清, 相原雅典: チフス菌感染後43年を経て発症した慢性膿胸の一手術例, 同上 (62. 11. 14. 京都).

4. 気管支喘息・アレルギー疾患

坂本廣子, 長谷川幹, 片上信之, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 当科における重症喘息発作および喘息死の臨床的検討, 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 6. 東京).

川合 満, 河南里江子, 加藤元一, 倉澤卓也, 久世文幸, 川勝一雄, 武山正治, 岸本育子, 谷川原祐介, 堀了平: テオフィリン点滴静注の臨床薬理学的検討, 第37回日本アレルギー学会総会 (62. 10. 9. 東京).

Kawai, M., Kawanami, E., Kato, M., Kurasawa, T., Kuze, F.: Pharmacodynamic evaluation of intravenous drip infusion with theophylline. XII World Congress of Asthmology. (Oct. 27, 1987. Barcelona, Spain).

新実彰男, 鈴木克洋, 網谷良一, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 佐竹範夫, 荻原順一, 木野稔也: カンジダが原因菌と考えられたアレルギー性気管支肺真菌症 (ABPF) の一例, 第60回日本胸部疾患学会, 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.11.14. 京都).

石原享介, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 夏型過敏性肺炎の無症状夏期における BAL 所見, 同上 (62.11.14. 京都).

弓場吉哲, 久保嘉朗, 松井保憲, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: 気管支喘息を伴う全身性血管炎3例の検討, 同上 (62.11.14. 京都).

池上裕美子, 石田 直, 河南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 牛田伸一, 松山栄一, 桂 栄孝: 肺好酸球性肉芽腫症の一例, 同上 (62.11.14. 京都).

石田 直, 河南昌樹, 中原由紀子, 中原保治, 田中 昌, 門屋 誠, 松山栄一, 田村忠雄, 藤原久義: 好酸球性心筋炎を呈した hypereosinophilic syndrome の1例, 第64回循環器学会近畿地方会 (62.12.12. 大阪).

6. その他

石原享介, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 平佐昌弘, 太田仁八, 浅香隆久, 石井昌生, 五十嵐哲也: 在宅酸素療法の現状と問題点, 第1回兵庫県勤務医学会 (62.2.7. 神戸).

石原享介, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 自然気胸の内科的治療成績, 第27回日本胸部疾患学会総会 (62.4.6. 東京).

岩崎博信, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: Non-invasive 法による Anaerobic threshold の判定に関する研究, 同上 (62.4.6. 東京).

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 望月吉郎, 郡 義明, 南部静洋, 久保嘉朗, 黒田康正, 定藤規弘: 金剤による肺臓炎のX線 CT 像の検討, 同上 (62.4.7. 東京).

片上信之, 長谷川幹, 岡崎美樹, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 免疫・血液疾患に合併した肺病変の診断における気管支鏡検査の有用性, 第10回日本気管支学会総会 (62.6.5. 東京).

石原享介, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 当院における気管病変の検討, 同上 (62.6.5. 東京).

林 聡子, 片上信之, 長谷川幹, 岡崎美樹, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: SLE に合併した肺アミロイドーシスの1例, 第59回日本結核病学会, 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.6.27. 京都).

新実彰男, 倉澤卓也, 網谷良一, 川合 満, 久世文幸, 五十部潤, 田村康一, 細川昌則, 山辺博彦, 小橋陽一郎, 生田治康: Down 症に合併した特発性肺ヘモジデローシス (IPH) の1例, 同上 (62.6.27. 京都).

奥井克治, 鍵岡 朗, 小田芳郎, 稲葉宣雄, 岡本記代士, 西川忠男, 弘野慶次郎, 羽山憬一, 山岡久泰, 佐々木正道: 間質性肺炎像を呈した肺胞蛋白症の1例, 同上 (62.6.27. 京都).

田中 茂, 藤村直樹, 川添隆司, 梅宮正志, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 佐々木義行, 北市正則, 榎本雅夫: 開胸肺生検により, 診断した原発性マクログロブリン血症と肺縦隔病変を診断した1例, 同上 (62.6.27. 京都).

坂東憲司, 多田公英, 縄田隆平, 浦野 徹, 黒田直明, 脇田 昇, 小竹利一: 最近経験した気管支結石症の2例, 同上 (62.6.27. 京都).

望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 久保嘉朗: 自然気胸を合併したマルファン症候群の2症例, 同上 (62.6.27. 京都).

田中螢子, 三嶋理晃, 福永隆文, 山岡新八, 久野健志, 網谷良一, 田中栄作: ^{133}Xe -持続注入法による各種肺疾患の換気・血流比分布の比較及び酸素投与の影響, 同上 (62.6.27. 京都).

富岡洋海, 網谷良一, 久世文幸, 三嶋理晃, 伊藤春海: 気道疾患に対する $\text{Tc-}^{99\text{m}}$ -MAA 肺血流シンチグラフィの有用性, 同上 (62.6.27. 京都).

片上信之, 長谷川幹, 岡崎美樹, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: BAL, TBLB を用いた免疫, 血液疾患の肺病変の診断, 同上 (62.6.27. 京都).

石原享介, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: リンパ増殖性肺疾患の3症例, 同上 (62.6.27. 京都).

中原保治, 池上裕美子, 石田 直, 中原由紀子, 牛田伸一, 松山栄一: 肺ノカルジア症の1例, 同上 (62.6.27. 京都).

牛田伸一, 池上裕美子, 石田 直, 中原由紀子, 中原保治, 松山栄一, 桂 栄孝: BOOP の1例, 同上 (62.6.27. 京都).

南部静洋, 弓場吉哲, 久保嘉朗, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: 漆下地塗り従事者にみられた予後不良であった間質性肺炎の1例, 同上 (62.6.27. 京都).

石田 直, 池上裕美子, 中原由紀子, 中原保治, 牛田伸一, 松山栄一, 田村忠雄, 桂 栄孝, 入江善一: パラコート中毒の2例, 同上 (62.6.27. 京都).

脇田 昇, 黒田勝哉, 小竹利一, 黒田直明, 坂東憲司: 気管支結石症の2手術治験例, 第30回日本胸部外科学会関西地方会 (62.7.18. 大阪).

大野暢宏, 高嶋義光, 武藤 真, 長谷光雄: 当院における胸部外傷手術例の検討, 第30回日本胸部外科学会関西地方会 (62.7.18. 大阪).

高嶋義光, 大野暢宏, 和田洋巳, 武藤 真, 長谷光雄: 急性呼吸不全を呈した成人食道気管支瘻の一手術例, 第30回日本胸部外科学会関西地方会 (62.7.18. 大阪).

鈴木克洋, 村山尚子, 山本孝吉, 倉澤卓也, 久世文幸: ヒト肺胞マクロファージのロイコトリエン B₄ 産生能に関する検討, 第15回日本臨床免疫学会総会 (62.7.2. 札幌市).

中原保治, 他7名: 右室異常筋束切除により軽快した薬物抵抗性心室性頻拍症の一例, 第63回循環器学会近畿地方会 (62.7.4. 京都).

池上裕美子, 森田基之, 河南昌樹, 河南里江子, 牛田伸一, 松山栄一, 田村忠雄, 桂 栄孝, 武曾恵里: パルス療法を施行した活動性ループス腎炎の1症例, 第123回日本内科学会近畿地方会 (62.9.5. 京都).

富岡洋海, 網谷良一, 田中栄作, 久世文幸, 岩辻賢一郎: Cyclophosphamide 投与が著効を呈した精神障害を伴った SLE の1例, 同上 (62.9.5. 京都).

久須見房子, 小西康弘, 南部静洋, 富井啓介, 八田和大, 今中孝信, 堀健次郎, 酒井知昭, 野瀬謙介, 小橋陽一郎: 結腸癌, 気管支副鼻腔症候群, ネフローゼ症候群, 慢性膵炎, 著明な腹腔内リンパ節腫脹を併ったシェーグレン症候群の1例, 同上 (62.9.5. 京都).

長谷光雄, 橋本 徹, 大野暢宏, 武藤 真, 高嶋義光: CT が診断上有用であった小肺動静瘻の一例, 第23回日本赤十字社医学会総会 (62.9.14. 札幌).

中原由紀子, 中原保治, 富田誠人, 石田 直, 牛田伸一, 池上裕美子, 田中 昌, 福間貫造, 門屋 誠, 松山栄一, 田村忠雄: 高アンモニア血症, 低ナトリウム血症による意識障害を認めた肝硬変症合併 Sheehan 症候群の1例, 第42回国立病院療養所総会医学会 (62.10.30. 熊本).

橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄, 磯和理貴, 大野暢宏, 高嶋義光: Localized lesion with bronchiolitis obliterans の一例, 第23回日本胸部疾患学会北陸地方会 (62.11.7. 金沢).

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 望月吉郎, 郡 義明, 南部静洋, 市島国雄, 小橋陽一郎: ステロイド投与中急性増悪を来し, 膠原病類縁疾患が疑われた間質性肺炎の一例, 第60回日本胸部疾患学会, 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.11.14. 京都).

望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 松井保憲, 市島国雄, 小橋陽一郎: ステンレス工場居住者にみられた巨細胞性間質性肺炎の一例, 同上 (62.11.14. 京都).

久保嘉朗, 弓場吉哲, 松井保憲, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: IPF における血清 CA19-9 の臨床的検討, 同上 (62.11.14. 京都).

松井保憲, 弓場吉哲, 久保嘉朗, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄: Cyclophosphamide が原因と考えられた薬剤性間質性肺炎の症例の検討, 同上 (62.11.14. 京都).

郡 義明, 弓場吉哲, 久保嘉朗, 南部静洋, 松井保憲, 田口善夫, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一

郎, 市島国雄: 臨床的に興味ある経過を示した BOOP の二症例, 同上 (62. 11. 14. 京都).

池上裕美子, 石田 直, 河南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 牛田伸一, 松山栄一, 網谷良一: DPB 様所見を呈した Primary Ciliary dyskinesia の一例, 同上 (62. 11. 14. 京都).

富岡洋海, 網谷良一, 田中栄作, 河村哲治, 長谷川吉則, 杉田孝和, 嶋崎洋一, 西村尚志, 西坂泰夫, 加藤元一, 鈴木克洋, 村山尚子, 山本孝吉, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸: 当科における慢性気道疾患50例の臨床的検討, 同上 (62. 11. 14. 京都).

鈴木雄二郎, 南方良章, 新実彰男, 堀川禎夫, 西山秀樹, 前川暢夫: Pulmonary Lymphangiomyomatosis の一例, 同上 (62. 11. 14. 京都).

河村哲治, 田中栄作, 富岡洋海, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 橋井康二, 生川伸二, 森 崇英: 血中・胸水中の CA-125 異常高値を呈した ovarian thecoma による Meigs 症候群の一例, 同上 (62. 11. 14. 京都).

長谷川吉則, 鈴木克洋, 村山尚子, 倉澤卓也, 久世文幸, 人見滋樹, 渡部 智: 気管支嚢胞の一例, 同上 (62. 11. 14. 京都).

南方良章, 新実彰男, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫, 吉村吾郎, 尾浦正二, 重里政信, 桜井武雄: 咯血により発見された異常気管支動脈の二例, 同上 (62. 11. 14. 京都).

石田 直, 池上裕美子, 河南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 牛田伸一, 松山栄一, 田村忠雄, 北市正則: 移動する結節影を呈した多発性肺梗塞の一例, 同上 (62. 11. 14. 京都).

岩崎博信, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 漸増運動負荷時の動脈血乳酸濃度——関数近似による変化率の検討, 同上 (62. 11. 14).

望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 松井保憲: 在宅酸素療法50例の検討, 同上 (62. 11. 14. 京都).

坂本廣子, 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: Heerfordt 症候群を呈したサルコイドーシスの一例, 同上 (62. 11. 14. 京都).

片上信之, 中井 準, 中尾実信, 片上裕子, 小川良一, 小泉民雄, 藤田拓男: ヒト末梢血単球の TNF 産生に及ぼす活性型ビタミン D₃, グルココルチコイドの影響, 第17回日本免疫学会総会 (62. 11. 21. 金沢).

望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 松井保憲, 市島国雄, 小橋陽一郎: 剖検肺における肺真菌症の検討, 第35回日本化学療法学会西日本支部総会 (62. 11. 27. 鹿児島).

中原由紀子, 森田基之, 池上裕美子, 河南昌樹, 石田 直, 中原保治, 福間貫造, 富田誠人, 松山栄一, 田村忠雄: 血糖値と並行して CA19-9 値の変動がみられた糖尿病の2症例, 第124回内科学会近畿地方会 (62. 12. 5. 尼崎).

〔誌 上 発 表〕

1. 結核・非定型抗酸菌症

久世文幸, 桜井信男: 非定型抗酸菌症, 日本臨床, 45(3): 619-626, 1987.

日本結核病学会治療委員会 (委員長 山本正彦): 非定型抗酸菌症の治療に関する見解, 結核, 62(2): 77-80, 1987.

久世文幸, 斎藤 肇, 楠 伸治, 浅野健治: ナイアシン試験, アニリン法と各種ペーパー法との比較検討, 臨床検査, 31(5): 563-566, 1987.

久世文幸: 抗生物質療法 Q&A (M. avium-intracellulare 感染症の治療), Indications in Antibiotic Therapy 2(2): 19, 1987.

桜井信男, 久世文幸: Mycobacterium avium-intracellulare 症治療術式の検討(2)マウス吸入感染モデルに対する aminoglycoside の治療効果, 結核, 62(7): 369-374, 1987.

久世文幸: [学会記] 結核病学会, 日本医事新報, No. 3302 (昭62. 8. 8.): 45~47, 1987.

久世文幸: 抗結核薬, クリニカ, 14(9): 656-657, 1987.

久世文幸: 肺結核, 医学と薬学, 18(5): 1243~1249, 1987.

桜井信男：薬剤感受性と実験的 *M. avium-intracellulare* 感染症を中心にして（第62回日本結核病学会総会シンポジウム，結核，62(11)：578～582，1987.

Nobuo Sakurai and Fumiyouki Kuze: In vitro and in vivo chemotherapeutic activity of Rifabutin(LM427) on *Mycobacterium avium-intracellulare* complex, 京大胸部研紀要, 20(1, 2)：50-60, 1987.

2. 腫瘍

倉沢卓也，久保嘉朗，鈴木克洋，村山尚子，網谷良一，山本孝吉，川合 満，久世文幸，五十部潤，田村康一，人見滋樹：多発性気管支内軟骨腫の一症例. 日本胸部臨床, 46(7)：563～569, 1987.

久世文幸：肺がんの症候学，臨床と研究. 64(8)：2343～2348, 1987.

Kaechoong Lee, Mayumi Tanaka, Masakazu Hatanaka, Fumiyouki Kuze: Reciprocal effects of epidermal growth factor and transforming growth factor β on the anchorage-dependent and-independent growth of A431 epidermoid carcinoma cells, Experimental cell Research, 173: 156-162, 1987.

Kazuo Nishimura, Yusaku Okada, Kenichiro Okada, Osamu Yoshida, Ryoichi Amitani, Yoshiro Kubo, Shinichi Ushida: Spontaneous Regression of Pulmonary Metastasis from Renal Pelvic Cancer, Urologia Internationalis, 42(6)：461-463, 1987.

藤原拓樹，黒田直明：Neuron-Specific Enolase (NSE) RIA Kit (シオノギ) の肺小細胞癌スクリーニングにおける有用性. 医学と薬学, 17(3)：679-687, 1987.

井上修平，藤野昇三，松本鉄也，池田宣昭：慢性腎不全下での抗癌剤療法——癌性胸膜炎に対して——，JJPEN 9(5)：762-765, 1987.

片上信之，小西弘起，坂本廣子，李 英徹，石原享介，岩崎博信，梅田文一，中井 準：肺癌の診断および治療におけるリニア型電子超音波断層装置の応用. 肺癌, 27(4)：349～359, 1987.

種田和清：Hodgkin 症の肺転移例「びまん性肺疾患の臨床」第1版（金芳堂）230～231, 1987.

南部静洋：多発性骨髄腫の治療中に胸部X線上記びまん性陰影を呈した metastatic lung calcinosis. 同上, 264～265, 1987.

Takamitsu Ino, Tadashi Sawahata, and Ken-ichi Tanaka: Mutagenicity of benzidine and its congeners: A biochemical and quantum mechanical approach. in *Seminars of Toxicity Mechanisms-1* (pp.39-48) 1987. edited by Kazuo Hashimoto and Masayasu Minami. Japan-Carshalton Seminar.

3. 感染症の化学療法

川合 満，加藤元一：慢性気管支炎——概念・その治療と管理（特集／慢性疾患の薬物療法と指導・管理）. 医学と薬学, 17(1)：76～79, 1987.

川合 満：老人の肺炎 (a compass). 治療学, 18(6)：830, 1987.

原 耕平，久世文幸，中西通泰，倉沢卓也，久保嘉朗，西山秀樹，池田宣昭，稲葉宣雄，鍵岡 朗，他169名：呼吸器感染症に対する HBK と Amikacin の薬効比較成績，感染症学雑誌, 61(1)：22-53, 1987.

山本孝吉，笹田昌孝，久世文幸：ヒト肺胞マクロファージの機能に関する基礎的検討，昭和61年度科学研究費補助金（一般研究(C)）研究成果報告書，1987年3月.

島田 馨，久世文幸，倉沢卓也，他124名：呼吸器感染症を対象とする Carumonam の臨床評価—Cefoperazon を対照とする二重盲検比較試験—，感染症学雑誌, 61(3)：333-355, 1987.

久世文幸：感染・炎症・免疫 (Infection, Inflammation, Immunity), 日胸疾会誌, 25(3)：267-268, 1987.

三木文雄，久世文幸，辻野弘之，稲葉宣雄，池田宣昭，松原恒雄，牛田伸一，網谷良一，西山秀樹，鈴木雄二郎，前川暢夫，他64名：呼吸器感染症に対する BRL28500 (Clavulanic acid-Ticarcillin) と Ticarcillin の薬効比較試験成績，感染症雑誌, 61(8)：944-979, 1987.

市谷迪雄，弘野慶次郎，坪井裕志，小田芳郎，大谷 博：Latamoxef の気管支組織内への移行について. 日本胸部疾患学会雑誌, 25(4)：416-420, 1987.

三木文雄, 久世文幸, 中西通泰, 他: (共同研究): 呼吸器感染症に対する BRL28500 (Clavulanic acid-Ticarcillin) と Piperacillin の薬効比較試験成績. 感染症学雑誌. 61: 914~943, 1987.

今野 淳, 中西通泰, 他: (共同研究): 細菌性気道感染症に対する Cefuroxime axetil と cefaclor の二重盲検比較検討. Chemotherapy 35: 435-461, 1987.

浅香隆久, 永井謙一, 石原享介, 中井 準: 咳嗽を主訴として発症した血液疾患に伴ったクリプトコッカス肺炎: びまん性肺疾患の臨床; 268~269, 金芳堂. 1987.

望月吉郎: ニューモシスチス・カリニ. 日本臨床, 45(3): 186~190, 1987.

4. 気管支喘息・アレルギー疾患

吉村正治, 原澤道美, 梅田博道 編集, 川合 満, 川勝一雄, 武山正治: 成人病治療の進歩——新しい治療法・治療薬——, β -刺激薬, 227~237, 現代医学, 1987.

阿部 裕, 和田達雄 編集主幹, 川合 満 (分担執筆): Medical Treatment, PIE 症候群, 338~339, 金原出版, 1987.

川合 満: 喘息患者における解熱剤・鎮痛剤の選びかた (Q/A 専門医にちょっとききたいこと). Medical Practice, 4(1): 166~167, 1987.

川合 満, 新実彰男, 加藤元一: 抗コリン薬 (治療の歴史). 治療学, 18(2): 260~263, 1987.

川合 満: 難治性喘息——その病態と治療法——(研究者インタビュー), Pharma Medica, 5(9), 1~5, 1987.

川合 満, 加藤元一: 抗アレルギー薬の使い方 (特集: 気管支喘息と抗アレルギー薬). 実験治療, 609号, 123~127, 1987.

川合 満: 新しい気管支拡張剤の特性——キササンチン, ステロイドをのぞく——(特集/喘息コントロールと薬物療法——最近の気管支拡張剤を中心に). Progress in Medicine, 7(5): 911~916, 1987.

川合 満, 中川正清, 平林正孝, 白川太郎, 野口英世, 中神和清, 周東 寛, 芳賀敏彦, 町田和子, 野本幸子, 長岡 滋, 中村清一, 片野文夫: 去痰に関する干涉低周波の至適周波数検討. Therapeutic Research, 7(1): 119~126, 1987.

川合 満, 原沢道美, 川上義和, 神島 薫, 滝島 任, 他: TR-70 (干涉低周波去痰器) の喀痰喀出困難患者に対する臨床評価——多施設試験——Therapeutic Research, 7(3): 705~721, 1987.

川合 満, 河南里江子: 気管支喘息の定義と分類 (特集: 気管支喘息), 日本臨床, 45(8): 1666~1672, 1987.

川合 満, 川勝一雄, 武山正治: β 刺激薬——治療法を中心に——(気管支喘息). 現代医療, 19(5): 1433~1443, 1987.

川合 満, 河南里江子: 気道疾患 Q & A (Q2 過敏性肺炎, アレルギー性気管支肺アスペルギルス症, 気管支喘息の関係について教えてください). 気道疾患, Q & A. No. 10, 1987.

川勝一雄, 川合 満: キサンチン誘導体の見直し, III呼吸器疾患治療薬<気管支喘息>. Medicina, 24(10): 1928~1929, 1987.

山村秀樹, 河野茂勝, 大幡勝也, 江田昭英, 川合 満, 堀場通明: Tranilast のアナフィラキシー性 Chemical Mediator 遊離抑制作用. アレルギー, 36(10): 937~942, 1987.

川合 満, 加藤元一, 田中栄作: 他疾患を有する喘息の扱い方<特集・喘息の新しい診断法と病態管理法>. アレルギーの臨床, 7(11): 777~783, 1987.

Ken-ichi Tanaka, Akemi Takeoka, Fumiko Nishimura, and Satoshi Hanada: Contact Sensitivity induced in mice by methylene bisphenyl diisocyanate. Contact Dermatitis, 17, 199-204, 1987.

山田栄一, 川合 満, 岩田猛邦, 種田和清: 「ケトチフェン長期投与の気道過敏症に及ぼす影響」診療と新薬, 24(9): 1849~1855, 1987.

6. その他

田中 茂, 中田敬吾, 江部康二, 渡辺一幹, 玉置 勉, 中野勝輝: 老人疾患と漢方療法. 漢方診療, 5(6): 2-

18, 1986.

岩田猛邦：論説 びまん性汎細気管支炎から慢性気管支炎を考える，日胸疾会誌，24：1057～1058，1986.

川合 満 監修：呼吸器疾患治療薬便覧．大日本製薬株式会社，1987.

平賀洋明，相澤忠範，川合 満，加藤元一，山田恵子，若狭勝秀，蜂星順一：目でみるトレーニング．

Medicina, 24(11)：2433～2439，1987.

若狭勝秀，蜂星順一，古沢新平，川合 満，加藤元一，山田恵子，中村文隆，相沢忠範：目でみるトレーニング．Medicina, 24(12)：2601～2607，1987.

伊藤 浩，南野隆三，古沢新平，高塚忠宏，川合 満，加藤元一，宮坂康夫，蜂星順一：目でみるトレーニング．Medicina, 24(13)：2781～2787，1987.

田口善夫，岩田猛邦，種田和清，望月吉郎，郡 義明，藤本憲弘，南部静洋，北村博之，田淵圭作，久世文幸，網谷良一：10年後の気管支造影像を検討し得た Kartagener 症候群の1例，日胸，46(7)：592-595，1987.

加藤元一，網谷良一，鈴木克洋，久世文幸，沢見裕康，村田喜代史，伊藤春海，田村康一：肝硬変症に合併し，びまん性小粒状形を呈した肺動脈シャントの一例，日胸，46(10)：866-871，1987.

伊藤春海，村田喜代史，藤堂義郎，島塚莞爾，泉 孝英，北市正則，西村浩一，大島駿作，人見滋樹，久世文幸：CT によるびまん性肺病変の解析，気管支学，9(2)：122-128，1987.

岩田猛邦：気管支拡張性病変の検討——びまん性汎細気管支炎の気管支造影像からみて——，日胸，46：891～897，1987.

岩田猛邦：びまん性汎細気管支炎から見た慢性気管支炎，論説．日胸疾会誌 25(10)：1987.

中井 準，他28名：BAL および Ga 所見とサルコイドーシスの経過（26施設共同研究）厚生省特定疾患間質性肺疾患調査研究班，昭和61年度研究報告書．1987.

坂本廣子，石原享介，中井 準：好酸球性肉芽腫：びまん性肺疾患の臨床．194～196，金芳堂，1987.

石原享介，岩崎博信，中井 準：肺胞蛋白症：びまん性肺疾患の臨床．204～206，金芳堂，1987.

石原享介，梅田文一，中井 準：慢性呼吸不全，肺性心を来した夏型過敏性肺臓炎：びまん性肺疾患の臨床．238～239，金芳堂，1987.

石原享介，片上信之，中井 準：Sjogren 症候群に合併した Lymphoid interstitial pneumonia (LIP)：びまん性肺疾患の臨床．246～247，金芳堂，1987.

李 英徹，梅田文一，中井 準：塵肺患者で急速にびまん性陰影の増加を示した Caplan 症候群：びまん性肺疾患の臨床．256～257．金芳堂，1987.

石原享介：慢性呼吸不全の病態．救急医学，11(10)：104～109，1987.

石原享介，長谷川幹，岡崎美樹，片上信之，坂本廣子，岩崎博信，梅田文一，中井 準：成因の異なると思われた気管支炎症性ポリープの2例．気管支学，9(3)，275～280，1987.

田口善美，岩田猛邦，黒田康正，定藤規弘，種本基郎，足立和彦：金剤による肺臓炎のX線 CT 像．臨床放射線，32：1011～1016，1987.

網谷良一，岩田猛邦：びまん性肺疾患の気管支鏡，気管支造影検査，「びまん性肺疾患の臨床」．57～60，金芳堂，1987.

岩田猛邦，藤本憲弘：気管支拡張症．「びまん性肺疾患の臨床」，102～106，金芳堂．1987.

田口善夫，岩田猛邦：血管性病変．同上，207～219，1987.

南部静洋：びまん性汎細気管支炎との鑑別を要した成人T細胞性白血病の肺浸症例．同上，232～233，1987.

網谷良一，岩田猛邦：四肢腱の多発性腫瘍，小脳性失調，知能低下等多彩な症状を伴い，両肺野に粟粒陰影を呈した cerebrotendinous xanthomatosis．同上，260～261，1987.

望月吉郎：視力障害にて発症し咯血死した Hughes-Stovin 症候群．同上，p 266～267，1987.

望月吉郎，小橋陽一郎，岩田猛邦，種田和清，郡 義明，田口善夫，藤本憲弘，南部静洋，市島国雄，上田：遷延化肺炎の臨床的病理学的検討．日本胸部疾患学会雑誌，第25巻第1号，p 86～92.

〔研究会・講演会〕

1. 結核・非定型抗酸菌症

- 久世文幸：結核治療の現状，(62. 1. 10) 姫路市相生市医師会主催講演会。
 久世文幸：呼吸器感染症—特に抗酸菌感染症の現況，(62. 1. 16) 熊本市タリビッド発売一周年学術講演会。
 久世文幸：結核と非定型核酸菌症の現状，(62. 1. 17) 赤穂市医師会主催講演会。
 久世文幸：抗酸菌感染症の現状，(62. 3. 17) 兵庫県尼崎医師会。
 久世文幸：非定型抗酸菌症，(62. 5. 13) 日本短波放送。
 久世文幸：非定型抗酸菌症（特別講演），第50回大阪呼吸器疾患講演会（62. 5. 13. 大阪）。
 久世文幸：非定型抗酸菌症の化学療法，第10回臨床抗酸菌談話会（62. 6. 6. 王造）。
 久世文幸：Mycobacterium avium complex 症に対するタリビット使用の試み，同上（62. 6. 7. 王造）。
 久世文幸：非定型抗酸菌症。倉敷中央病院講演会（62. 7. 28）。
 池田宣昭：肺結核症の新しい見直しとその治療—肺がんおよび非定型抗酸菌症との鑑別も含めて—。宇治・久世医師会，(1987. 10. 16. 宇治)。
 久世文幸：肺抗酸菌感染症の現状，(62. 11. 22) 第19回和歌山県医師会医学会総会講演。
 久世文幸：非定型抗酸菌症（特別講演），(62. 11. 25) 「第2回大阪感染症懇話会」大阪。
 中西通泰：肺結核後遺症としての呼吸不全・当院における在宅酸素療法の現状。第22回伏見医師学術集談会，(62. 11. 28. 京都)。
 久世文幸：結核医療基準の解説，(62. 12. 10) 彦根市医師会。
 倉澤卓也：最近の結核症，(62. 12. 10) 周東地区呼吸器疾患談話会。

2. 腫瘍

- 李 啓充，久世文幸：A431 扁平上皮癌細胞増殖に及ぼす EGF および TGF β の両作用性効果，第24回京大癌研究会（62. 2. 27）。
 井上修平，藤野昇三，松本鉄也，池田宣昭：慢性腎不全下での抗癌剤療法—癌性胸膜炎に対して—第6回京滋栄養代謝研究会。（62. 6. 20. 京都）。
 長谷川幹，片上信之，岡崎美樹，坂本廣子，石原享介，岩崎博信，梅田文一，中井 準：NSCLC に対する MMC+VDS+CDDP 療法の Phase 2 Study. 厚生省がん研究助成金「固形がんの集学的治療の研究」班。肺がんグループ（内科外科合同）第1回小班会議（62. 7. 24. 東京）。
 岩田猛邦：胸部 X-P の読影・肺癌について，天理市医師会（62. 9. 29. 天理）。
 池 修，岡田賢二，千原幸司，青木 稔，田村康一，和田洋也，人見滋樹，長谷川吉則，倉沢卓也，久世文幸：10年以上生存中の浸潤性胸腺腫の2手術例，第6回胸腺研究会（62. 10. 6. 金沢市）。
 久世文幸：肺の腫瘍について，(62. 10. 23, 京都府医師会館)。
 水谷江太郎，中村文彦，長谷川幹，岡崎美樹，片上信之，坂本廣子，石原享介，岩崎博信，梅田文一，中井 準：同時性重複肺癌と考えられた1症例。第39回兵庫県肺癌懇話会（62. 11. 18. 神戸）。

3. 感染症の化学療法

- 岩田猛邦：慢性気道疾患の診断と治療。宇和島市医師会（62. 1. 24. 宇和島）。
 望月吉郎，岩田猛邦，種田和清，郡 義明，田口善夫，南部静洋，久保嘉朗，野村信介，市島国雄，小橋陽一郎：Pneumocystis carinii 肺炎に対する予防投与法の検討。第2回奈良県感染症研究会（62. 1. 31. 奈良）。
 岩田猛邦：肺病変をどうよむか。チーム医療医学セミナー（62. 2. 1. 大阪）。
 浦野 徹，坂東憲司，黒田直明：呼吸器感染症の一例。第2回 CTM, CMX 内科症例検討会（62. 2. 26. 大阪）。
 岩田猛邦：慢性気道疾患——びまん性汎細気管支炎から——。島根医大内科学第4講座カンファレンス（62.

3.9. 出雲).

岩田猛邦：慢性気道疾患の診断と治療，徳島県美馬郡医師会（62.3.19. 美馬郡）。

岩田猛邦：肺感染症，ひょうたん会講演会（62.5.22. 奈良）。

山田栄一：「呼吸器感染症」神戸市垂水区医師会講演，（62.6.24. 神戸）

岩田猛邦：肺病変をどうよむか，チーム医療臨床セミナー（62.6.28. 東京）。

岩田猛邦：慢性気道疾患の診断と治療，富山県医師会（62.10.23. 富山）。

岩田猛邦：肺病変をどうよむか，チーム医療臨床セミナー（62.11.1. 神戸）。

久世文幸（座長）：「呼吸器感染症の病態と治療」谷本晋一，バクシダール会講演会（62.11.7. 京都）。

池上裕美子：呼吸器感染症におけるタリビッドの使用経験，タリビッド発売2周年記念学術講演会（62.11.28）。

岩田猛邦：胸部 X-P の読影，空洞性病変について，天理市医師会（62.11.28. 天理）。

多田公英，田中栄作，網谷良一，久世文幸：血管炎（microscopic PN）を併発し，プレドニンとエンドキサンによる治療にて著明に改善した慢性細気管支炎の1例，第7回びまん性汎細気管支炎をめぐる研究会，（62.7.4. 東京）。

4. 気管支喘息・アレルギー疾患

川合 満：ベロテックレギュラー・ユースについて，呼吸器治療研究会（62.1.24. 京都）。

川合 満：アレルギー疾患の診療，第65回杏茂会例会（62.1.25. 大阪）。

川合 満：気管支喘息の治療—最近の進歩—，小松市医師会（62.2.14. 小松）。

川合 満：気管支喘息に関する最近の知見，摂津市医師会（62.2.17. 摂津）。

川合 満：気管支喘息の治療—最近の研究と治療の進歩—長崎市医師会（62.2.19. 長崎）。

川合 満：気管支喘息の治療—最近の動向—福岡市医師会（62.2.21. 博多）。

川合 満：代表的アレルギー性肺疾患とその治療，武生市医師会（62.3.10. 武生）。

川合 満：呼吸器疾患の治療—理学療法—干渉低周波による去痰について，第66回国際胸部医学会，日本支部講演会（62.3.15. 広島）。

川合 満：気管支喘息の治療「最近の研究と治療の進歩」尾道市医師会（62.3.17. 尾道）。

川合 満：気管支喘息の新しい知見（病態と治療），吹田医師会ほか（62.3.19. 千里）。

川合 満：気管支喘息の治療—病型・重症度に対応した治療—静岡市医師会（62.3.24. 静岡）。

川合 満：慢性通年型気管支喘息患者に対する柴朴湯の投与経験，京都臨床東洋医学研究会（62.3.28. 京都）。

川合 満：気管支喘息と閉塞性肺疾患について，第1回生涯教育学術懇話会，山科医師会（62.4.23. 京都）。

河野茂勝，大幡勝也，川合 満：アゼプチンのメデイエーター遊離における影響について，第1回アゼプチン研究会（62.4.2. 京都）。

川合 満：気管支喘息の治療—最近の治療の進歩—，東広島医師会（62.6.18. 東広島）。

川合 満：閉塞性肺疾患の治療について—気管支喘息を中心として—輪島鳳至医師会（62.6.28. 輪島）。

川合 満：成人気管支喘息の治療—最近の進歩—兵庫県保険医協会（62.7.5. 神戸）。

川合 満：気管支喘息と漢方，倉敷漢方懇話会（62.8.22. 倉敷）。

田中健一：吸入性抗原—TDI と TMA，第8回六甲カンファレンス（62.8.29. 神戸）。

川合 満：内科領域における β -stimulant 吸入剤の regular use について，メブチンエアゾル学術講演会（62.9.12. 京都）。

川合 満：気管支喘息に関する最近の研究と治療の進歩，重松学術講演会（62.9.17. 大阪）。

川合 満：気管支喘息の治療—最近の知見—鹿屋市医師会ほか（62.9.22. 鹿屋）。

川合 満：気管支喘息の治療，山口市医師会（62.9.25. 山口）。

川合 満：気管支喘息・その治療—最近の進歩—メブチンエアゾル学術講演会（62.10.13. 富山）。

川合 満：気管支喘息の治療—最近の治療の考え方について—門真医師会ほか（62.10.15. 大和田）。

川合 満：気管支喘息とその随伴疾患，第92回舞鶴クリニカルセミナー，舞鶴医師会（62.10.22. 舞鶴）。

- 川合 満：気管支喘息・その治療—最近の進歩. 第15回呼吸器疾患検討会・金沢市医師会 (62.11.4. 金沢).
 川合 満：気管支拡張薬治療の歴史と現状. 兵病薬西播支部 (62.11.19. 姫路).
 川合 満：気管支喘息の治療—最近の進歩—京都胸部医会・京都府医師会 (62.11.20. 京都).
 川合 満：気管支喘息・最近の治療. 近江八幡市・蒲生郡医師会 (62.11.24. 近江八幡).
 川合 満：気管支喘息・最近の治療の進歩. 徳山医師会 (62.11.26. 徳山).
 川合 満：最近の気管支喘息に対する考え方の進歩. 第19回四国アレルギー研究会 (62.12.6. 徳島).
 川合 満：気管支喘息・その治療—とくに吸入療法について—加古川市医師会ほか (62.12.12. 加古川).

6. その他

- 岩田猛邦, 郡 義明, 久保嘉朗, 田中栄作：BOOP 症例の検討. 厚生省間質性肺疾患研究班班会議 (62.1.21. 東京).
- 石原享介：呼吸不全ならびに周辺疾患最近の話題; 在宅酸素療法について. 第1回近畿呼吸器疾患懇話会 (62.2.7. 大阪).
- 中井 準, 他9名：気管支洗浄液における BAL, Ga, ACE とサルコイドーシスの予後 (23施設共同研究). 厚生省特定疾患 間質性肺疾患調査研究班昭和61年度第2回班会議 (62.2.13. 東京).
- 郡 義明, 野村信介, 久保嘉朗, 南部静洋, 田口善夫, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 小橋陽一郎, 市島国雄：血痰, 発熱, 呼吸困難にて発症し, 胸部X線およびまん性陰影を呈した1例. 第36回びまん性肺疾患研究会 (62.2.28. 大阪).
- 石田 直, 牛田伸一, 田村忠雄：DPBを合併した慢性腎不全患者における透析経験. 京都透析医会 (62.2.1).
- 石田 直, 牛田伸一, 田村忠雄, 桂 栄孝, 入江善一：パラコート中毒に対する透析経験. 姫路腎高圧研究会 (62.3.7).
- 片上信之, 長谷川幹, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準：気管支動脈瘤破裂によると思われる大量咯血の1治療例. 第30回近畿気管支鏡懇話会 (62.3.13. 大阪).
- 前川暢夫, 久世文幸, 村山尚子：マウス肺胞マクロファージの活性酸素生成に関する検討：第二報 日結研総会報告 (62.6.5. 東京).
- 岡崎美樹, 石原享介, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 内田博也：DPB5 剖検例の臨床検討. 第7回 DPB 研究会 (1987.7.4. 東京).
- 片上信之, 岡崎美樹, 長谷川幹, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準：SLE の経過中に合併した肺病変. 第8回京阪神呼吸器勉強会 (1987.7.16. 大阪).
- 山田栄一：「呼吸器疾患の現状について」神戸市北区医師会講演 (62.7.25).
- 久世文幸 (座長)：「痰の病態生理と去痰薬」—カルボシステインを中心に— (長岡 滋), ムコダイン国際シンポジウム—気道粘液線毛輸送系の進歩をめぐって (62.9.17, 大阪).
- 石田 直, 池上裕美子, 河南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 牛田伸一, 松山栄一, 田村忠雄, 北市正則：血痰を主訴とし, 移動する結節影を呈した1例. 第38回びまん性肺疾患研究会 (62.9.26).
- 長谷川幹, 石原享介, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 矢部博樹, 内田博也：発熱, 呼吸困難を主訴とし, 胸部異常陰影を呈し, さらに咽頭, 喉頭, 気管, 皮膚に病変を認めた1症例. 第38回びまん性肺疾患研究会 (1987.9.26. 大阪).
- 望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 松井保憲, 市島国雄, 小橋陽一郎：ステンレス工場居住者にみられたびまん性肺疾患の1例. 第38回びまん性肺疾患研究会 (62.9.26. 大阪).
- 川合 満：閉塞性肺疾患の治療・最近の進歩. 灘区医市会 (62.11.20. 神戸).
- 長谷光雄：胸部写真読影会, 坂井郡医師会 (62.11-63.2).
- 長谷川幹, 岡崎美樹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準：BAL にて診断したびまん性肺胞出血の4症例. 第32回近畿気管支鏡懇話会 (62.11.26. 大阪).
- 望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 南部静洋, 久保嘉朗, 弓場吉哲, 松井保憲, 市島国雄,

小橋陽一郎：GIP とと思われる 1 例。第37回間質性肺疾患研究会（62.11.26. 東京）。

石原享介，長谷川幹，岡崎美樹，片上信之，坂本廣子，岩崎博信，梅田文一，中井 準，桜井信男，石井昌生：在宅酸素療法施行中の酸素流量の変更一特に酸素減量が可能であった症例を中心に一，第9回京阪神呼吸器勉強会（62.12.10. 大阪）。

富岡洋海，網谷良一，田中栄作，川合 満，久世文幸，岩辻賢一郎：サイクロフォスファミドが著効を呈した精神障害を伴った SLE の 1 例。第9回臨床アレルギー研究会（62.12.12. 大阪）。

松井保憲，岩田猛邦，種田和清，望月吉郎，郡 義明，田口善夫，南部静洋，久保嘉朗，弓場吉哲，市島国雄，小橋陽一郎：高 LDH 血症を伴い，進行性の労作時呼吸困難を呈した 1 例。第39回びまん性肺疾患研究会（62.12.19. 大阪）。

第3回 京都大学結核胸部疾患研究所 内科学第一部門 合同研究発表会

(62.12.26京都)

富岡洋海¹⁾，田中栄作¹⁾，網谷良一¹⁾，倉澤卓也¹⁾，川合 満¹⁾，久世文幸¹⁾，三嶋理晃²⁾，伊藤春海³⁾，京大胸部研内1，²⁾京大胸部研臨床肺生理，³⁾京大医学部放射線：慢性気道疾患に対する ^{99m}Tc-MAA 肺血流 Scintigraphy の有用性。

中原由紀子¹⁾，石田 直¹⁾，池上裕美子¹⁾，河南里江子¹⁾，中原安治¹⁾，牛田伸一¹⁾，林 栄孝²⁾，(国立姫路病院¹⁾内科，²⁾病理)：肺腺様嚢胞癌の検索中に発見された Tracheobronchopathia Osteoplastica の 1 例。

新実彰男，中谷光一，南方良章，堀川禎夫，鈴木雄二郎，西山秀樹，前川暢夫(和歌山赤十字病院呼吸器科)：BAL が診断に有用であった脂肪塞栓症候群の 1 例。

石原亮介(神戸市立中央市民病院呼吸器内科)：夏型過敏症の BAL 所見。

黒田直明，多田公英，縄田隆平，山田勝彦，坂東憲司(大阪府済生会中津病院呼吸器内科)：自然気胸手術後に発生した肺腺癌の 1 例。

中原保治¹⁾，中原由紀子¹⁾，牛田伸一¹⁾，石田 直¹⁾，池上裕美子¹⁾，河南里江子¹⁾，桂 栄孝²⁾(国立姫路病院¹⁾内科 ²⁾研究検査科)：喀痰細胞診における脂肪染色併用の有用性一肺癌発見の 1 法として一。

多田公英，縄田隆平，山田勝彦，黒田直明，坂東憲司(大阪府済生会中津病院呼吸器内科)：肺に浸潤を認め，Erythroid Crisis をきたした腫瘍形成性 CML の 1 例。

岡崎美樹¹⁾，長谷川幹¹⁾，片上信之¹⁾，坂本廣子¹⁾，石原享介¹⁾，岩崎博信¹⁾，梅田文一¹⁾，中井 準¹⁾，倉澤卓也²⁾，久世文幸²⁾(¹⁾神戸市立中央市民病院呼吸器内科，²⁾京大胸部研内1)：肺小細胞癌に対する CAV-CVp 交代療法と胸部照射併用療法(多施設共通プロトコール)の成績。

長谷川幹¹⁾，岡持美樹¹⁾，片上信之¹⁾，坂本廣子¹⁾，石原亮介¹⁾，岩崎博信¹⁾，梅田文一¹⁾，中井 準¹⁾，倉澤卓也²⁾，久世文幸²⁾(¹⁾神戸市立中央市民病院呼吸器内科，²⁾京大胸部研内1)：多施設共通プロトコールによる切除不能肺非小細胞癌の治療。

鈴木克洋，村山尚子，山本孝吉，久世文幸(京大胸部研内1)：ヒト肺胞マクロファージのアラキドン酸代謝について。

田中栄作(京大胸部研内科1)：慢性気道感染症患者血清中抗 Lipid A 抗体の検討。

桜井信男(神戸市立玉津病院内科)：M. avium-intracellulare 症の治療。薬剤感受性と実験的 M. avium-intracellulare 感染症を中心にして。

池田宣昭，山鳥英世，森 一彌，藤野昇三，井上修平，中江一郎(国療南京都病院)：国療南京都病院における抗酸菌検索成績。

池田宣昭，西村一郎，馬場信雄，葵 元奎(国療南京都病院)：大腸に広範な結核病変を伴った肺結核症の 1 例。

池田宣昭，松本鉄也(国療南京都病院)：難治持続排菌例に対する Ofloxacin の抗結核作用について。

弓場吉哲，南部静洋，田口善夫，郡 義明，望月吉郎，種田和清，岩田猛邦(天理よろづ相談所病院呼吸器内科)：気管支喘息を伴う全身性血管炎 3 例の検討。

白川太郎，日下幸則(大阪大 衛生)：職業性喘息，特に，低分子化合物による喘息における特異抗体の測定

とその意義.

石田 直 (国立姫路病院内科) : Hypereosinophilic syndrome の1例.

松井保憲, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦 (天理よろづ相談所病院呼吸器内科) : Cyclophosphamide が原因と考えられた薬剤性間質性肺炎の症例.

中谷光一, 南方良章, 新実彰男, 堀川禎夫, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫 (和歌山赤十字病院呼吸器科) : 大量肺胞内出血をきたし呼吸不全に至った Wegener 肉芽腫症の2例.

長谷光雄, 橋本 徹, 武藤 真 (福井赤十字病院呼吸器科) : CT が有用であった小肺動静脈瘤の1例.

久保嘉朗, 南部静洋, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦 (天理よろづ相談所病院呼吸器内科) : IPF における血清 CA19-9 の臨床的検討.

橋本 徹, 武藤 真, 長谷光雄 (福井赤十字病院呼吸器科) : 肉眼的に3ヶ病変が認められた器質化肺炎 (Localized lesions with BO) の1例.

〔講演会主催〕

James E. Pennington, M. D., Clinical Professor of Medicine, University California, San Francisco, Director of Medical Research, Cutter Laboratories: Immunological aspects of Pseudomonas aeruginosa infection, (62.9.9. 京都) 主催: 胸部研内科学第一部門

内科学第二部門

〔著書・分担執筆〕

大島駿作: 肺動静脈瘤. 亀山正邦, 亀田治男, 高久史磨, 阿部令彦編: 今日の診断指針第2版, p. 866~867, 医学書院, 1988.

泉 孝英: 阿部正和編. 新臨床内科学第5版, 過敏性肺臓炎. p. 52~54, 医原性 (薬剤性および放射線) 肺臓炎. p. 70, 膠原病性間質性肺炎. p. 71, 医学書院, 1987.

泉 孝英: 第IV章間質性肺疾患, 1. 分類と発症機序, 2. 間質性肺疾患治療薬の薬理と有害反応, 3. 治療, B. 膠原病性間質性肺炎. 田村昌士編: 臨床薬物療学大系, 12. 呼吸器疾患, p. 105~123, p. 130~135. 情報開発研究所, 東京, 1987.

泉 孝英: 上田英雄, 武内重五郎総編集, 内科学第4版. 膠原病に伴う肺病変, サルコイドーシス, p. 453~458, 朝倉書店, 1987.

泉 孝英: 山村雄一, 吉利 和監修, 内科学書新訂第三版. 過敏性肺臓炎, 肺好酸球増加症, 膠原病および類縁疾患における肺病変. p. 886~892, 中山書店, 1987.

瀬良好澄監修, 三上理一郎, 北谷文彦, 泉 孝英編集: びまん性肺疾患の臨床, 金芳堂. 1987 (分担執筆) 総論 3章 病理学的にみたびまん性肺疾患. 北市正則, p. 22~34, 5章 びまん性肺疾患の CT 所見. 西村浩一, 伊藤春海, p. 45~56. 7章 びまんにおける BALF 所見. 泉 孝英, p. 61~65. 各論 7章 サルコイドーシス. 泉 孝英, p. 130~133. 9章 薬剤性肺炎. 木野稔也, p. 145~153. 10章 特発性間質性肺炎—IPF と IIP—. 泉 孝英, p. 155~158. Idiopathic pulmonary fibrosis (IPF) の2例. 北市正則, 平田健雄, 泉 孝英, p. 159~162. 13章 悪性腫瘍. 門 政男, p. 183~187. 肺胞上皮癌. 門 政男, 北市正則, p. 188~189. 前立腺癌の肺転移. 門 政男, 北市正則, p. 191~193. 症例編 1. 健診時, 無症状で発見された intravascular bronchioloalveolar tumor (IVBAT). 荻原順一, p. 222~223. 4. 皮膚病変で発症した malignant lymphoma of lymphomatoid granulomatosis type. 松井祐佐公, 北市正則, 泉 孝英, p. 228~229, 7. 両肺野異常影と肺高血圧症を示した慢性気管支炎. 上田英之助, 北市正則, p. 234~235. 10. 移動する PIE 症候群様の陰影を呈し bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP). 症例2 荻原順一, p. 241~243. 13 健康診断で胸部 X線異常陰影を発見され, 眼科的異常を伴っていた Hermansky-Pudlak 症候群. 西村浩一, 北市正則, 泉 孝

- 英, p. 248~249. 17 全身倦怠, 疲労感の症状で発症した慢性ペリリウム肺. 泉 孝英, 北市正則, p. 258~259.
- 泉 孝英: 河合 忠, 只野寿太郎総編集: 今日の検査指針. 第2章 臓器, 系統別検査の選び方, 考え方. III 呼吸器, 免疫学的検査. p. 245~248. 医学書院, 1987.
- 泉 孝英, 長井苑子: 吉村正治, 原沢道美, 梅田博道編集, 成人病治療の進歩—新しい治療効果判定法, VI 間質性肺炎 10 免疫・アレルギー. p. 353~357, 現代医療社, 1987.
- 泉 孝英: 薬剤起因性肺臓炎. 亀山正邦, 亀田治男, 高久史磨, 阿部令彦編. 今日の診断指針第2版, p. 821~823, 医学書院, 1988.

〔総 説〕

- 大島駿作: 間質性肺炎. 老人科診療, 8(3): 257~259, 1987.
- 泉 孝英, 木野稔也, 門 政男, 松井祐佐公, 平田健雄, 大島駿作, 清水義治: 「資料と展望」喫煙の肺の免疫反応, アレルギー性肺疾患に及ぼす影響 (その2). 呼吸器疾患・結核文献の抄録速報, 38(4): 316~330, 1987.
- 泉 孝英: 特集「これからの膠原病治療」膠原病の心・肺病変. 総合臨牀, 36(8): 1677~1681, 1987.
- 泉 孝英: 特集「疾患と免疫—免疫学は疾患理解にどこまで寄与したか」肺疾患—サルコイドーシスとIPF—. *Medical Immunology* 14(3): 385~391, 1987.
- 泉 孝英, 北市正則, 西村浩一, 長井苑子: 「Current topics」間質性肺疾患—とくに Idiopathic Pulmonary Fibrosis (IPF) をめぐって—. *medicina* 24(9): 1688~1700, 1987.
- 泉 孝英, 長井苑子: 特集「間質性肺炎」免疫・アレルギー. 現代医療, 19(10): 2893~2897, 1987.
- 泉 孝英: 「慢性閉塞性肺疾患—概念と治療を中心に」COPD の概念. 臨床医, 13(12): 10~15, 1987.
- 泉 孝英: 特集「閉塞性肺疾患の臨床」慢性気管支炎とびまん性汎細気管支炎. 内科, 61(3): 404~410, 1988.
- 泉 孝英: 今月の主題「炎症性肺疾患へのアプローチ」サルコイドーシス. *medicina* 25(2): 254~256, 1988.
- 木野稔也: 昆虫・ダニアレルギーの診断と治療. 生活と環境, 32(8): 46~50, 1987.
- 門 政男: 喫煙と肺癌. 京都大学結核胸部疾患研究所紀要, 20(12): 1~9, 1987.
- 門 政男, 泉 孝英, 大島駿作: BALF を用いた新しい検査法. *Geriatric Medicine*, 25(12): 1803~1808, 1987.
- 北市正則: BOOP (Bronchiolitis obliterans with organizing pneumonia). *Modern Physician*, 8(1): 21~24, 1988.
- 長井苑子: サルコイドーシスの薬物治療. *medicina*, 24(10): 2282~2283, 1987.
- 長井苑子: 喫煙と肺傷害. 臨床医, 13(12): 68~69, 1987.
- 西村浩一, 北市正則, 泉 孝英, 伊藤春海: びまん性肺疾患の CT 所見—肉芽腫性肺疾患—. 呼吸, 6(7): 721~731, 1987.
- 中島道郎: ヒマラヤ登山と高所順応. *Jap. J. Sports Sci* 16(2): 114~118, 1987.
- 中島道郎: 日本における登山医学のあゆみ. 臨床スポーツ医学, 4(6): 609~615, 1987.
- 荏原順一: 肺と好酸球. 呼吸 6(7): 678~689, 1987.
- 荏原順一, 安場広高, 佐竹範夫, 大島駿作: 肺とプロスタグランディン—その将来の展望—. 現代医療, 19(1): 129~133, 1987.
- 荏原順一, 大島駿作: 肺胞マクロファージ. *Current Insights in Allergy*, 3(2): 13~16, 1987.
- 佐藤仁一, 村田喜代史, 伊藤春海, 千田道夫, 米倉義晴, 小西淳二, 西村浩一, 泉 孝英, 大島駿作: 閉塞性肺疾患における RI と CT. 臨床, 32: 395~900, 1987.
- 金岡正樹, 伊藤春海, 野間恵之, 小西淳二, 泉 孝英, 北市正則, 西村浩一, 長井苑子, 大島駿作: IPF の画像診断. 呼吸, 6(10): 1071~1077, 1987.
- Sharma Om P., 泉 孝英訳: ARDS. *Therapeutic Research*, 8(13): 623~633, 1988.

〔原 著〕

- 泉 孝英：サルコイドーシス554例（1963～1986）の臨床像と予後。日胸疾会誌，25(9)：998～1004，1987。
- 木野稔也，伊藤春海：PIE 症候群ことに chronic eosinophilic pneumonia の胸部 CT 所見。臨床成人病，17(6)：976-981，1987
- Kino, T., Chihara, J., Fukuda, K., Sasaki, Y., Shogaki, Y., Oshima, S. : Allergy to insects in Japan. III High frequency of IgE antibody responses to insects (moth, butterfly, caddis fly, and chironomid) in patients with bronchial asthma and immunochemical quantitation of the insect-related airborne particles smaller than 10 μ m in diameter, J. Allergy Clin. Immunol. 79 (6) : 857-866, 1987.
- 松井祐佐公，北市正則，安場広高，長井苑子，木野稔也，泉 孝英，大島駿作，他：Malignant lymphoma of lymphomatoid granulomatosis type の1例。日本胸部臨床，46(8)：669～680，昭62。
- 松井祐佐公，西村浩一，門 政男，大島駿作：肺癌患者における CA15-3 の検討。映像情報 MEDICAL，19(16)：847～852，昭62。
- Matsui, Y., Oshima, S., Kado, M., Nakayama, M., et al. : Phase II study of oral VP-16-213 in small cell lung cancer. Cancer 60(12) : 2882～2885, 1987.
- 長井苑子：サルコイドーシス症例における T リンパ球の活性化と IL-2 産生状況に関する検討。日胸疾会誌，25(9)：977～983，1987。
- 長井苑子：サルコイドーシス症例における BALF マクロフェージ培養上清の IL-1 活性に関する検討。日胸疾会誌，25(10)：1089～1095，1987。
- 西村浩一，古江増裕，北市正則，長井苑子，木野稔也，泉 孝英，大島駿作，鈴木康弘，村田喜代史，伊藤春海：X線 CT と剖検肺所見を対比できたびまん性汎細気管支炎の1例。日本胸部臨床，46(6)：481-486，1987。
- 西村浩一，泉 孝英，北市正則，長井苑子，荏原順一，松井裕佐公，門 政男，木野稔也，大島駿作，金岡正樹，村田喜代史，藤堂義郎，伊藤春海，本田和徳：サルコイドーシス肺野病変のX線 CT による検討。日胸疾会誌，25(8)：888～895，1987。
- 中島道郎，浜本康平，岡田英彦，橋本圭司，谷口隆司，河原崎孝茂：在宅酸素療法に対する酸素濃縮装置の関西地域における普及状況について。京都市立病院紀要，7(1)：14～20，1987。
- 浅本 仁：「膠原病における免疫学的治療の現状」ステロイド離脱の実際と問題点。臨床と薬物治療，6(3)：359～363，1987。
- 浅本 仁，宮城征四郎：気管支喘息の診断と治療の実録。新薬と臨床，36(10)：1674～1688，1987。
- Asamoto, H., Kokura, M., Kawakami, A., Sawano, T., Sasaki, Y. : Effect of famoridine on theophylline clearance in asthma and COPD patients. Allergy 36(11) : 1012～1017, 1987.
- 中山昌彦，浅妻茂生，他：腫瘍発育速度よりみた肺癌の予後と治療効果判定について。京都医学会雑誌，34(1)：57～91，1987。
- 山岡新八，米倉義晴，平井正志，西村浩一，久野健志：慢性閉塞性肺疾患患者の ^{81m}Kr 心プールスキャンによる非侵襲的肺動脈圧計測への検討。日胸疾会誌，25(10)：1081～1088，1987。
- 竹内 実，泉 孝英，松井祐佐公，長井苑子，佐々木義行，荏原順一，大島駿作：肺癌症例における末梢血単核細胞画分の NK 細胞活性と NK 細胞マーカー (Leu-7, Leu-11) に関する検討。肺癌，27(2)：163～171，1987。
- 荏原順一，木野稔也，古江増裕，黒住眞史，福田康二，安場広高，大島駿作：好酸球性肺炎 (PIE 症候群) における肺好酸球の特徴—核の hypersegmentation の観察—についての検討。日胸疾会誌，26(1)：31～36，1988。
- 荏原順一，木野稔也，福田康二，安場広高，佐竹範夫，大島駿作：好酸球性肺炎における末梢血好酸球増多の機序に関する研究—その骨髓像の検討—。呼吸，7(1)：88～92，1988。
- 島田 馨，川上義和，阿部庄作，杉本畿久雄，久世文幸，倉澤卓也，大島駿作，泉 孝英，西村浩一，他：慢性呼吸器感染症を対象とする Carumonam の臨床評価—Cefoperazone を対照とする二重盲検比較試験—。感染症雑誌，61(3)：333～355，1987。
- 伊藤春海，村田喜代史，藤堂義郎，鳥塚完爾，泉 孝英，北市正則，西村浩一，大島駿作，人見滋樹，久世文

幸：CT によるびまん性肺病変の解析。気管支学，9(2)：122～128，1987.

Taguchi, K., Makimoto, K., Nagai, S., Kitaichi, M., Izumi, T., Yamabe, H. : Cystic parathyroid adenoma with coexistent sarcoid granulomas. Arch. Otorhinolaryngology 243 : 392-394, 1987.

川勝一雄，岡部好恵，木野稔也，千熊正彦：血中テオフィリン濃度測定における Particle-Enhanced Turbidimetric Inhibition Immunoassay の評価。病院薬学，13(6)：336～372，1987.

久保嘉朗，村山尚子，網谷良一，倉沢卓也，久世文幸，荏原順一，北市正則，小笹晃太郎：移動する浸潤影を呈し開胸肺生検で診断された Bronchiolitis obliterans organizing pneumonia の2例。日本胸部臨床，45(12)：1062～1071，1986.

辻 重行，大野聖子，中村 昇，苗村健治，浅妻茂生，中山昌彦，三宅清雄，浦田洋二，北市正則：Colony stimulating factor 産生悪性胸膜中皮腫の一例。肺癌，26(2)：195～202，1986.

小泉 満，遠藤啓，中島言子，阪原晴海，河村泰孝，渡辺祐司，佐賀恒夫，国松美帆子，小西淳二，松井祐佐公，藤井信吾，森 崇英：イムノラジオメトリック法による SCC 抗原濃度測定用キット“SCC RIABEAD”の基礎的ならびに臨床的検討，核医学，24(11)：1693～1700，1987.

〔学会・研究会記録〕

泉 孝英，長井苑子，竹内 実，北市正則，平田健雄，大島駿作，藤村直樹：特発性間質性肺炎症例における BALF 活性化 B リンパ球測定の臨床的・病態生理学的検討。厚生省特定疾患間質性肺疾患調査研究班昭和61年度研究報告書，p. 51～53，1987.

泉 孝英：びまん性汎細気管支炎—副鼻腔気管支症候群を構成する一疾患として—。京耳報，19(7)：25～28，昭62.

泉 孝英：I. 健常人の BALF 細胞所見，II. IPFの BALF 細胞所見。第26回 PLD シンポジウム「BAL をめぐって」記録。呼吸，6(9)：1013～1017，1986.

泉 孝英：サルコイドーシス，シンポジウム：「Seronegative Spondyloarthritis の基礎と臨床」講演記録集，p. 94～97，リウマチセンター間連絡会，昭62.

泉 孝英，長井苑子，竹内 実，渡辺和彦，北市正則，大島駿作：喫煙の間質性肺疾患の成立，進展に及ぼす影響に関する研究—IPF 症例の BALF 細胞に及ぼす影響—。昭和61年度喫煙科学研究財団研究年報，p. 374～379.

泉 孝英，西村浩一，北市正則：慢性気管支炎・細気管支炎。日胸疾会誌，25(5)：526～530，1987.

泉 孝英：「報告」Markfield Symposium on Interstitial Lung Disease : Pulmonary Fibrosis. 第35回間質性肺疾患研究会討議録，p. 86～95，昭61.

木野稔也，佐竹範夫，安場広高，福田康二，荏原順一，泉 孝英，大島駿作：釣餌店主にみられた釣餌「トビケラ」喘息の一例。第18回職業アレルギー研究会記録，アレルギーの臨床，8(3)：215～216，1987.

長井苑子：X. 肺胞マクロファージの immunoregulatory function に関する検討。第26回 FLD シンポジウム「マクロファージをめぐって」記録。呼吸，6(10)：1143～1145，1987.

長井苑子，泉 孝英，北市正則，西村浩一，江村正仁，三尾直士，竹内 実，渡辺和彦，大島駿作：5年以上病変の持続している肺サルコイドーシス症例の BALF 細胞所見。日本サルコイドーシス学会雑誌，7：33～34，1987.

西村浩一，長井苑子，荏原順一，北市正則，泉 孝英，大島駿作，金岡正樹，伊藤春海：慢性ベリリウム肺の X線 CT 像についての検討。日本サルコイドーシス学会雑誌，7：111～112，1987.

三尾直士，泉 孝英，長井苑子，江村正仁，竹内 実，西村浩一，北市正則，大島駿作：サルコイドーシス症例におけるドジメーター法による気道反応性に関する検討。日本サルコイドーシス学会雑誌，7：51～52，1987.

竹内 実，泉 孝英，長井苑子，江村正仁，三尾直士，渡辺和彦，大島駿作：サルコイドーシス症例における肺胞マクロファージの γ -IFN 産生に関する検討。日本サルコイドーシス学会雑誌，7：26～27，1987.

荏原順一，木野稔也：PIE 症候群における肺好酸球の特徴と機能について。第5回免疫薬理シンポジウム議事録。アレルギーの病態と好酸球。牧野莊平監修。デー・エム・ベー・ジャパン，123～130，1987.

中島道郎, 浜本康平, 岡田英彦, 橋本圭司, 河原崎孝茂, 谷口隆司: 関西(兵庫, 大阪, 京都, 奈良)地域における酸素濃縮装置普及の現況について. 厚生省特定疾患呼吸不全調査研究班 昭和61年度研究報告, p. 202~205, 1987.

荏原順一, 安場広高, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: 肺結核疾患者の肺胞マクロファージの cytotoxicity に関する研究. 昭和61年度日米医学協力計画結核部会報告書, p. 298~300, 1987.

〔学会, 研究会発表〕

泉 孝英, 長井苑子, 北市正則, 木野稔也, 大島駿作: 肺サルコイドーシスの予後—発症, 発見後5年以上経過を観察した275例の検討成績から得られた一つの結論: 健康診断で発見された肺サルコイドーシス症例においてはステロイド剤の投与は原則として行ってはならない—. 第84回日本内科学会講演会 (62.4.2).

泉 孝英, 長井苑子, 竹内 実, 渡辺和彦, 三尾直士, 江村正仁, 北市正則, 平田健雄, 大島駿作, 藤村直樹: 特発性間質性肺炎 (IPF) 症例における BALF 活性化Bリンパ球測定の臨床的・病態生理学的意義に関する検討. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62.4.6).

泉 孝英: IIP (idiopathic interstitial pneumonia) と IPF (idiopathic pulmonary fibrosis) の鑑別診断? 第27回日本胸部疾患学会総会 (62.4.7).

泉 孝英: シンポジウム(2)末梢気道・肺胞系の病態—気道の接点をめぐって (4)免疫. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62.4.8).

泉 孝英: 「話題提供」DPBの独立性をめぐって—Benjamin Burrows 教授の見解—. 第7回びまん性汎細気管支炎をめぐる研究会 (62.7.4).

泉 孝英, 長井苑子, 竹内 実, 渡辺和彦, 北市正則, 大島駿作: 喫煙の間質性肺疾患の成立, 進展に及ぼす影響に関する研究. 喫煙科学研究財団昭和61年度助成研究発表会 (62.7.11).

泉 孝英: 膠原病肺について. 第8回京阪神呼吸器疾患勉強会 (62.7.16).

泉 孝英: Airway obstructive diseases and diffuse panbronchiolitis. 第35回閉塞性肺疾患研究会 (62.8.2).

Izumi, T.: The sarcoid granuloma formation-immunology. Outlook. XI World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987. 9. 7. Milano).

Izumi, T., Nagai, S., Kitaichi, M., Oshima, S.: Smoking causes an alteration of BALF cell findings in patients with BHL sarcoidosis but no evidence could be found that smoking affects the natural course of BHL sarcoidosis. XI World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987. 9. 10, Milano).

Izumi, T.: A nation-wide survey of diffuse panbronchiolitis in Japan and high incidence of diffuse panbronchiolitis seen in Japanese respiratory clinics. Round Table: Diffuse Panbronchiolitis. XI World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987, 9. 11, Milano).

泉 孝英司会: 話題提供: IPF をどのように理解すべきか. 1. 概念 泉 孝英, 2. 病理 北市正則 3. 画像診断 西村浩一 4. BAL 長井苑子 5. 治療 泉 孝英. 第37回間質性肺疾患研究会, (62.11.20).

泉 孝英: 「報告」: 国際サルコイドーシス学会 (ミラノ) におけるパネル・ディスカッション「DPB をめぐって」の報告. 第8回びまん性汎細気管支炎をめぐる研究会 (63.2.13).

Izumi, T.: Symposium I. Occupational lung disease. 4. Chronic beryllium disease. 10th Asia-Pacific Congress on Diseases of the Chest (1987. 11. 29, Taipei).

泉 孝英, 北市正則, 長井苑子, 江村正仁, 三尾直士, 西村浩一: Idiopathic UIP 33例の臨床像, 病理像—特に健康診断発見群と症状発見群の比較検討—. 第31回 FLD シンポジウム (63.3.12).

木野稔也, 福田康二, 安場広高, 西村浩一, 荏原順一, 平田健雄, 松井祐佐公, 泉 孝英, 大島駿作, 伊藤春海: 遷延性好酸球性肺炎の予後と気道過敏性の獲得について. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62.4.8).

木野稔也, 佐竹範夫, 安場広高, 福田康二, 荏原順一, 泉 孝英, 大島駿作: 釣餌店主にみられた“釣餌; トビケラ”喘息の一例, 第18回職業アレルギー研究会 (62.7.17).

木野稔也, 佐竹範夫, 安場広高, 福田康二, 荏原順一, 大島駿作, 佐々木義行: 昆虫による気管支喘息の研究,

(XIV) カイコ蛾翅, トビケラ翅, ユスリカの抗原交差反応性の検討. 第37回日本アレルギー学会総会 (62. 10. 8).

木野稔也: シンポジウム「ユスリカとアレルギー」, 京都におけるユスリカ浮遊抗原量 (10 μm 以下) の季節変動の観測. 第43回日本寄生虫学会・第42回日本衛生動物学会西日本支部合同大会 (62. 10. 16).

門 政男, 北市正則, 木野稔也, 大島駿作, 倉沢卓也, 川合 満, 鈴木康弘, 伊藤元彦, 満安清孝: 肺門部の異常陰影を伴った von Recklinghausen's disease の 1 症例: 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27).

門 政男, 安場広高, 大島駿作, 竹田俊男, 杉本幾久雄, 松下 巖: 急速に増大し, OK-432 PSK の投与について縮小したと考えられる肺腫瘍の 1 例. 第47回日本肺癌学会関西支部会 (62. 7. 25).

門 政男, 竹内 実, 安場広高, 松井祐佐公, 泉 孝英, 大島駿作: 肺癌患者の末梢血白血球数および CSF に対する結核菌抽出物質 (Z-100) の影響について. 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 11. 14).

Kado, M., Izumi, T., Nagai, S., Hirata, T., Kitaichi, M., Chihara, J., Oshima, S: Fibronectin in BALF of patients with diffuse interstitial lung disease. The 10th Asia-Pacific Congress on Diseases of the Chest, Taipei (1987. 11. 29).

門 政男, 泉 孝英, 長井苑子, 平田健雄, 北市正則, 荏原順一, 大島駿作, 藤村直樹: びまん性間質性肺疾患における BALF 中 fibronectin の検討. 第10回日本気管支学会総会 (62. 6. 5).

松井祐佐公, 三尾直士, 江村正仁, 安場広高, 西村浩一, 荏原順一, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: 原発性肺癌患者における血清中 FH-6 の臨床的検討. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 6).

松井祐佐公, 大島駿作, 中山昌彦, 松原義人, 安永幸二郎, 螺良英郎, 太田勝康, 市谷迪雄, 原 耕平, 志摩溝, 源河圭一郎: III, IV 期肺小細胞癌に対する VP-16, COOP, CTX 三剤併用療法. 第25回日本癌治療学会総会 (62. 10. 8).

松井祐佐公, 小山 弘, 川谷暁夫, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: 肺小細胞癌初回治療におけるカルボプラチン単剤の使用経験. 第47回日本肺癌学会関西支部会 (62. 7. 25).

松井祐佐公, 佐竹範夫, 鏑田利恵子, 三尾直士, 安場広高, 江村正仁, 西村浩一, 福田康二, 長井苑子, 荏原順一, 北市正則, 平田健雄, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 今井弘行: 当教室肺癌患者15年間の予後の検討. 第28回日本肺癌学会総会 (62. 11. 5).

松井祐佐公, 佐竹範夫, 三尾直士, 江村正仁, 安場広高, 西村浩一, 福田康二, 荏原順一, 北市正則, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: 肺腺癌における FH-6, CA19-9, CA15-3 の臨床的有用性の比較. 第28回日本肺癌学会学総会 (62. 11. 5).

松井祐佐公, 大島駿作, 中山昌彦, 松原義人, 安永幸二郎, 螺良英郎, 太田勝康, 市谷迪雄, 原 耕平, 志摩溝, 源河圭一郎: III, IV 期肺小細胞癌に対する VP-16, CDDP, CTX 三剤併用療法. 第28回日本肺癌学会総会 (62. 11. 5).

北市正則: 「課題提供」ARDS をめぐって. IIP の急性型あるいは慢性型の急性悪化. いわゆる ARDS の立場から. Diffuse alveolar damage (DAD) のスペクトラムから. 第36回間質性肺疾患研究会 (62. 5. 15).

Kitaichi, M.: Round Table. Diffuse Panbronchiolitis. Pathology of DPB from the view point of differential diagnosis. XI World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987. 9. 11 Milan)

北市正則: びまん性汎細気管支炎における単位病変 (unit lesion of panbronchiolitis) の意義—炎症性気道疾患の病理学的比較検討成績から—. 第36回閉塞性肺疾患研究会 (63. 1. 31).

平田健雄, 西村浩一, 泉 孝英, 大島駿作, 松延政一: びまん性汎気管支炎におけるインフルエンザ菌の生物型分類についての研究. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 6).

平田健雄, 西村浩一, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 前田清子, 松延政一: びまん性汎細気管支炎におけるマイコプラズマの研究. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 6).

平田健雄: 肺胞マクロファージのトランスフェリンレセプターの性状とその発見の分子遺伝学的研究. 第31回 FLD シンポジウム (63. 3. 12).

長井苑子, 泉 孝英, 竹内 実, 渡辺和彦, 北市正則, 江村正仁, 三尾直士, 大島駿作: BALF マクロファージより産生される IL-1 活性阻害因子に関する検討. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 6).

長井苑子, 泉 孝英: BALF 細胞所見による膠原病性間質性肺炎の分類. 第31回日本リウマチ学会総会 (62. 5. 27).

Nagai, S., Takeuchi, M., Izumi, T.: The significance of IL-1 and IL-1 inhibitory factor in the evaluation of inflammatory state in sarcoidosis and idiopathic pulmonary fibrosis. American Thoracic Society 1987 Annual Meeting (1987. 5. 12. New Orleans).

長井苑子, 泉 孝英, 竹内 実, 渡辺和彦, 大島駿作: 喫煙の健常人肺胞マクロファージより産生遊離される IL-1 活性に及ぼす影響. 第15回日本臨床免疫学会総会 (62. 7. 3).

長井苑子, 泉 孝英, 北市正則, 西村浩一, 江村正仁, 三尾直士, 竹内 実, 渡辺和彦, 大島駿作: 5年以上病変の持続している肺サルコイドーシス症例の BALF 細胞所見. 第7回日本サルコイドーシス学会総会 (62. 8. 8).

Nagai, S., Izumi, T., Takeuchi, M., Watanabe, K., Oshima, S.: The effect of Angiotensin II (A-II) on the accessory function of BALF macrophages—A possible autostimulatory mechanism of T lymphocyte alveolitis in sarcoidosis. XI World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987. 9. 7. Milan).

長井苑子, 泉 孝英: パネルディスカッション「肺と免疫」IIP・膠原病肺 a) Bronchoalveolar lavage fluid について. 第37回日本アレルギー学会総会 (62. 10. 9).

西村浩一, 平田健雄, 松井祐佐公, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 松本隆志: ELISA 法における肺気腫患者血清中デスモンシン量測定についての検討. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 6).

西村浩一, 泉 孝英, 北市正則, 三尾直士, 長井苑子, 荏原順一, 松井裕佐公, 門 政男, 木野稔也, 大島駿作, 金岡正樹, 伊藤春海: 特発性間質性肺炎症例における蜂窩肺所見についての X 線 CT 像と開胸肺生検標本の比較検討. 第27回日本胸部疾患学会総会, (62. 4. 7).

Nishimura, K., Mio, T., Nagai, S., Kitaichi, M., Izumi, T., Oshima, S., Murata, K., Itoh, H.: Radiological differential diagnosis between IPF and sarcoidosis by X-ray CT. American Thoracic Society 1987 Annual Meeting (1987. 5. 11. New Orleans).

西村浩一, 朝枝哲也, 三尾直士, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 山崎文郎, 田村康一, 伊藤春海: 右上葉気管支閉鎖症の1例. 第10回気管支学会総会, (62. 6. 5).

西村浩一, 北市正則, 泉 孝英, 長井苑子, 荏原順一, 木野稔也, 大島駿作, 金岡正樹, 伊藤春海, 今井弘行: Bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) 症例の X 線 CT 像. 第35回閉塞性肺疾患研究会 (62. 8. 2).

西村浩一, 長井苑子, 荏原順一, 北市正則, 泉 孝英, 大島駿作, 金岡正樹, 伊藤春海: 慢性ペリリウム肺の X 線 CT 像についての検討. 第10回日本サルコイドーシス学会 (62. 8. 8).

Nishimura, K., Itoh, H.: Radiological findings of diffuse panbronchiolitis. Round table: Diffuse panbronchiolitis. XI World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987. 9. 11. Milan).

Nishimura, K., Mio, T., Nagai, S., Kitaichi, M., Izumi, T., Oshima, S., Kanaoka, M., Itoh, H.: Interstitial involvement of pulmonary sarcoidosis by X-ray CT. XI World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987. 9. 10. Milan).

西村浩一, 北市正則, 泉 孝英, 谷本普一: びまん性汎細気管支炎の独立性をめぐって—Round table: Diffuse panbronchiolitis (1987. 9. 11. ミラノ) 報告一. 第36回閉塞性肺疾患研究会 (63. 1. 31).

福田康一, 荏原順一, 安場広高, 木野稔也, 大島駿作: 気管支喘息患者の末梢血好中球機能 (ルミノール依存性化学発光) 及び患者血清による影響についての検討. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 6).

福田康一, 佐竹範夫, 荏原順一, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: 絹ロウケツ染従軍者に生じた植物染料ノールナクトールによる気管支喘息の一例. 第18回職業アレルギー研究会 (62. 7. 17).

安場広高, 松井祐佐公, 小山 弘, 小沢佳広, 川谷 暁夫, 西村浩一, 福田康二, 荏原順一, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: 原発性肺癌患者における血清中 Creatinine Kinase-BB isozyme 値の臨床的検討. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 8).

安場広高, 荏原順一, 木野稔也, 福田康二, 佐竹範夫, 大島駿作: 気管支喘息発作時における血小板活性化の

指標としての ATP 放出能と PF4 クリアランスについて. 第8回臨床アレルギー研究会 (62.7.16).

安場広高, 荻原順一, 木野稔也, 福田康二, 佐竹範夫, 松井祐佐公, 大島駿作: 気管支喘息発作時の血小板活性化の関与—血中 PF4, β -TG 値及び ATP 放出能についての検討: 第62回日本アレルギー学会総会 (62.10.8).

三尾直士, 泉 孝英, 長井苑子, 西村浩一, 江村正仁, 渡部和彦, 竹内 実, 平田健雄, 大島駿作: 特発性間質性肺炎 (IPF) 症例における末梢血顆粒球の機能に関する検討—Phorbol myristate 刺激による H_2O_2 産生細胞数の増加. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62.4.6).

Mio, T., Nagai, S., Takeuchi, M., Emura, E., Izumi, T.: Increased number of oxidant producing granulocytes under phorbol myristate acetate stimulation in patients with idiopathic pulmonary fibrosis and interstitial pneumonitis associated with collagen vascular disease. American Thoracic Society 1987 Annual Meeting (1987.5.11. New Orleans).

三尾直士, 泉 孝英, 長井苑子, 江村正仁, 西村浩一, 北市正則, 大島駿作: サルコイドーシス症例におけるドジメーター法による気道反応性に関する検討. 第27回日本サルコイドーシス学会総会 (62.8.8).

三尾直士, 西村浩一, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英, 大島駿作: 間質性肺炎と肺気腫病変の併存した2症例に関する検討—病因論的立場から—. 第36回閉塞性肺疾患研究会 (63.1.31).

江村正仁, 泉 孝英, 長井苑子, 三尾直士, 渡辺和彦, 竹内 実, 平田健雄, 大島駿作: 特発性間質性肺炎患者末梢血の免疫グロブリン産生細胞に関する検討. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62.4.6).

江村正仁, 泉 孝英, 長井苑子, 三尾直士, 北市正則, 小沢佳広, 大島駿作, 吉田 章, 松森 昭, 藤原久義: 心サルコイドーシス症例に関する検討—特に診断と治療について—. 第7回日本サルコイドーシス学会総会 (62.8.7).

鏑田利恵子, 安場広高, 佐竹範夫, 荻原順一, 福田康二, 北市正則, 松井祐佐公, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: PIE に皮膚病変を伴い hypereosinophilic syndrome と考えられた一例. 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.11.14).

竹内 実, 泉 孝英, 長井苑子, 渡辺和彦, 江村正仁, 三尾直士, 大島駿作: 喫煙の肺の NK 細胞活性に及ぼす影響について: 第27回日本胸部疾患学会総会, (62.4.8).

Takeuchi, M., Nagai, S., Izumi, T.: Low NK cell activity and low responses to IL-2 and OK-432 in the lung lymphocytes of healthy smokers. : American Thoracic Society 1987 Annual Meeting (1987.5.11. New Orleans).

竹内 実, 泉 孝英, 長井苑子, 江村正仁, 三尾直士, 渡辺和彦, 大島駿作: サルコイドーシス症例における肺胞マクロファージの γ -IFN 産生に関する検討. 第7回日本サルコイドーシス学会総会 (62.8.8).

小山 弘, 松井祐佐公, 鏑田利恵子, 田中 茂, 長井苑子, 北市正則, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: COPP-ABV 療法と放射線治療とのサンドウィッチ療法で良好な反応を得たホジキン氏病 (病期IV & IV) の二症例. 第47回日本肺癌学会関西支部会 (62.7.25).

小泉 聡, 長井苑子, 三尾直士, 江村正仁, 西村浩一, 北市正則, 泉 孝英, 大島駿作: リウマチ肺による肺高血圧症の一例. 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.11.14).

小泉 聡, 安場広高, 佐竹範夫, 平田健雄, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: 陳旧性肺結核に合併し, Chylopericardium を伴った上大静脈血栓症の一例. 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.11.14).

川口英人, 長井苑子, 三尾直士, 江村正仁, 北市正則, 泉 孝英, 大島駿作, 沢田博義: SLE で発症し, 経過中に Sjögren 症候群を合併し, 肺病変は UIP と判明した一例. 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.11).

テイン・オン, 長井苑子, 竹内 実, 泉 孝英, 大島駿作: 肺結核症例末梢血単球の IL-1 産生能に関する研究. 昭和62年度日米能学協力研究会結核部会研究会 (63.2.16).

杉本幾久雄: 長浜赤十字病院におけるパラコート中毒の現況. 第5回滋賀県救急医療研究会 (62.2.28).

杉本幾久雄他: 頸椎 MR 画像診断高分解横断像の有用性に就て. 第23回日赤医学会総会 (62.9.18).

Nakashima, M. et al.: Platelet aggregability and prostaglandin metabolites at high altitude. 5th Inter-

national Hypoxia Symposium (87. 2. 10).

Nakashima, M. et al. : Hematocrit, serum lipids and apolipoproteins in Japanese high altitude : Climbers and Tibetan highlanders. 5th International Hypoxia Symposium (87. 2. 10).

Nakashima, M., Saito, A., Matsubagashi, A., Kameyama, M. et al. : Cerebral blood flow and metabolism before and after high altitude sojourn. 5th International Hypoxia Symposium (87. 2. 10).

中島道郎, 浜松康平, 岡田英彦, 橋本圭司, 河原崎孝茂, 谷口隆司 : 在宅酸素系療法に対する酸素濃縮装置の関西地域における普及状況について. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 7).

浅本 仁, 故倉 恵, 川上 明, 伊藤 剛, 古田陸広, 石井 泰, 北市正則, 泉 孝英, 伊藤春海 : ARDSの臨床所見を呈し死亡した7剖検例について. 第36回間質性肺疾患研究会 (62. 5. 15).

浅本 仁, 故倉 恵, 川上 明, 佐々木義行, 沢野哲雄, 藤井秀俊, 川上一郎, 伊藤 剛, 古田陸広, 北市正則, 難波紘二 : 肺原発悪性リンパ腫の臨床像と病理組織像. 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27).

Asamoto, H., Akazawa, Y. : Histologic and immunologic changes in the various organs of the NOD mice. Lessons from Animal Diabetes II. 2nd International Workshop (1987. 9. 9. Geneva).

中山昌彦, 浅妻茂生他 : 肺癌の生長速度よりみた予後と治療効果判定. 第47回日本肺癌学会関西支部 (62. 7. 25).

藤村直樹 : アルミニウムに対しリンパ球刺激テスト陽性を示した, 溶接フラックス取り扱い者にみられたびまん性間質性肺炎の1症例. 日本産業衛生学会近畿地方会・第28回じん肺研究会 (62. 3. 14).

藤村直樹 : アレルギー性職業性肺疾患の臨床. 第16回大阪耳鼻咽喉科アレルギー同好会 (62. 4. 18).

藤村直樹, 田中 茂, 白川太郎, 川添隆司, 梅宮正志, 加藤幹夫, 日置辰一郎 : 高槻赤十字病院における最近の重症肺結核症. 第59回日本結核病学会・第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27).

藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 泉 孝英 : アトピー性気管支喘息患者における非可逆性気道閉塞. 第8回臨床アレルギー研究会 (62. 7. 11).

藤村直樹, 日置辰一郎, 白川太郎, 泉 孝英 : 生コーヒー豆粉塵による職業性喘息症例におけるアレルギー学的検討. 第18回職業アレルギー研究会 (62. 7. 17).

Fujimura, N., Shirakawa, T., Kato, M., Heki, S., Kyono, H., Kitaichi, M., Nagai, S., Izumi, T. : A case of diffuse interstitial pneumonia in a worker exposed to welding flux dust containing aluminum. 11th World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987. 9. 10. Milano).

藤村直樹, 田中 茂, 川添隆司, 松尾晃次, 梅宮正志, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英 : 慢性甲状腺炎を伴った BOOP の一例. 第60回日本結核病学会・第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 11. 14).

荏原順一, 木野稔也, 福田康二, 安場広高, 平田健雄, 泉 孝英, 大島駿作, 好酸球の cytotoxicity に対する PIE 症候群血清増強作用についての検討. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 7).

荏原順一, 木野稔也, 古江増裕, 福田康二, 松井祐佐公, 門 政男, 泉 孝英, 大島駿作 : PIE 症候群における骨髓 eosinophil colony-forming cell (Eo-CFC) についての検討. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 7).

荏原順一, 木野稔也, 安場広高, 福田康二, 泉 孝英, 大島駿作 : 好中球の肺組織傷害性に関する検討—ヒト肺線維芽細胞に対する cytotoxicity とリンホカイン等の影響. 第27回日本胸部疾患学会総会, (62. 4. 6).

荏原順一, 木野稔也, 安場広高, 福田康二, 大島駿作 : ワークショップ「薬物アレルギー」N-5' (トラニラスト) 服用中発症した好酸球性膀胱炎患者尿中の ECF 活性について. 第15回日本臨床免疫学会総会 (62. 7. 3).

荏原順一, 木野稔也, 安場広高, 福田康二, 泉 孝英, 大島駿作 : 好酸球, 好中球の cytotoxicity および活性酸素系に対する platelet-activating factor (PAF) の作用の特徴について. 第15回日本臨床免疫学会総会 (62. 7. 1).

荏原順一, 木野稔也, 福田康二, 安場広高, 平田駿作 : 好酸球性肺炎 (PIE 症候群) における末梢血好酸球増多のメカニズムについて. 第8回臨床アレルギー研究会 (62. 7. 11).

荏原順一 : シンポジウム「アレルギーの病態と好酸球」Ⅲ. 好酸球の臨床. PIE 症候群における肺好酸球の特徴とその機序について. 第5回免疫薬理シンポジウム (62. 8. 22).

荏原順一, 木野稔也, 福田康二, 安場広高, 佐竹範夫, 平田健雄, 大島駿作 : 好酸球からの好中球遊走機能抑

制作用についての検討—好酸球遊走因子添加好酸球培養上清の作用—。第37回日本アレルギー学会総会 (62. 10. 9)。

荏原順一, 木野稔也, 福田康二, 安場広高, 泉 孝英, 大島駿作. PIE 症候群血清中の eosinophil colony stimulatory factor (Eo-CSF) についての検討. 第37回日本アレルギー学会総会 (62. 10. 7)。

渡部良広, 松本陸志, 西村浩一, 大島駿作: 尿中デスモンシン測定法—慢性閉塞性肺疾患 (COLD) 患者の尿中デスモンシン量と肺機能との関連について—。日本薬学会第107年会 (62. 4. 3)。

小山 弘, 西村浩一, 長井苑子, 北市正則, 泉 孝英, 大島駿作, 金岡正樹, 伊藤春海: 検診の胸部X線で両下肺野の網状影と BHL が認められた珪肺症の 1 例. 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27)。

金岡正樹, 伊藤春海, 北市正則, 泉 孝英, 大島駿作: 原発性肺癌76剖検例の臓側胸膜に関する病理組織学的検討. 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27)。

川谷暁夫, 北市正則, 西村浩一, 長井苑子, 泉 孝英, 大島駿作, 金岡正樹, 島田一恵: ガラス原料溶解工にみられたサルコイドーシスの 1 例. 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27)。

小山 弘, 西村浩一, 北市正則, 門 政男, 泉 孝英, 大島駿作, 山崎文郎, 田村康一, 人見滋樹, 黒住真史, 鈴木康弘, 今井弘行, 上田千里, 並河靖司: 気管支内にポリープ様の発育を示した medullary carcinoma-like tumor of lung の 1 切除例. 第28回日本肺癌学会総会 (62. 11. 5)。

Rizzato, G., Izumi, T. et al.: Long-term follow up of Ga⁶⁷ scans and BAL lymphocytes in untreated sarcoid patients. A world wide study from 9 centres in 7 different countries. XI World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987. 9. 11, Milano)。

Hosoda, Y., Izumi, T., et al.: Results of the 1984 nation wide prevalence survey in Japan. XI World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987. 9. 20. Milano)。

Yamamoto, Y., Izumi, T., et al.: Prognostic assessment of BAL and Ga⁶⁷ scan in sarcoidosis cases in less than 2 years after the onset. XI World Congress on Sarcoidosis and other Granulomatous Disorders (1987. 9. 11. Milano)。

田中 茂, 川添隆司, 梅宮正志, 白川太郎, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一朗, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英: 胸部X線上浸潤陰影の出現・消退を繰り返す, 無治療にて軽快した BOOP の 1 例. 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27)。

中村 昇, 中橋弥生, 栗山卓弥, 辻 重行, 川西康夫, 浅妻茂生, 中山昌彦, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英: 検診で発見された多発斑状影の 1 例. 第40回びまん性肺疾患研究会 (63. 2. 20)。

大野聖子, 中山昌彦, 長井苑子, 泉 孝英: 視神経乳頭浮腫を来たしたサルコイドーシスの一例. 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27)。

福永隆文, 山岡新八, 田中螢子, 川上賢三, 三嶋理晃, 久野健志, 西村浩一, 泉 孝英: 慢性肺気腫の気道インピーダンス—各種肺機能検査値, 胸部 CT との関連について—。第35回閉塞性肺疾患研究会 (62. 8. 2)。

福永隆文, 田中螢子, 山岡新八, 川上賢三, 三嶋理晃, 久野健志, 西村浩一, 泉 孝英: 慢性肺気腫患者におけるランダム・ノイズ・オシレーション法による気道インピーダンスの特徴. 第24回日本臨床生理学会総会 (62. 9. 4)。

川添隆司, 田中 茂, 梅宮正志, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一朗, 北市正則, 泉 孝英: 胸部レ線上, 両側びまん性陰影を呈した BOOP の 1 症例. 第59回日本結核病学会・第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27)。

古田陸広, 伊藤 剛, 小原安喜子, 金岡正樹, 北市正則, 浅本 仁, 牧 和夫, 田中郁子: Adenovirus 5 を検出した重症潰瘍性腸炎の 1 例. 第75回日本病理学会総会 (61. 4. 9)。

田中 茂, 藤村直樹, 川添隆司, 梅宮正志, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一朗, 佐々木義行, 北市正則, 榎本雅夫: 肺縦隔病変を主症状とし, 開胸肺生検により原発性マクログロブリン血症と診断された 1 例. 第59回日本結核病学会・第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27)。

石田 直, 池上裕美子, 江南里江子, 中原由紀子, 中原保治, 牛田伸一, 松山栄一, 田村忠雄, 北市正則: 移動する結節影を呈した多発性肺硬塞の 1 例. 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 11. 14)。

佐々木義行, 西村 康, 故倉 恵, 川上 明, 沢野哲雄, 浅本 仁, 西脇光一, 小村敏信, 石井 泰, 李 暉, 楠本秀和, 糸山光磨, 古田睦広, 北市正則: 開胸肺生検により diffuse alveolar damage と診断された一症例. 第37回間質性肺疾患研究会 (62. 11. 20).

松村理司, 鈴木伸二, 林 達也, 木村雅英, 谷口和之, 柳父睦政, 中尾保彦, 黄 正一, 金地研二, 西村敏弘, Willis, G. C., 高橋清之, 北市正則, King, T. E.: 呼吸困難と胸部レ線像の急速な悪化をみとめステロイドに著効を示した1例. 第39回びまん性肺疾患研究会 (62. 12. 19).

山岡新八, 平井正志, 久野健志, 西村浩一, 米倉義晴, 栗山隆信: COPD 患者の右室機能評価による非侵襲的肺動脈圧計測への検討. 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4. 7).

川勝一雄, 武山正治, 川合 満, 西村浩一: 徐放性テオフィリン製剤の予測性. 第2回薬物モニタリング全国交流会 (62. 5. 23-24).

川添隆司, 田中 茂, 梅宮正志, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一朗: 肺結核疑診症例における BALF 中 ADA 活性の検討. 第59回日本結核病学会・第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27).

松尾晃次, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一朗, 白川太郎, 日下幸則: 超硬合金喘息の一例. 第60回日本結核病学会・第30回日本胸部疾患学会近畿地方会, (62. 11. 14).

松尾晃次, 藤村直樹, 加藤幹夫, 三嶋理晃, 久野健志: Swyer-James 症候群の一例. 第60回日本結核病学会・第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 11. 14).

梅宮正志, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一朗, 木下良太, 森中節子, 西本和彦: Wegener 肉芽腫症の一例. 第60回日本結核病学会・第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 11. 14).

辻 重行, 中山昌彦他: 離治性大量胸水にて発症した前縦隔悪性リンパ腫の一例. 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27).

大野聖子, 中山昌彦: 北市正則他: 進行する労作性呼吸困難をきたしたびまん性肺疾患の1例. 第38回びまん性肺疾患研究会 (62. 9. 26).

栗山卓也, 中山昌彦他: 気管支結核の内視鏡及び胸部X線所見. 第13回京都医学会 (62. 9. 27).

沢田 学他, 中山昌彦他: 非小細胞癌に対する MVP 療法—比較的小量 CDDP を用いて. 第28回日本肺癌学会総会 (62. 11. 5).

故倉 恵, 川上 明, 川上一郎, 佐々木義行, 沢野哲雄, 藤井秀俊, 浅本 仁: 縦隔原発 histiocytic lymphoma の一例. 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62. 6. 27).

松林公蔵, 齊藤惇生, 中島道郎: 高所登山時の副交感機能—心拍変動係数による評価—. 第7回日本登山医学シンポジウム (62. 6. 13).

Matsubayashi, A., Saito, A., Nakashima, M.: Autonomic function at high altitude. Matsumoto International Symposium on High-altitude Medical Science (62. 11. 13).

岡田英彦, 河原崎孝茂, 谷口隆司, 橋本圭司, 浜本康平, 中島道郎: Eaton-Lambert 症候群の一例. 第47回日本肺癌学会関西支部会 (62. 7. 25).

〔そ の 他〕

大島駿作: 呼吸器疾患の変遷と現況—日常診療に於いて注意すべき点—. 湖北医連学術講演会 (62. 12. 24).

大島駿作, 安場広高: 異型肺炎, Medicament News (12. 13) p. 8~9, ライフサイエンス, 東京, 1988.

泉 孝英: 間質性肺炎のすべて. II. 病態と診断 3) 生化学, 免疫の立場から. 第8回胸部疾患セミナー (62. 4. 9).

泉 孝英, 西村浩一: 副鼻腔気管支症候群. 京都府耳鼻咽喉科専門医会春期講習会 (62. 4. 19).

泉 孝英: Chronic beryllium disease—A diagnostic workshop (1985年5月7日~8日, Cleveland)—参加記. 呼吸 6(4): 441~444, 1987.

Izumi, T.: Diffuse Panbronchiolitis. Seminar in Division of Respiratory Sciences, College of Medicine, Health Sciences Center. The University of Arizona (1987. 5. 8).

泉 孝英: 肺塞栓 (症) / 肺梗塞 (症肺), うっ血 / 肺水腫, p. 1021~1022, 原発性肺高血圧症, 肺胞たん白

症，特発性肺血鉄症，グッドパスチュア症候群，肺ヒスチオサイトーシスX，肺サルコイドーシス，肺アミロイドーシス，肺胞微石症，好酸球性肺浸潤症候群，中葉症候群，p. 1030～1033，ホーム・メディカ，家庭医学大事典，小学館，1987.

泉 孝英：夏型過敏性肺臓炎．診療手帖(96)：24～26，1987.

泉 孝英：いわゆる PIE 症候群の原因と病態について説明して下さい．気道疾患Q & A，No. 13，1987年8月.

泉 孝英：京都におけるサルコイドーシス554例（1963-1986）．第7回京都呼吸器疾患シンポジウム（62.8.9）.

泉 孝英：薬の相互作用と使い方．病態別にみた相互作用と使い方．臨床医，13(10)：2034～2035，1987.

泉 孝英，砂原茂一，本間日臣，村尾 誠：500号記念座談会．戦後40余年—医学の進歩を語る．呼吸器病学を中心に．最新医学，42(11)：2398～2418，1987.

泉 孝英：これだけは知っておきたい薬の使い方．肺結核の短期化学療法．medicina 増刊号 24(10)：1956～1957，1987.

泉 孝英：Airway obstructive disease and diffuse panbronchiolitis—ツーソンにバロー教授を訪ねて—．呼吸6(11)：1285～1287，1987.

泉 孝英：特集「慢性閉塞性肺疾患—概念と治療を中心に—」座談会：COPD をめぐって．（司会）佐藤篤彦，泉孝英，中田紘一郎，山木戸道郎．臨床医，13(12)：2355～2369，1987.

泉 孝英：びまん性肺疾患の鑑別診断．西京区医師会学術講演会（62.9.24）.

泉 孝英：慢性呼吸器感染症の診断と治療．与謝・北丹医師会学術講演会（62.12.11）.

泉 孝英：び慢性汎細気管支炎に“国際的認知”．Modern Medicine，17(1)：57～59，1988.

泉 孝英：サルコイドーシス．診断・治療マニュアル，p. 329～331，金原出版，昭62.

泉 孝英：慢性呼吸器感染症の診断と治療．西京区医師会講演会（63.1.15）.

泉 孝英：特発性間質性肺炎・肺線維症をめぐって．福井医大第Ⅲ内科セミナー（63.1.27）.

泉 孝英：喫煙と肺・肺疾患．昭和62年度京都大学結核胸部疾患研究所講演会（63.1.29）.

谷本普一，大久保隆男，田村昌士，泉 孝英，小林節雄：特集「閉塞性肺疾患の臨床」座談会．閉塞性肺疾患の今回の意味．内科，61(3)：487～503，1988.

泉 孝英（司会），岡田静雄，森 享：特集「新時代を迎えた結核対策」座談会：重要性を増すオフィスでの早期発見．モダンメディスン，88(3)：26～35，1988.

泉 孝英：「診療手帖」慢性気管支炎と気管支拡張症．日本短波放送（63.3.24）.

泉 孝英：COPD（慢性気管支炎・肺気腫）の今日的意義．富山県魚津市医師会・下新川郡医師会学術講演会（63.3.24）.

木野稔也：気管支喘息の診断と治療，江津市医師会講演会（62.4.15）.

木野稔也：昆虫によるアレルギー，ラジオ大阪（62.8.2）.

木野稔也：変わりゆく気管支喘息の考え方と治療，第86回舞鶴クリニカルセミナー，（62.8.18）.

木野稔也：「特別講演」PIE 症候群と気管支喘息の関連について，第17回京滋臨床アレルギー懇話会（62.8.29）.

木野稔也：変わりゆく気管支喘息の考え方と治療「PAF（血小板活性化因子）と好酸球を中心として」．小松市医師会・加賀市医師会・能美郡医師会学術講演会（62.10.30）.

木野稔也：たばこと健康，京都市社会福祉教育総合センター Weekly City Forum（62.11.4）.

木野稔也，好酸球性肺炎の病態と気管支喘息．「アレルギーにおける好酸球」学術講演会（62.11.4）.

門 政男：E. E. T. Therapy の経過報告，第8回 TNF 群応用研究会（62.6.28）.

門 政男，安場広高，大島駿作，竹田俊男，杉本幾久雄，松下 巖：OK-432，PSK の投与にて縮小したと考えられる肺腫瘍の1例．第31回近畿気管支鏡懇話会（62.7.10）.

門 政男：呼吸器感染症におけるスルペラゾン使用経験．スルペラゾン学術講演会（62.7.11）.

門 政男，木野稔也，北市正則，大島駿作，川合 満，倉沢卓也，鈴木康弘，伊藤元彦，満安清孝：肺門，縦隔の異常陰影を伴った von Recklinghausen's disease の1症例．第30回近畿気管支鏡懇話会（62.3.13）.

- 門 政男：肺癌治療の現状. 第7回 INF 群応用研究会 (62.3.21).
- 松井祐佐公：肺癌—タバコをやめましょう—. 京都工場保健会産業衛生研究会例会 (62.5.22).
- 松井祐佐公：タバコをやめましょう. 京都工場保健会産業衛生ジャーナル, 133(6), 昭62.
- 北市正則：ウェーゲナー肉芽腫症と肺血管炎—International Colloquy on Wegener's Granulomatosis and Other Vasculitides of the Respiratory Tract から—. 呼吸 6(5) : 552~560, 1987.
- 北市正則：間質性肺炎と炎症性気道疾患の疾患概念をめぐって. 第1回呼吸器画像シンポジウム (62.4.11).
- 北市正則：炎症性気道疾患の臨床病理, 日米欧での比較検討成績を中心に. 第2回浜松医科大学第二内科呼吸器グループセミナー (62.10.5).
- 北市正則：IIP の急性型あるいは慢性型の急性悪化, いわゆる ARDS の立場から. Diffuse alveolar damage (DAD) のスペクトラムから. 第36回間質性肺炎研究会討議録, p. 2~17, 1987.
- 北市正則：経気管支肺生検について, (63.3.15), 開胸肺生検について, (63.3.16), 間質性肺炎の概念の変遷について, (63.3.17), びまん性汎細気管支炎 (DPB) の国際的比較検討成績について, (63.3.18), 炎症性気道疾患の臨床像と病理像について, (63.3.19). 中部病院におけるびまん性汎細気管支炎をめぐる14例の病理学的検討成績について, (63.3.17). 沖縄県立中部病院.
- 平田健雄：びまん性汎細気管支炎における慢性感染の動能について—エリスロマイシン治療の意味するもの—. 新潟大学内科第二講座呼吸器研究会 (63.3.16).
- 長井苑子, 井田士朗, 伊奈康孝, 杉本峯晴, 山本正彦：座談会「BAL (bronchoalveolar lavage) をめぐって. 呼吸」6(8) : 801~816, 1987.
- 長井苑子訳：サルコイドーシス (James DG, Studdy PR 著 A Colour Atlas of Respiratory Diseases Vol 6 Sarcoidosis) ローラー・ジャパン.
- 日置辰一郎：気管支喘息とその周辺疾患. 第2回茨木藤取講演会 (62.1.29).
- 日置辰一郎：高槻保健所結核衛生教育講座 (62.3.12, 62.3.18).
- 日置辰一郎：症状からみた呼吸器救急疾患. 千里丘山田臨床医学談話会 (62.7.29).
- 杉本幾久雄：国民死亡第1位, 「ガン」いかに対応するか. 長浜市婦人連合会健康講座 (62.5.20).
- 杉本幾久雄：両側肺にびまん性陰影を呈し急速に死亡した一剖検例. 長浜市医師会 (62.7.65).
- 杉本幾久雄：エイズを考える. 長浜市保健衛生推進員講座 (62.8.21).
- 中島道郎：高山病の予防と処置. 山と溪谷, (629) : 207, 1987.
- 日置辰一郎：症状からみた呼吸器救急疾患, 千里丘山田臨床医学談話会会報 5(7) (62.9.20).
- 日置辰一郎：呼吸困難を主訴とする呼吸器疾患. 大阪保険医協会, 大阪アビック医学ビデオセンター (62.1.10).
- 荏原順一：好酸球と喘息・アレルギー. 左京医師会学術講演会 (62.4.11).
- 中山昌彦：胸部レントゲンの読み方—特に肺癌について—. 第88回舞鶴クリニカルセミナー (62.9.11).
- 中山昌彦：呼吸不全について. 第6回東山医師会生涯教育委員会研修会 (62.10.16).

〔内科第二部門主催講演会〕

- Christopher J. F. Spry 教授：(Department of Immunology, St. George's Hospital Medical School, London, U.K.) “Eosinophil-induced tissue injury in patients with hypereosinophilia” (62.8.26).
- Om P. Sharma 教授セミナー (南カリフォルニア大医学部内科).
- Clinical Problem of Pulmonary Disease 第1回 (63.2.4), 第2回 (63.2.25), 第3回 (63.3.3).
- Clinical Conference (63.3.19).

胸部外科学部門

〔学会発表〕

シンポジウム・特別講演

清水慶彦：医用材料設計を考える：生体内埋植用材料をどう設計するか，大阪工研協会シンポジウム（62.1）。

人見滋樹：胸部悪性腫瘍の外科療法の現況と将来，静岡外科医会特別講演（62.3）。

Hitomi Shigeki：Surgical Treatments of Lung Cancer. Special Lecture in Shanghai Chest Hospital 3. Dec. 1987.

光岡明夫：SAM 免疫能の in vivo 解析，第1回 SAM 京都シンポジウム（62.3）。

池田貞雄：シンポジウム 肺癌における各種腫瘍マーカーの臨床的意義，第66回国際胸部医学会（IACPS）日本支部会定期講演会—ACCP 連帯—（62.3）。

Uovichiro Ueno, Taku Shinozaki, Mitsuomi Shimamoto, Fumiya Akiyama：Late Results of Sternal Turnover with Rectus Muscles Pedicle for Pectus Excavatum, The First International Symposium on Chest Deformities (March 1987).

Akio Mitsuoka, Hiroshi Ezaki, Shun-ichi Sumitomo, Shigeki Hitomi, Morihisa Kitano, et al.：Two cases of severe Poland's syndrome and their repair by sternal turnover and prostheses, The First International Symposium on Chest Deformities (62. 3).

Matsui, T., Koh S., Yamashita N., Tatsumi A., Kitano M.：Chest wall reconstruction with poly-lactic-acid plate, Symposium in chest deformities (62. 3).

和田洋巳，青木 稔，山崎文郎，乾 健二，李 民実，神頭 徹，人見滋樹：肺および心肺移植の臨床応用を目指して—温阻血耐容性，気管支吻合部トラブル，肺の長時間保存の観点からの検討，第4回日本呼吸器外科学会総会（62.5）。

小鯖 覚，李 永浩，塩田哲広，塙 健，榎堀 徹，住友伸一，二宮和子，畠中陸郎，松原義人，船津武志，池田貞雄：シンポジウム 呼吸器手術後肺合併症の臨床的検討，同上学会（62.5）。

光岡明夫：縦隔悪性胚細胞腫の治療，第4回呼吸器外科学会総会，シンポジウム「縦隔腫瘍の治療」（62.5）。

人見滋樹：呼吸器外科の最近の進歩，大阪芝欄会特別講演（62.6）。

奥村典仁：単純胸部レントゲン像で見落としやすい肺癌，肺がんなくす会シンポジウム（62.6）。

青木 稔，住友伸一，岡田賢二，千原幸司，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：胸骨縦切開法による肺手術の術式と問題点，第30回日本胸部外科学会関西地方会シンポジウム(1)前縦隔経路による気管支・肺手術（62.7）。

和田洋巳：縦隔腫瘍—われわれの考え方の変遷—三重大学開講30周年記念講演会（62.8）。

渡部 智：応用酵素固定化の生体機能性医用高分子材料的開発，中国紡績工業部紡織科学研究院合成繊維研究所講演会（62.10）。

渡部 智：Biomedical Materials in Research Center for Medical Polymers and Biomaterials, Kyoto University, 上海市胸科医院胸外科討論会（62.10）。

松原義人，池田貞雄：人工気管による気管および気管分岐部の再建 VTR シネシンポジウム，第39回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会（62.10）。

〔学会発表〕

1. 腫瘍

五十部潤，清谷哲也，田中文啓，李 美於，奥田訓裕，三宅正幸，乾 健二，山崎文郎，池 修，中村達雄，千原幸司，青木 稔，光岡明夫，田村康一，和田洋巳，伊藤元彦，人見滋樹，鈴木康弘：好酸球増多症をきたした胸壁発生線維肉腫の1例，第46回日本肺癌学会関西地方会（62.2）。

乾 健二，清谷哲也，田中文啓，李 美於，奥田訓裕，山崎文郎，五十部潤，池 修，千原幸司，青木 稔，

光岡明夫, 田村康一, 和田洋巳, 伊藤元彦, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: 当院における早期肺癌切除例の検討, 同上学会 (62.2).

小鯖 覚, 李 永浩, 塩田哲広, 榎堀 徹, 塙 健, 住友伸一, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺嚢胞壁に発生した肺癌症例の検討, 同上学会 (62.2).

住友伸一, 李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺過誤腫20例の臨床的検討, 同上学会 (62.2).

榎堀 徹, 池田貞雄, 李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 小鯖 覚, 住友伸一, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志: 肺癌患者における CA125 検討, 同上学会 (62.2).

福瀬達郎, 奥村典仁, 桑原正喜: Superior sulcus tumor の2切除例, 同上学会 (62.2).

山中 晃, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久, 他2名: 胸膜限局型線維性中皮腫の2切除率, 同上学会 (62.2).

横見瀬裕保, 橋平 誠, 宮本好博: 気管管状切除を行ったカルチノイドの1例, 同上学会 (62.2).

竹田秋郎, 倉田昌彦, 瀧 俊彦, 他1名: 乳癌T1症例の検討, 第45回乳癌研究会 (62.2).

K. Yagi, S. Ikeda, S. Kosaba, Y. Matsubara, R. Hatakenaka, G. Martini (Essen, West Germany): Die Chirurgie des Bronchialkarzinoms im fortgeschrittenen Stadium; Ergebnisse nach erweiterten Operationen bei T3 Patienten, Thorax-Herz Und Gefaess Chirurgie (Bad Nauheim) (62.2).

和田洋巳, 人見滋樹, 李 民実, 寺田忠之: 肺癌検診の組織化の関する報告, 厚生省班会議, 第4回池田班会議, 第4回池田班 (62.2).

山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 山中 晃, 北野司久: 肺癌の病理組織型別の制癌剤感受性能について, 第20回制癌剤適応研究会 (62.3).

根本 正, 津田 透, 室恒太郎, 呉 俊雄, 松延政一, 外村聖一, 清水慶彦: Adenoid Cystic Carcinoma に対する気管形成の一経験, 第28回滋賀呼吸器疾患談話会 (62.3).

青木 稔, 乾 健二, 山崎文郎, 池 修, 五十部潤, 千原幸司, 光岡明夫, 田村康一, 和田洋巳, 伊藤元彦, 人見滋樹: P-N₂, III期肺癌切除例の遠隔成績, 第27回日本胸部疾患学会総会 (62.4).

池 修, 乾 健二, 山崎文郎, 五十部潤, 中村達雄, 千原幸司, 青木 稔, 光岡明夫, 田村康一, 渡部 智, 和田洋巳, 清水慶彦, 伊藤元彦, 人見滋樹: 過去20年間の悪性縦腫瘍79例の検討, 同上学会 (62.4).

糸井和美, カレッド・レシャード, 高橋 豊, 平田敏樹, 他3名: 肺癌 N₂ 症例の検討, 同上学会 (62.4).

乾 健二, 和田洋巳, 山崎文郎, 池 修, 五十部潤, 千原幸司, 青木 稔, 光岡明夫, 田村康一, 伊藤元彦, 人見滋樹: 肺癌胸壁合併切除例の検討, 同上学会 (62.4).

榎堀 徹, 池田貞雄, 塩田哲広, 李 永浩, 塙 健, 小鯖 覚, 住友伸一, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志: 肺癌患者における血清 CA125 の臨床的意義, 同上学会 (62.4).

桑原正喜, 福瀬達郎, 奥村典仁: 小児縦隔腫瘍手術例の臨床的検討, 第4回日本呼吸器外科学会総会, (62.5).

高橋 豊, カレッド・レシャード, 平田敏樹, 糸井和美: IV器肺癌手術例の検討, 同上学会 (62.5).

玉田二郎, 清谷哲也, 和澤 仁, 小林 淳, 千葉 渉: 当科における肺癌切除例の検討, 同上学会, (62.5).

高嶋義光, 大野暢宏, その他: 肺癌手術症例と重複癌の検討, 同上学会 (62.5).

池 修, 寺田泰二, 三宅正幸, 乾 健二, 山崎文郎, 五十部潤, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 中村達雄, 渡部 智, 清水慶彦: 過去10年間の肺癌1期症例の検討, 同上学会 (62.5).

前里和夫, 源河圭一郎, 他3名: 80歳以上の高齢者肺癌手術例の検討, 同上学会 (62.5).

福瀬達郎, 奥村典仁, 桑原正喜: 肺嚢胞合併肺癌の臨床的検討, 同上学会 (62.5).

松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 小鯖 覚, 住友伸一, 塙 健, 榎堀 徹, 塩田哲広, 李 永浩, 二宮和子, 池田貞雄: 肺小細胞癌における縦隔鏡検査の意義と手術成績, 同上学会 (62.5).

瀧 俊彦, 竹田秋郎, 倉田昌彦, 他1名: 悪性胸膜中皮腫の2例, 第141回近畿外科学会 (62.5).

塩田哲広, 李 永浩, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 住友伸一, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺と膀胱の重複癌症例の臨床的検討, 同上学会 (62.5).

乾 健二, 李 美於, 山崎文郎, 池 修, 五十部潤, 千原幸司, 岡田賢二, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳,

人見滋樹：気管まで進展した高齢者早期肺癌の一切除例，同上学会（62.5）。

光岡明夫，悪性縦隔腫瘍の診断と治療—特に奇形腫群腫瘍について—，第14回西宮地区芝蘭会（62.5）。

田中文啓，寺町政美，江崎 寛，井上律子，伊東政敏，小林君美：気管支の分岐異常を伴った肺癌の1切除例，第50回中部肺癌学会（62.6）。

カレッド・レシャード：肺癌の治療，今日の問題点，中部肺癌学会（62.6）。

高橋 豊，平田敏樹，糸井和美，カレッド・レシャード，他3名：原発性肺癌における重複癌7例の検討，同上学会（62.6）。

平田敏樹，高橋 豊，糸井和美，カレッド・レシャード，他3名：胸腺扁平上皮癌の1例，同上学会（62.6）。

岡崎宣夫，小阪真二，宮本信昭，他2名：高齢者縦隔腫瘍の2手術例，第26回日本肺癌学会中国四国地方会（62.6）。

小阪真二，宮本信昭，他4名：縦隔リンパ腫の1治験例，同上学会（62.6）。

葉久貴司，小阪真二，他5名：肺非小細胞癌に対する CDDP+VDS, CDDP+MMC の治療効果，同上学会（62.6）。

中平誠一郎，小阪真二，他3名：原発性両側性肺癌の2例，同上学会（62.6）。

岡崎宣夫，沼本 敏，小阪真二，中村隆澄，宮本信昭：高齢者縦隔腫瘍の2手術例，同上学会（62.6）。

高橋 豊，平田敏樹，糸井和美，カレッド・レシャード，他3名：IV期肺癌の治療成績，同上学会（62.6）。

小林 淳，清谷哲也，和澤 仁，千葉 渉，玉田二郎：肺末梢発生腺様嚢胞癌の1切除例，同上学会（62.6）。

清谷哲也，和澤 仁，小林 淳，玉田二郎：薄壁空洞像を示した肺腺癌の2切除例，同上学会（62.6）。

榎堀 徹，李 永浩，塩田哲広，塙 健，小鯖 覚，住友伸一，畠中陸郎，松原義人，二宮和子，船津武志，池田貞雄：肺癌手術例における腫瘍マーカーの有用性，日本外科系連合学会第12回学術集会（62.6）。

二宮和子，李 永浩，塩田哲広，榎堀 徹，塙 健，住友伸一，小鯖 覚，畠中陸郎，松原義人，船津武志，池田貞雄：直径1.5cm以下の小型進行肺癌，昭和62年度西京医師会症例報告会及び学術講演会（62.6）。

前里和夫，源河圭一郎，他4名：肺癌に対する Limited Operation の検討，第20回日本胸部外科学会九州地方会（62.6）。

前里和夫，源河圭一郎，他9名：p-N₂ 肺癌症例の検討，第27回日本肺癌学会九州地方会（62.6）。

山下直己，松井輝夫，辰巳明利，山中 晃，北野司久，他3名：縦隔内 castleman 腫瘍の1切除例，第29回日本胸部疾患学会近畿地方会（62.6）。

平田敏樹，高橋 豊，糸井和美，カレッド・レシャード：癌性胸膜炎における胸膜生検の検討，静岡免疫療法研究会（62.6）。

田中文啓，他10名：椎弓切除により非開胸下に摘出した椎間孔内神経鞘腫の1例，第30回日本胸部外科学会関西地方学会（62.7）。

吉谷 信，篠崎 拓，島本光臣，上野陽一郎，長谷川誠紀，有安哲哉，大久保憲一，秋山文弥：両側性巨大ブラに限局性胸腺中皮腫を合併した1例，同上学会（62.7）。

糸井和美，カレッド・レシャード，高橋 豊，平田敏樹：心筋梗塞後の肺癌手術症例，同上学会（62.7）。

江崎 寛，田中文啓，寺町政美，井上律子，伊東政敏，小林君美：後縦隔原発と考えた繊毛上皮腫の1例，同上学会（62.7）。

李 美於，渡部 智，池 修，岡田賢二，千原幸司，青木 稔，田村康一，和田洋巳，人見滋樹，清水慶彦，他3名：頸部，縦隔，腹部リンパ節に広範多発したカルチノイド腫瘍の1手術例，同上学会（62.7）。

瀧 俊彦，竹田秋郎，倉田昌彦，他1名：甲状腺腫瘍の気管浸潤に対する2期的手術の経験，同上学会（62.7）。

糸井和美，カレッド・レシャード，高橋 豊，平田敏樹：虚血性心疾患を有する肺癌症例に対する肺葉切除術の経験，同上学会（62.7）。

池 修，乾 健二，五十部潤，岡田賢二，千原幸司，青木 稔，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：悪性奇形腫の自験例，同上学会（62.7）。

横見瀬裕保，岡田賢二，千原幸司，青木 稔，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：肺癌手術症例における病期，

Ia, Ib, II期の検討, 同上学会 (62.7).

根本 正, 津田 透, 室恒太郎, 呉 俊雄, 松廷政一, 外村聖一, 清水慶彦: 気管腺様嚢胞癌に対する気管形成の1経験, 同上学会 (62.7).

乾 健二, 山崎文郎, 池 修, 五十部潤, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 他2名: 巨大肺転移病巣(肝原発)を伴った重複癌の一切除例, 同上学会 (62.7).

和田洋巳, 横見瀬裕保, 千葉 涉, 乾 健二, 池 修, 五十部潤, 李 美於, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 渡部 智, 田村康一, 清水慶彦, 人見滋樹: 当教室における10年間の肺癌手術成績, 同上学会 (62.7).

伊藤孝明, 光岡明夫, 五十部潤, 人見滋樹, 他9名: 頸部原発腺様嚢胞癌肺転移の1手術例, 第47回日本肺癌学会関西支部会 (62.7).

桑原正喜, 福瀬達郎, 奥村典仁: 気管支喘息として加療されていた気管内腫瘍の1治験例, 同上学会 (62.7).

井上和重, 光岡明夫, 他10名: 良性悪性の術前診断が困難だった縦隔成熟奇形腫の1例, 同上学会 (62.7).

倉田昌彦, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 他4名: 高齢者肺癌の長期生存例, 同上学会 (62.7).

池 修, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: 重複肺癌7例の検討, 同上学会 (62.7).

乾 健二, 渡部 智, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 最近経験した気管支管腔内早期肺癌の3例, 同上学会 (62.7).

榎堀 徹, 松原義人, 李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 小鯖 覚, 住友伸一, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄, 横川智信, 鈴木捷之, 長谷川徹, 検査科: 肺癌における RIABEAD 法による血清 SCC 値の検討, 同上学会 (62.7).

李 民実, 李 美於, 生島宏彦, 千原幸司: 右上葉 sleeve lobectomy 後の気管内再発に対し気管形成術を施行した肺癌の1例, 同上学会 (62.7).

塙 健, 李 永浩, 塩田哲広, 榎堀 徹, 住友伸一, 小鯖 覚, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄, 高橋清之 京都大学医療技術短期大学部: 胸膜中皮腫5例の検討, 同上学会 (62.7).

李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 住友伸一, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄, 寺崎由香, 大八木明 内科: 心筋転移を伴った肺癌の1例, 同上学会 (62.7).

塩田哲広, 住友伸一, 李 永浩, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄, 中井雅彦 大江病院: 巨大癌性空洞を呈した細気管支・肺胞型腺癌の1切除例, 同上学会 (62.7).

山中 晃, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久: 転移性肺腫瘍の外科治療, 同上学会.

竹田秋郎, 倉田昌彦, 瀧 俊彦, 他1名: 乳癌原発と考えられた malignant melanoma の1例, 第46回乳癌研究会 (62.7).

大野暢宏, 高嶋義光, その他: 小腸穿孔をきたした肺癌の一例, 第21回日本肺癌学会北陸地方会 (62.7).

土居裕幸, 小阪真二他3名: 当院における過去10年間の肺癌と重複癌の検討, 第40回高知県医師会医学会 (62.8).

高橋 豊, 平田敏樹, 糸井和夫, カレッド・レシャード, 和田洋巳: 胸壁腫瘍に対する胸壁再健術の長期観察の1例, 東海外科学会総会 (62.9).

千原幸司, 横見瀬裕保, 千葉 涉, 乾 健二, 池 修, 五十部潤, 岡田賢二, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 中村達雄, 渡部 智, 清水慶彦: 肺癌に対する気管支形成術の成績, 第28回日本肺癌学会総会 (62.9).

和田洋巳: 急増するがんへの対応について—肺癌—昭和62年度『がん征圧の集い』, 京都癌協会主催 (62.9).

桑原正喜: 縦隔腫瘍の画像診断, 第20回関西電力病院学術講演会 (62.9).

青木 稔, 乾 健二, 李 美於, 寺田泰二, 山崎文郎, 千葉 涉, 横見瀬裕保, 池 修, 五十部潤, 岡田賢二, 千原幸司, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 中村達雄, 渡部 智, 清水慶彦: 肺尖部胸壁浸潤型肺癌の外科治療, 第40回日本胸部外科学会総会 (62.10).

池 修, 田中文啓, 李 美於, 山崎文郎, 五十部潤, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 椎弓切除により摘出した椎間孔内神経鞘腫の1例, 同上学会 (62.10).

瀧 俊彦, 竹田秋郎, 倉田昌彦, 他1名: 経食道超音波内視鏡検査による左側縦隔リンパ節転移の検討, 同上学会 (62.10).

カレッド・レシャード, 糸井和美, 高橋 豊, 平田敏樹: 当院における進行肺癌(Ⅲ, Ⅳ期)の外科療法の検討, 同上学会 (62.10).

和田洋巳, 青木 稔, 岡田賢二, 千原幸司, 田村康一, 人見滋樹: 肺癌の集学的治療における外科の役割—Ⅲ期小細胞癌に対する adjuvant surgery の意義, 同上学会 (62.10).

榎堀 徹, 李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 小鯖 覚, 住友伸一, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: Ⅳ期肺癌手術例の検討, 同上学会 (62.10).

五十部潤, 田村康一, 李 美於, 山崎文郎, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹: 広範囲気管浸潤をきたした甲状腺髄様癌再手術の1例, 同上学会 (62.10).

根本 正, 津田 透, 室恒太郎, 呉 俊雄, 松廷政一, 外村聖一, 清水慶彦: 気管腺様嚢胞癌に対する気切管除及び気管形成術の一手術経験, 第25回日本社会保険医学会 (62.10).

辰巳明利, 北野司久: 肺癌症例における CDDP の腎毒性に対する Fosfomycin の予防効果, 同上学会 (62.10).

松井祐佐公, 松原義人, 他: Ⅲ, Ⅳ期肺小細胞癌に対する VP16, CDDP, CTX 三剤併用療法, 同上学会 (62.10).

高嶋義光: 肺癌症例の胸部写真, 嶺南地区読影会 (62.10).

和田洋巳, 横見瀬裕保, 千葉 涉, 乾 健二, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 渡部 智, 田村康一, 人見滋樹: N2 肺小細胞癌に対する補助外科療法の試み, 第28回日本肺癌学会総会 (62.11).

五十部潤, 田村康一, 千葉 涉, 横見瀬裕保, 乾 健二, 渡部 智, 清水慶彦: 切除肺癌再発例の外科療法の検討, 同上学会 (62.11).

青木 稔, 横見瀬裕保, 千葉 涉, 乾 健二, 池 修, 五十部潤, 岡田賢二, 千原幸司, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 肺重複癌の臨床的検討, 同上学会 (62.11).

水野 浩, 安倍隆二, 伊藤元彦, 小原幸信, 東日出夫, 大山口渥, 細川進一: 肺癌における CDDP とプラズマフェレーシスの併用, 同上学会 (62.11).

山中 晃, 黄 政龍, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久: 転移性肺腫瘍の術後成績の検討, 同上学会 (62.11).

畠中陸郎, 榎堀 徹, 李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 小鯖 覚, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 小細胞癌における外科的治療の評価, 同上学会 (62.11).

榎堀 徹, 李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 小鯖 覚, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺多発癌8例の臨床的検討, 同上学会 (62.11).

池田貞雄, 塙 健, 李 永浩, 塩田哲広, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 二宮和子, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志: 胸膜中皮腫8例の臨床的検討, 同上学会 (62.11).

松原義人, 榎堀 徹, 二宮和子, 塙 健, 李 永浩, 塩田哲広, 小鯖 覚, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌診断における有用な腫瘍マーカー, 同上学会 (62.11).

倉田昌彦, 竹田秋郎, 瀧 俊彦, 他1名: 乳癌の肺転移, 同上学会 (62.11).

瀧 俊彦, 竹田秋郎, 倉田昌彦, 他1名: 胸膜播種例に対する手術例の検討, 同上学会 (62.11).

田村康一, 千葉 涉, 横見瀬裕保, 池 修, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹, 五十部潤, 渡部 智, 清水慶彦: 転移性腫瘍切除例の検討, 同上学会 (62.11).

源河圭一郎, 他30名: 最近5年間の肺良性腫瘍(全国調査), 同上学会 (62.11).

前里和夫, 源河圭一郎, 他8名: T₁N₀M₀ 末梢肺癌切除例の検討, 同上学会 (62.11).

カレッド・レシャード, 糸井和美, 平田敏樹, 高橋 豊, 他4名: 癌性胸水におこる腫瘍マーカーと細胞診の相関について, 同上学会 (62.11).

横見瀬裕保, 千葉 涉, 乾 健二, 池 修, 五十部潤, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 中村達雄, 渡部 智, 清水慶彦: 肺野型早期肺癌の検討, 同上学会 (62.11).

松井祐佐公, 松原義人, 他: III, IV期肺小細胞癌に対する VP-16, CDDP, CTX 三剤併用療法, 同上学会 (62. 11).

乾 健二, 横見瀬裕保, 千葉 渉, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 渡部智, 清水慶彦: 肺門部早期肺癌切除例14例の検討, 同上学会 (62. 11).

李 民実, 李 美於, 生島宏彦, 千原幸司, 人見滋樹, 他1名: 開業医外来を利用した肺癌地域検診の成績, 同上学会 (62. 11).

李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 小児縦隔腫瘍の一切除例, 第60回日本結核病学会及び第30回日本胸部疾患学会, 近畿地方会 (62. 11).

塩田哲広, 塙 健, 李 永浩, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 二宮和子, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 巨大な良性線維腫の一切除例, 同上学会 (62. 11).

福瀬達郎, 奥村典仁, 桑原正喜: 肋骨発生 Oscifying fibroma の1切除例, 同上学会 (62. 11).

桑原正喜, 福瀬達郎, 奥村典仁: 肺線維平滑筋腫の1切除例, 同上学会 (62. 11).

張 謙益, 青木 稔, 横見瀬裕保, 岡田賢二, 千原幸司, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 前胸壁に発生した Plasmacytoma の一例, 同上学会 (62. 11).

糸井和美, 平田政樹, カレッド・レシャード, 高橋 豊, 他3名: 髄外性形質細胞腫と形質細胞肉芽腫の性格を合わせもつ一症例, 日本胸部疾患学会東海地方会 (62. 11).

平田敏樹, 高橋 豊, 糸井和美, カレッド・レシャード, 他3名: 胸腔内脂肪腫2例の経験, 同上学会 (62. 11).

高橋 豊, 平田政樹, 糸井和美, カレッド・レシャード, 他3名: CDDP を中心とした化学療法施行例の検討, 中部肺癌学会 (62. 11).

カレッド・レシャード, 糸井和美, 平田敏樹, 高橋 豊, 他3名: 高齢者肺癌の治療と問題点, 同上学会, (62. 11).

田中文啓, 寺町政美, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美, 他1名: 肺炎様陰影を呈した肺腺癌の1切除例, 号51回中部肺癌学会 (62. 11).

Masahiko Kurata, Akio Takeda, Toshihiko Taki, et al.: BREAST CANCER METASTASIS TO THE LUNGS: A CLINICAL STUDY, The 10th Asia-Pacific Congress on Disease of the Chest (1987, 11).

桑原正喜, 福瀬達郎, 奥村典仁: 腫瘍喀出を繰り返す甲状腺癌の気管内浸潤の1例, 第32回近畿気管支鏡懇話会 (62. 11).

大野暢宏, 磯和理貴, 高嶋義光, その他: 気管支嚢胞に合併した肺癌の一例, 第23回日本胸部疾患学会北陸地方会 (62. 11).

松井輝夫, 黄 政龍, 山下直己, 辰巳明利, 山中 晃, 北野司久: 繰り返す肺炎にて発見された気管支粘表皮癌の1切除例, 第142回近畿外科学会 (62. 12).

塩田哲広, 李 永浩, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 血気胸で発生した悪性胸膜中皮腫の1例, 同上学会 (62. 12).

植田充宏, 千原幸司, 岡田賢二, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 他1名: 巨大ブラ症と結腸癌に対し一期的手術を施行した1例, 同上学会 (62. 12).

Keiichiro Genka, Kazuo Maezato et al.: Surgical treatment of lung cancer in patients over the age 80 years, The 10th Asia-Pacific Congress on Diseases of the Chest (62. 12).

平田敏樹, 高橋 豊, カレッド・レシャード, 糸井和美: 縦隔内異所性甲状腺原発と思われた線維肉腫の一例, 静岡県外科医会 (62. 12).

李 永浩: 肺癌における TPA-IRMAK 検討, TPA 研究会 (62. 12).

光岡明夫: 縦隔腫瘍の CT 所見, 第51回大阪呼吸器疾患懇話会 (62. 12).

2. 胸腺・免疫

池 修, 乾 健二, 山崎文郎, 五十部潤, 千原幸司, 青木 稔, 光岡明夫, 田村康一, 和田洋巳, 伊藤元彦,

人見滋樹, 中村達雄, 渡部 智, 清水慶彦: 浸潤性胸腺腫38例の検討, 第46回日本肺癌学会関西地方会, (62.2).

塩田哲広, 船津武志, 榎堀 徹, 李 永浩, 塙 健, 小鯖 覚, 住友伸一, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 池田貞雄: 胸腺腫の1例, 同上学会 (62.2).

三宅正幸, 他1名: 癌患者血清中の1型及び2型ポリラクタサミン抗原の検出と性質, 「癌の細胞膜糖鎖変化の機構とその応用に関する研究」班(永井班)第1回班会議 (62.2).

三宅正幸, 伊藤元彦: 肺癌の糖鎖抗原の分析, 「がんの集学的治療の研究」班(末舛班)肺ガングループ第2回小班会議 (62.3).

瀧 俊彦, 竹田秋郎, 倉田昌彦, 他1名: 胸腺腫の外科治療, 第4回呼吸器外科学会総会 (62.5).

松井輝夫, 黄 政龍, 山下直己, 辰己明利, 山中 晃, 北野司久: 術後7年目に胸膜播種をみた胸腺の1症例, 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.6).

李 民実, 李 美於, 生島宏彦, 千原幸司: 術前後興味ある心電図変化等の臨床経過が認められた胸腺腫合併重症筋無力症の1治験例, 同上学会 (62.6).

倉田昌彦, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 他3名: 喀痰, 気管支肺胞洗浄液中の微生物と免疫グロブリン, 特に secretory IgA について, 同上学会 (62.6).

横見瀬裕保, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 上大静脈の再建を行った浸潤性胸腺腫の2切除例, 第47回日本肺癌学会関西支部会 (62.7).

三宅正幸, 伊藤元彦: 肺癌の糖鎖抗原を認識するヒトマウスモノクローナル抗体, 「固形ガンの集学的治療の研究」班(末舛班)肺癌グループ第1回小班会議 (62.7).

中平誠一郎, 小阪真二, 他3名: 縦隔悪性胚細胞性腫瘍の2例, 第40回高知県医師会医学会 (62.8).

神頭 徹, 人見滋樹, 他7名: LGL 系腫瘍細胞における IL-2 シグナル伝達, 第46回日本癌学会総会 (62.9).

三宅正幸, 伊藤元彦, 人見滋樹, 他3名: 肺癌の糖鎖抗原の分析とヒト・マウスモノクローナル抗体の作製, 同上学会 (62.9).

松井輝夫: 胸腺腫再発の種々相, 第6回胸腺研究会 (62.10).

池 修, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 他3名: 10年以上生存中の浸潤性胸腺腫の2手術例, 同上学会 (62.10).

岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 他1名: Mithramycin 染色による胸腺腫の核内 DNA 分析とその臨床応用の検討, 第40回日本胸部外科学会総会 (62.10).

三宅正幸, 人見滋樹, 伊藤元彦, 岡田慶夫, 他5名: 胎児性抗原としての Le^x, Le^s, sialyl Le^x- での検討, 第28回日本肺癌学会総会 (62.11).

神頭 徹, 他7名: IL-2 様増殖誘導作用を示す抗ヒト LGL (YT) 抗体 (YTA-1) の作製, 日本免疫学会総会, (62.11).

神頭 徹, 他9名: 2R2・IL-2 (p 75) 複合体プロセッシング; IL-2RI (P 55, Tac) による促進効果, 同上学会 (62.11).

平田敏樹, 高橋 豊, 糸井和美, カレッド・レシャード, 他3名: 重症筋無力症における胸腺肥大3例の経験, 中部肺癌学会 (62.11).

石田久雄, 青木 稔, 岡田賢二, 千原幸司, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 上大静脈, 左無名静脈の再建を要した浸潤性胸腺腫の1切除例, 第142回近畿外科学会 (62.12).

三宅正幸, 他1名: 悪性胚細胞腫を中心とした糖脂質の分析による腫瘍マーカーの検討とモノクローナル抗体の作成及び人型モノクローナル抗体を利用した治療についての検討, 「小児腫瘍における分化形質発現の解明とそれに基づいた分子診断法の開発」(泰班)第2回班会議 (62.12).

神頭 徹, 他5名: 増殖誘導抗体 YTA-1 とその抗原の発現調節, 第7回関西フローサイトメトリー研究会およびフローサイトメトリー合同研究会 (62.12).

3. 結 核

和田洋巳, 五十部潤, 池 修, 乾 健二, 山崎文郎, 青木 稔, 田村康一, 渡部 智, 人見滋樹: 穿孔性膿

胸の問題点, 第62回日本結核病学会総会 (62.3).

和田洋巳, 山崎文郎, 乾 健二, 五十部潤, 池 修, 人見滋樹: 外科対象となった気管支結核, 同上学会 (62.3).

糸井和美, カレッド・レシャード, 高橋 豊, 平田敏樹: 膿胸症例に関する検討, 第4回呼吸器外科学会総会 (62.5).

李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 寛, 住友伸一, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 呼吸不全を来した人工気胸後 Silent Empyema の1手術例, 第141回近畿外科学会 (62.5).

寺町政美, 田中文啓, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美: 当院における膿胸の外科的治療の実際, 第19回東海呼吸器感染症研究会 (62.5).

カレッド・レシャード, 糸井和美, 高橋 豊, 平田敏樹, 他3名: 当院における膿胸の治療成績について, 同上学会 (62.5).

和田洋巳, 山崎文郎, 乾 健二, 池 修, 五十部潤, 中村達雄, 千原幸司, 青木 稔, 渡部 智, 田村康一, 人見滋樹: 気道再建を行った気管支結核の検討, 第10回日本気管支学会総会 (62.6).

カレッド・レシャード, 糸井和美, 高橋 豊, 平田敏樹, 他3名: 気管支結核自験例の検討, 同上学会, (62.5).

乾 健二, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 他2名: 胸部写真上縦隔腫瘍を疑った胸椎カリエスの1手術例, 第59回日本結核学会関西地方会 (62.6).

寺町政美, 田中文啓, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏・小林君美: 当院における膿胸例の検討, 第42回国立病院療養所総合医学会 (62.10).

横見瀬裕保, 乾 健二, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 左上葉スリーブ切除を行った気管支結核の1例, 第60回日本結核病学会近畿地方会, 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.11).

Kitano M., Yamashita N., Matsui T., Tatsumi A., Yamanaka A.: Clinical significance of omental flap closure method for chronic empyema with broncho pleural fistula, 10th Asia-Pacific Congress on Diseases of Chest (62.11).

4. 人工材料

平井圭一, 清水慶彦: コラーゲンコートした人工気管上に再生した上皮の分化, 第34回コラーゲン研究会 (62.3).

清水慶彦: 人工臓器の進歩, 南紀医師会講演会 (62.3).

北野司久, 松井輝夫, 山下直巳, 辰巳明利, 山中 晃: 漏斗胸に対する胸骨挙上術——吸収性合成高分子ストラットを利用した術式について——, 第87回日本外科学会総会 (62.4).

池田貞雄, 小鯖 寛, 松原義人, 塙 健, 塩田哲広, 李 永浩, 榎堀 徹, 住友伸一, 二宮和子, 畠中陸郎, 船津武志: 人工気管の実験的研究, 同上学会 (62.4).

河原崎茂孝, 千原幸司, 人見滋樹, 清水慶彦: Cuirass Respirator の循環系に及ぼす影響の実験的検討, 第27回日本胸部疾患学会総会 (62.4).

池田貞雄: 人工気管, 日本胸部外科学会第24回卒後教育セミナー (62.4).

北野司久, 辰巳明利: 胸郭変形に対する吸収性合成高分子ストラットを利用した矯正術の検討, 第24回日本小児外科学会総会 (62.5).

S. Matsunobe, J. Isobe, H. Mizuno, Y. Shimizu: Extracorporeal CO₂ removal by hemodialysis in patients with chronic respiratory failure, 33rd ASAIO (New York, May 18—21 1987).

清水慶彦: 体外循環装置「人工肺と熱交換器」, 第3回日本体外循環技術研究会 (62.6).

松井輝夫, 黄 政龍, 山下直巳, 辰巳明利, 山中 晃, 北野司久: ポリ乳酸プレートを用いた前胸部胸郭変形に対する矯正術の検討, 第30回日本胸部外科学会関西地方会 (62.7).

千原幸司, 河原崎茂孝, 人見滋樹, 清水慶彦: 呼吸同調型陰圧式人工呼吸器の開発, 第9回人工呼吸研究会

(62. 7).

曾 英超, 田村康一, 清水慶彦, 人見滋樹, 他 2 名: 増粘した α -シアノアクリレート, 第25回接着研究発表会 (62. 7).

Tatsuo Nakamura, Satoshi Watanabe, Yasuhiko Shimizu, and 3 others: "Bioabsorbable Polymers and their clinical Application in thoracic Surgery", IUPAC International Symposium on Polymers for Advanced Technologies, Jerusalem ISRAEL (1987. 8).

S. Watanabe, O Ike, T. Nakamura, Y. Shimizu, et al.: Surface Modification of Synthetic Polymer Materials for Medical Use: Addition of Fibrinolytic and Antibacterial Activity, 7th European Conference on Bio-materials (62. 9).

O Ike, S. Watanabe, T. Nakamura, S. Hitomi, Y. Shimizu et al.: Release and degradation characteristics and antitumor effect of Adriamycin containing poly-L-lactic acid microspheres, 同上学会 (62. 9).

Tatsuo Nakamura, Osamu Ike, Satoshi Watanabe, Yasuhiko Shimizu, 3 others: "Biodegradation for Meshes prepared from Poly-L-Lactide", 同上学会 (62. 9).

北野司久, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 山中 晃, 清水慶彦, 他 2 名: 胸郭変形に対する外科的矯正術の検討——特に吸収性合成高分子を利用した術式について, 第40回日本胸部外科学会総会 (62. 10).

松井輝夫, 黄 政龍, 山下直己, 辰巳明利, 山中 晃, 北野司久: ポリ乳酸 (PLA) 肋骨接合ピンの臨床的検討, 同上学会 (62. 10).

小鯖 覚, 李 永浩, 塩田哲広, 埴 健, 榎堀 徹, 住友伸一, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 人工気管の実験的研究, 同上学会 (62. 10).

清水慶彦: 人工気管特別発言, 同上学会 (62. 10).

中村達雄, 池 修, 五十部潤, 滋部 智, 清水慶彦, 他 4 名: 気管外科のための気管物性の基礎的研究, 同上学会 (62. 10).

河原崎茂孝, 千原幸司, 人見滋樹, 清水慶彦: Cuirass Respirator の右心補助効果に関する実験的検討, 同上学会 (62. 10).

清水慶彦: コラーゲン合成高分子複合体の組織反応, 第36回高分子討論会 (62. 10).

Y. Shimizu: Biocompatible materials for soft tissue reconstruction' LK Japan Biomaterial Conference (62. 10).

小鯖 覚, 李 永浩, 塩田哲広, 埴 健, 榎堀 徹, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄, 進行肺癌に対する人工気管の適応——とくに吻合部の問題点について, 第28回日本肺癌学会総会 (62. 11).

田村康一, 河原崎茂孝, 池 修, 人見滋樹, 五十部潤, 清水慶彦: Polyurethane を素材とする人工血管の開発——内陸表面の pore size の影響——, 第25回日本人工臓器学会大会 (62. 11).

河原崎茂孝, 千原幸司, 人見滋樹, 清水慶彦, 他 3 名: 焦電素子を用いた新しい呼吸センサーの開発, 同上学会 (62. 11).

田村康一, 河原崎茂孝, 人見滋樹, 曾 英超, 玄 烝然, 筏 義人, 清水慶彦: 外科用接着剤としての Etoxyethylcyanoacrylate の応用——組織反応について——, 同上学会 (62. 11).

五十部潤, 水野 浩, 松延政一, 寺田泰二, 千原幸司, 渡部 智, 清水慶彦: 人工透析器を利用した少流量体外循環二酸化炭素除去 (ECCO2R) の実験的検討, 同上学会 (62. 11).

水野 浩, 五十部潤, 松延政一, 中村達雄, 千原幸司, 河原崎茂孝, 渡辺 智, 清水慶彦, 細川進一, 山内紘一: 酸素運搬体をもちいた液-液人工肺の in vivo study, 同上学会 (62. 11).

中村達雄, 林 寿郎, 清水慶彦, 他 1 名: ポリアミノ酸荷電ハイドロゲル膜の組織親和性と生体内劣化, 第9回日本バイオマテリアル学会大会 (62. 11).

池 修, 渡部 智, 清水慶彦, 人見滋樹, 他 3 名: アドリアマイシン ポリL乳酸マイクロスフェアの抗腫瘍効果, 同上学会 (62. 11).

S. Kawarasaki, K. Chihara, S. Hitomi and Y. Shimizu: Effects of the cuirass type negative pressure ventilator on right heart function. The 10th Asia-Pacific Congress on Disease of the Chest (1987. 11-12).

T. Go, S. Matsunobe, T. Nemoto, T. Tsuda, K. Muro, S. Tonomura, Y. Shimizu : Clinical application of artificial biomaterials in chest wall reconstruction, 同上学会 (62.11).

河原崎茂孝, 千原幸司, 人見滋樹, 清水慶彦, 乾 健二, 他2名 : 呼吸同調型 Cuirass レスピレーターが著効を示した筋萎縮性側索硬化症の急性呼吸不全の一例, 第30回日本胸部疾患学会近畿地方会 (62.11).

Koji Chihara, Shigetaka Kawarasaki, Shigeki Hitomi and Yasuhiko Shimizu : Development of a new triggered cuirass respirator, Taipei (1987. 11).

Hiroshi Mizuno, Jun Isobe, Seichi Matsunobe, Yasuhiko Shimizu : Respiratory Gas Exchange Using Hemodialysis and an O₂ Carrier, Am Soc Artif Intern Organ, 1987 New York.

5. 心・血管

伊東政敏, 寺町政美, 江崎 寛, 岡田賢二, 井上律子, 小林君美, 他3名 : ASD-MRcomplex の8例, 第34回国立療養所循環器疾患研究会 (62.2).

上野陽一郎, 篠崎 拓, 島本光臣, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 吉谷 信, 大久保憲一, 秋山文弥 : WPW 症候群2例の手術治験, 静岡県外科医会第141回集談会 (62.3).

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 吉谷 信, 大久保憲一, 秋山文弥 : 当院における胸部ならびに腹部大動脈瘤手術症例の検討, 同上学会 (62.3).

井上寛治, 他6名 : 経皮的僧帽弁交連裂開術, 第51回日本循環器学会学術集会 (62.3).

上野陽一郎, 大久保憲一, 吉谷 信, 有安哲哉, 長谷川誠紀, 島本光臣, 篠崎 拓, 秋山文弥 : AC バイパス手術における輸血量節域法の検討, 第2回静岡輸血懇話会学術集会 (62.3).

中村隆澄, 北村文夫, 井上寛治, 宮本信昭 : Prosthetic Valve Endocarditis の外科治療, 第17回日本心臓血管外科学会 (62.4).

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 吉谷 信, 大久保憲一, 秋山文弥 : 急性期I型解離性大動脈瘤手術症例の検討—連続せる7症例について—, 第17回日本心臓血管外科学会学術総会 (62.5).

井上和重, 宮本 巍, 光岡明夫, 他5名 : Saddle emboli の1手術治験例, 第141回近畿外科学会 (62.5).

田中文啓, 寺町政美, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美, 他3名 : 高齢者在房粘液腫の1治験例, 第35回岐阜循環器疾患研究会 (62.5).

有安哲哉, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 吉谷 信, 大久保憲一, 秋山文弥 : 低年齢女性にみられた LMT 病変4例の検討, 静岡県外科医会第142回集談会 (62.6).

寺町政美, 田中文啓, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美 : 大動脈弁上狭窄症の1治験例, 岐阜小児循環器懇話会 (62.6).

原 裕, 宮本 巍, 村田紘崇, 光岡明夫, 他6名 : 上行及び弓部大動脈に発生した仮性動脈瘤3例の経験, 第30回日本胸部外科学会関西地方会 (62.7).

上田哲也, 宮本 巍, 村田紘崇, 光岡明夫, 他8名 : 腕頭動脈の再建を行った Bentall 手術の1例, 同上学会, (62.7).

伊東政敏, 田中文啓, 寺町政美, 江崎 寛, 井上律子, 小林君美 : 術前膠原病が疑われた IE 合併 AS の1例, 同上学会 (62.7).

寺町政美, 田中文啓, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美 : 血栓を伴った左房粘液腫の1治験例, 同上学会 (62.7).

上野陽一郎, 篠崎 拓, 島本光臣, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 吉谷 信, 大久保憲一, 秋山文弥 : 心房粘液腫8例の検討——術中超音波検査の有用性について——同上学会 (62.7).

大久保憲一, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 吉谷 信, 秋山文弥 : ベーチェット病に合併した胸部大動脈瘤の1例, 同上学会 (62.7).

有安哲哉, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 吉谷 信, 大久保憲一, 秋山文弥 : L型大血管位置異常の2例, 同上学会 (62.7).

上野陽一郎 : 高齢者の心臓大血管手術症例の検討, 第47回東海心臓外科懇話会 (62.7).

秋山文弥, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 吉谷 信, 大久保憲一: 低年齢女性にみられた冠動脈 LMT 病変 4 例の検討——特に大動脈炎症候群との関連——, 第23回中部外科学会総会 (62. 8).

山本克人, 井上寛治, 宮本信昭, 他 6 名: 僧帽弁疣贅および僧帽弁腱索断裂を合併した細菌性心内膜炎の 1 例, 第40回高知県医師会医学会 (62. 8).

上野陽一郎, 篠崎 拓, 島本光臣, 有安哲哉, 吉谷 信, 大久保憲一, 井上孝史, 秋山文弥: 感染性心内膜炎に対する弁置換術例の検討, 第222回東海外科学会総会 (62. 9).

井上寛治, 他 7 名: 経成的経静脈的僧帽弁交連裂開術, 第40回日本胸部外科学会総会 (62. 10).

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 吉谷 信, 大久保憲一, 秋山文弥: 胸部大動脈瘤緊急手術例の検討, 同上学会 (62. 10).

秋山文弥, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 吉谷 信, 大久保憲一: 当院における Björk-Shiley 弁置換術の遠隔成績, 同上学会 (62. 10).

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 有安啓哉, 吉谷 信, 大久保憲一, 秋山文弥: I 型解離性大動脈瘤の急性期緊急手術, 第49回日本臨床外科学会総会 (62. 10).

伊東政敏, 田中文啓, 寺町政美, 江崎 寛, 井上律子, 小林君美: 三尖弁輪形成術の検討, 第42回国立病院療養所総合医学会 (62. 10).

岩岡 聡, 宮本 巍, 村田紘崇, 光岡明夫, 他 8 名: 酸素加品質心筋保護液を用いた長期間大動脈遮断, 第11回日本心筋保護研究会 (62. 10).

中村隆澄, 宮本信昭: IS 弁の治療成績, 第34回生体弁研究会 (62. 10).

寺町政美, 田中文啓, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美, 他 3 名: 蛋白漏出性腸症状を呈した VSD-TR の 1 手術治験, 第35回国立療養所循環器疾患研究会 (62. 10).

賀来克彦, 宮本 巍, 村田紘崇, 光岡明夫, 他 6 名: 術後大動脈造影検査からみた Bentall 手術成績の検討, 第35回日本心臓病学会学術集会 (62. 10).

田中文啓, 寺町政美, 江崎 寛, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美, 他 3 名: 部分型房室中隔欠損の 1 手術治験, 第 2 回岐阜小児循環器懇話会 (62. 10).

上野陽一郎, 篠崎 拓, 島本光臣, 有安哲哉, 吉谷 信, 大久保憲一, 井上孝史, 秋山文弥: Cardiectomy Reservoir を用いた回収式自己輸血法の経験, 第 2 回回収式自己輸血研究会 (62. 11).

6. 移 植

乾 健二, 山崎文郎, 神頭 徹, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋極: 気管支吻合部治癒状態と気管支粘膜血流, 第 3 回肺および心肺移植研究会 (62. 1).

乾 健二, 山崎文郎, 神頭 徹, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹: 同種肺移植における気管支鏡所見と気管支粘膜血流の関係, 第10回日本気管支学会総会 (62. 6).

横見瀬裕保, 山崎文郎, 乾 健二, 李 民実, 神頭 徹, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹: 長時間肺保存の Viability の評価, 第23回日本移植学会総会 (62. 9).

乾 健二, 山崎文郎, 横見瀬裕保, 神頭 徹, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹: 同種左肺移植における気管支吻合部治癒状態の検討, 同上学会 (62. 9).

乾 健二, 山崎文郎, 横見瀬裕保, 神頭 徹, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹: 同種肺移植における気管支吻合部治癒状態と気管支粘膜血流の関係, 第40回日本胸部外科学会総会 (62. 10).

光岡明夫, 花田敬吾, 伊藤元彦, 瀧 俊彦, 三宅正幸, 人見滋樹, 宮本 巍: 同種および異種移植における免疫寛容の検討. 異種移植寛容と気管移植へのフィードバック, 同上学会 (62. 10).

青木 稔, 横見瀬裕保, 李 民実, 乾 健二, 和田洋巳, 人見滋樹: イヌ同種肺移植の気管支吻合部の組織学的検討, 第 4 回肺および心肺移植研究会 (62. 11).

青木 稔, 横見瀬裕保, 李 民実, 乾 健二, 和田洋巳, 人見滋樹: イヌ同種肺移植の気管支吻合部の組織学的検討, 同上学会 (62. 11).

乾 健二, 横見瀬裕保, 李 民実, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹: LDV を用いたイヌ同種肺移植における

気管支吻合部拒絶反応の解析, 同上学会 (62. 11).

7. 一般的胸部疾患

桑原正喜: 『肺疾患をもつ患者のマネイジメント』, 医師のための心臓病研究会 (62. 2).

塙 健, 気管支軟化症の実験的研究, 第15回京都大学結核胸部疾患研究所胸部外科部門研究会 (62. 2).

高橋 豊, 平田敏樹, 糸井和美, カレッド・レシャード, 他4名: 当院における呼吸器感染症と喀痰培養における細菌叢について, 東海呼吸器感染症研究会 (62. 2).

吉谷 信, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 大久保憲一, 秋山文弥: 先天性食道気管支瘤に膿胸を併発した1例, 静岡県外科医会第141回集談会 (62. 3).

津田 透, 根本 正, 室恒太郎, 呉 俊雄, 松延政一, 外村聖一, 清水慶彦: MORGAGNI 孔ヘルニアの一手術例, 第28回滋賀呼吸器疾患談話会 (62. 3).

山中 晃, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久, 高橋憲太郎, 加藤弘文, 岡田慶夫: 気道上皮及び気管支腺の再生過程に関する実験的研究, 第27回日本胸部疾患学会総会 (62. 4).

千原幸司, 河原崎茂孝, 乾 健二, 山崎文郎, 五十部潤, 池 修, 三宅正幸, 中村達雄, 青木 稔, 光岡明夫, 田村康一, 和田洋巳, 伊藤元彦, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦, 松延政一: 巨大ブラ症の換気運動の検討, 同上学会 (62. 4).

カレッド・レシャード, 平田敏樹, 高橋 豊, 糸井和美, 他3名: 当院の気管支喘息患者における血中テオフィリン濃度の日内変動, 同上学会 (62. 4).

住友伸一, 李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: CT と縦隔鏡検査による肺癌の縦隔リンパ節転移の診断率の比較検討, 同上学会 (62. 4).

池田貞雄: 榎堀 徹, 李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 小鯖 覚, 住友伸一, 二宮和子, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志: 肺クリプトコックス症の血清学的診断, 同上学会 (62. 4).

辰巳明利, 北野司久, 山中 晃, 松井輝夫, 山下直己: 胸壁穿孔を伴う有茎性大綱充填法, 同上学会, (62. 4).

カレッド・レシャード, 糸井和美, 高橋 豊, 平田敏樹, 3名: 気管支閉塞術による気胸の治療効果について, 同上学会 (62. 4).

寺田泰二, 松延政一, 根本 正, 室恒太郎, 呉 俊雄, 外村聖一, 平田健雄, 清水慶彦: flow-volume 曲線解析の試み—換気能力の指標としての flow-volume 曲線の面積について, 同上学会 (62. 4).

塙 健, 李 永浩, 塩田哲広, 榎堀 徹, 住友伸一, 小鯖 覚, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 気管軟化症の実験的研究, 同上学会 (62. 4).

倉田昌彦, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 他1名: 咯血(非癌症例)に対する外科治療, 第4回呼吸器外科学会総会 (62. 5).

清谷哲也, 和澤 仁, 小林 淳, 千葉 渉, 玉田二郎: 当科で入院治療した自然気胸116例の検討, 同上学会 (62. 5).

北野司久, 辰巳明利, 松井輝夫, 山下直己, 山中 晃: 有膿性膿胸に対する有茎性大綱充填術の臨床的意義, 同上学会 (62. 5).

青木 稔, 乾 健二, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 呼吸器手術後肺合併症とその対策, 同上学会, (62. 5).

カレッド・レシャード, 糸井和美, 高橋 豊, 平田敏樹, 他3名: 咯血に対する気管支動脈結紮切除術の検討, 同上学会 (62. 5).

江崎 寛, 田中文啓, 寺町政美, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美, 他3名: Thin sliceCT の有用性について, 同上学会 (62. 5).

小阪真二, 井上寛治, 中村隆澄, 北村文夫, 宮本信昭, 中山 正: 両側気胸症例の検討, 同上学会 (62. 5).

宮本信昭, 小阪真二, 井上寛治, 中村隆澄, 北村文夫: 肺アスペルギルス症の臨床的ならびに病理組織学的検討, 同上学会 (62. 5).

船津武志, 畠中陸郎, 松原義人, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 李 永浩, 塩田哲広, 住友伸一, 二宮和子, 池田貞雄: 巨大肺嚢胞症の外科治療, 同上学会 (62. 5).

人見滋樹：機能回復，温存をめざす呼吸器外科，埼玉医大胸部外科特別講議（62.5）。

榎堀 徹，李 永浩，塩田哲広，塙 健，小鯖 覚，住友伸一，松原義人，畠中陸郎，二宮和子，船津武志，池田貞雄：成人の先天性気管支食道瘻の1手術例，第141回近畿外科学会（62.5）。

渡部 智，李 美於，清谷哲也，五十部潤，乾 健二，千原幸司，岡田賢二，山崎文郎，池 修，青木 稔，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：両側巨大肺嚢胞症に対する Autosuture の応用，同上学会（62.5）。

平田敏樹，高橋 豊，糸井和美，カレッド・レシャード，他3名：胸膜生検20例の経験，日本胸部疾患学会東海地方会（62.5）。

山中 晃，山下直己，松井輝夫，辰巳明利，北野司久，高橋憲太郎，加藤弘文，岡田慶夫，他1名：気道上皮及び気管支膜の再生過程に関する実験的研究，第10回日本気管支学会総会（62.6）。

北野司久，黄 政龍，山下直己，松井輝夫，辰巳明利，山中 晃：有茎性大網充填術における内視鏡所見，同上学会（62.6）。

和澤 仁，千葉 渉，小林 淳，玉田二郎：外傷性気管食道断裂の一治験例，同上学会（62.6）。

池田貞雄，塩田哲広，塙 健，李 永浩，榎堀 徹，住友伸一，小鯖 覚，二宮和子，畠中陸郎，松原義人，船津武志：気管切開の適応と手技—106例の検討，同上学会（62.6）。

二宮和子，池田貞雄，松原義人，李 永浩，塩田哲広，榎堀 徹，塙 健，住友伸一，小鯖 覚，畠中陸郎，船津武志：気管ボタン35例の使用経験，同上学会（62.6）。

塙 健，小鯖 覚，松原義人，李 永浩，塩田哲広，榎堀 徹，住友伸一，畠中陸郎，二宮和子，船津武志，池田貞雄，松田武久，中島伸之：気管軟化症の実験的研究，同上学会（62.6）。

住友伸一，李 永浩，塩田哲広，塙 健，榎堀 徹，小鯖 覚，二宮和子，松原義人，畠中陸郎，船津武志，池田貞雄：術後合併症対策における気管支鏡の有用性，同上学会（62.6）。

塩田哲広，李 永浩，塙 健，榎堀 徹，小鯖 覚，住友伸一，畠中陸郎，松原義人，二宮和子，船津武志，池田貞雄，小林武彦，高橋清之：Lymphoid hyperplasia に伴った慢性肺炎の1例，第59回日本結核病学会第29回日本胸部疾患学会近畿地方会（62.6）。

住友伸一，李 永浩，塩田哲広，塙 健，榎堀 徹，小鯖 覚，松原義人，畠中陸郎，二宮和子，船津武志，池田貞雄：咯血を反復した気管支性嚢胞の1例，同上学会（62.6）。

五十部潤，岡田賢二，千原幸司，青木 稔，田村康一，和田洋巳，渡部 智，人見滋樹：肺静脈瘤の1例，同上学会（62.6）。

奥村典仁，福瀬達郎，桑原正喜：大量の血性胸水を呈したループス胸膜炎の1例，同上学会（62.6）。

北野司久，山下直己，松井輝夫，山中 晃，辰巳明利，他1名：Nu-マウスに移植された肺クリプトコッカス症の増殖動態，同上学会（62.6）。

李 永浩，塩田哲広，塙 健，榎堀 徹，小鯖 覚，住友伸一，松原義人，畠中陸郎，二宮和子，船津武志，池田貞雄：肺クリプトコッカス症の1例，同上学会（62.6）。

塙 健，李 永浩，塩田哲広，榎堀 徹，住友伸一，小鯖 覚，松原義人，畠中陸郎，二宮和子，船津武志，池田貞雄，高橋清之：BOOP が疑われた慢性肺炎の1例，同上学会（62.6）。

千原幸司，河原崎茂孝，岡田賢二，青木 稔，渡部 智，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：巨大気腫性肺嚢胞症の横隔膜とブラの運動の関係及び開胸下ブラ内圧との関係，第30回気胸研究会（62.6）。

糸井和美，カレッド・レシャード，高橋 豊，平田敏樹：気腫性肺嚢胞症手術例の検討，同上学会（62.6）。

平田敏樹，高橋 豊，糸井和美，カレッド・レシャード，他3名：自然気胸の診断における胸腔造影の検討，同上学会（62.6）。

李 民実，李 美於，生島宏彦，千原幸司，他2名：肋骨多発骨折により呼吸不全をきたした喘息患者にセラミック肋骨ピンによる整復術を施行し著明な症状の改善をみた一例，第54回日本救急医学会近畿地方会（62.6）。

平田敏樹，高橋 豊，糸井和美，カレッド・レシャード，他5名：胸水を伴ったサルコイドーシスの一例，日本胸部疾患学会東海地方会（62.6）。

高橋 豊，平田敏樹，糸井和美，カレッド・レシャード，他3名：肺真菌症に対する手術例の検討，静岡県外科医会（62.6）。

小阪真二, 井上寛治, 宮本信昭, 他2名: 縦隔脂肪腫が疑われた Morgagn 孔ヘルニアの1治験例, 第26回日本肺癌学会中国四国地方会 (62.6).

呉 俊雄, 根本 正, 津田 透, 室恒太郎, 松延政一, 外村聖一, 清水慶彦: 胸壁欠損による慢性期(術後14年)動揺胸部に対して胸壁再建術を施行した1治験例, 第30回日本胸部外科学会関西地方会 (62.7).

大野暢宏, 高嶋義光, その他: 当院における胸部外傷手術例の検討, 同上学会 (62.7).

高嶋義光, 大野暢宏, 和田洋巳, その他: 急性呼吸不全を呈した成人食道気管支瘻の一手術例, 同上学会, (62.7).

津田 透, 根本 正, 室恒太郎, 呉 俊雄, 松延政一, 外村聖一, 清水慶彦: 開胸術の術後出血動態の解析, 同上学会 (62.7).

山中 晃, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久: 肺真菌症15例の臨床像と外科的治療, 同上学会 (62.7).

和澤 仁, 小林 淳, 清谷哲也, 玉田二郎: 当科における胸部外傷例の検討, 同上学会 (62.7).

千原幸司, 河原崎茂孝, 岡田賢二, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: 横郭神経麻痺症例の換気運動の検討, 同上学会 (62.7).

高橋 豊, 平田敏樹, 糸井和美, カレド・レシャード: 肺真菌症に対する手術例の検討, 同上学会 (62.7).

塩田哲広, 李 永浩, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 住友伸一, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 自然気胸の術後再発例に対する再手術例, 同上学会 (62.7).

河原崎茂孝, 岡田英彦, 他4名: 喘息重積状態と診断され, 緊急気管切開にて救命し得た気管結石の一例, 同上学会 (26.7).

榎堀 徹, 李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 小鯖 覚, 住友伸一, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 巨大肺嚢胞症の術後遠隔成績, 同上学会 (62.7).

小鯖 覚, 李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 榎堀 徹, 住友伸一, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 術後動脈支瘻の検討, 同上学会 (62.7).

岡田英彦, 河原崎茂孝, 他4名: Eaton-Lambert 症候群の1例, 第47回日本肺癌学会関西支部, (62.7).

倉田昌彦, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 他4名: 中葉症候群を呈したサルコイドシートの1例, 第31回近畿気管支鏡懇話会 (62.7).

葉久貴司, 小阪真二, 他3名: アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の1例, 第40回高知県医師会医学会 (62.8).

小阪真二, 井上寛治, 宮本信昭, 他7名: 縦隔鏡検査の有用性について, 同上学会 (62.8).

中山 正, 小阪真二, 他3名: 当院における在宅酸素療法の検討, 同上学会 (62.8).

清水慶彦: 適正な吻合とは, 第4回気管気管支再建術研究会 (62.8).

糸井和美, カレド・レシャード, 高橋 豊, 平田敏樹: 術後疼痛に対する持続硬膜外麻酔の経験, 東海外科学会総会 (62.9).

高嶋義光: 胸部写真読影会, 坂井郡医師会 (62.9).

人見滋樹: 肺癌手術時, 縦隔廓清の必要性に対する考察——No 絶対的治療切除相当例から——指定討論, 40回日本胸部外科学会総会 (62.10).

田村康一, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: 胸骨正中切開による両側巨大肺嚢胞症の手術, 同上学会 (62.10).

千原幸司, 河原崎茂孝, 岡田賢二, 青木 稔, 渡部 智, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹, 清水慶彦, 松延政一: 巨大気腫性肺嚢胞症の手術適応, 同上学会 (62.10).

辰巳明利, 北野司久, 山中 晃, 松井輝夫, 山下直己: 有瘻性慢性膿胸に対する有茎性大網充填法, 同上学会 (62.10).

渡部 智, 中村達雄, 五十部潤, 清水慶彦, 乾 健二, 岡田賢二, 千原幸司, 青木 稔, 田村康一, 和田洋巳, 人見滋樹: 気腫性肺嚢胞症, 気腫性肺の病巣に対する Autosuture の応用, 同上学会 (62.10).

塙 健, 李 永浩, 塩田哲広, 榎堀 徹, 住友伸一, 小鯖 覚, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志,

池田貞雄：気管軟化症の実験的研究，同上学会（62.10）。

塩田哲広，李 永浩，塙 健，榎堀 徹，小鯖 覚，住友伸一，畠中陸郎，松原義人，二宮和子，船津武志，池田貞雄：自然気胸に対する外科治療の問題点，同上学会（62.10）。

船津武志，松原義人，榎堀 徹，小鯖 覚，塙 健，塩田哲広，李 永浩，住友伸一，畠中陸郎，二宮和子，池田貞雄：巨大肺嚢胞症の手術，第49回日本臨床外科医学会総会（62.10）。

塙 健，李 永浩，塩田哲広，榎堀 徹，住友伸一，小鯖 覚，畠中陸郎，松原義人，二宮和子，船津武志，池田貞雄：気管支嚢胞12例の検討，同上学会（62.10）。

小鯖 覚，松原義人，池田貞雄：術後無気肺に関する臨床的検討，第39回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会（62.10）。

津田 透，根本 正，室恒太郎，呉 俊雄，松延政一，外村聖一，清水慶彦：モルガニ孔ヘルニアに対する経胸的アプローチによる手術経験，第25回日本社会保険医学会（62.10）。

乾 健二，他 5 名：髄膜症を呈したミノマイシンによる PIE 症候群の一例，第33回日本麻酔学会関西地方会（62.10）。

田村康一，千葉 渉，池 修，五十部潤，岡田賢二，千原幸司，青木 稔，和田洋巳，人見滋樹，中村達雄，渡部 智，清水慶彦：当院におけるレーザー治療の問題点：特にその合併症に対する対策，第28回日本肺癌学会総会（62.11）。

光岡明夫，他13名：一期的に右肺全摘術（肺癌）と気管膜様部固定術（気管気管支軟化症）を施行した 2 症例，同上学会（62.11）。

長谷川吉則，渡部 智，人見滋樹，他 4 名：気管支嚢胞の 1 症例，第60回日本結核病学会，第30回日本胸部疾患学会近畿地方会（62.11）。

池田貞雄，李 永浩，塩田哲広，塙 健，榎堀 徹，小鯖 覚，二宮和子，畠中陸郎，松原義人，船津武志：肺クリプトコックス症の血清学的診断，同上学会（62.11）。

李 美於，李 民実，生島宏彦，千原幸司，人見滋樹，他 1 名：最近経験したオウム病（クラミジア肺炎）の 3 例，同上学会（62.11）。

黄 政龍，辰巳明利，山中 晃，松井輝夫，山下直己，北野司久，他 2 名：本院の自然気胸112例の臨床的検討——特に異時性対側再発について，同上学会（62.11）。

辰巳明利，黄 政龍，山下直己，松井輝夫，山中 晃，北野司久，他 3 名：チフス菌感染後43年を経て発症した慢性膿胸の 1 手術例，同上学会（62.11）。

植田充宏，青木 稔，横見瀬裕保，岡田賢二，千原幸司，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：後縦隔に発生した気管支嚢胞の一切除例，同上学会（62.11）。

千原幸司，河原崎茂孝，岡田賢二，青木 稔，田村康一，和田洋巳，人見滋樹：横隔膜と腹壁の振幅の関係，同上学会（62.11）。

Koji Chihara, Shigeki Hitomi: Effects of giant bulla on the diaphragm-rib cage motion and pulmonary function, 10th Asia-Pacific Congress on Diseases of the Chest, Taipei (1987, 11).

カレッド・レシャード，平田政樹，高橋 豊，糸井和美，他 3 名：胸部外傷，自験例の検討，日本胸部疾患学会東海地方会（62.11）。

糸井和美，平田敏樹，高橋 豊，カレッド・レシャード：当院における間質性肺炎の診断について，同上学会（62.11）。

平田敏樹，高橋 豊，糸井和美，カレッド・レシャード，他 3 名：ステロイド治療中に縦隔気腫を合併した特発性間質性肺炎の 1 例，気胸研究会（62.11）。

カレッド・レシャード，平田敏樹，高橋 豊，糸井和美，他 4 名：1 年間で心拡大と間質影の増強を示したびまん性肺疾患の 1 例，びまん性肺疾患研究会（62.11）。

榎堀 徹，畠中陸郎，李 永浩，塩田哲広，塙 健，八木一之，小鯖 覚，松原義人，二宮和子，船津武志，池田貞雄：肺癌が疑われた気管支内異物の 1 例，第32回近畿気管支鏡懇話会（62.11）。

寺下一弥，宮本 嶺，光岡明夫，他 6 名：左肺下葉切除後，残存上葉が捻転壊死を生じた肺癌の 1 例，第142

回近畿外科学会 (62.12).

李 永浩, 塩田哲広, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 左肺全葉切除後に発症した心臓脱の1例, 同上学会 (62.12).

〔著 書〕

人見滋樹: 肺結核の外科療法, 36: (148~152), 内科 MooK, 1987.

清水慶彦: 人工気管 (172~177), 図説臨床看護医学: 人工臓器と臓器移植, 同朋舎 (1987. 8. 31).

神頭 徹, 他4名: Function of Interleukin 2 and Receptor; Humoral Regulation of IL-2 Receptor System, Gann. Monograph. 1987.

神頭 徹, 人見滋樹, 他1名: 生物活性を用いる測定法: IL-2, 新基礎生化学実験法, 丸善.

〔誌 上 発 表〕

1. 腫 瘍

寺田泰二, 呉 俊雄, 千原幸司, 松廷政一, 外村聖一, 清水慶彦: 肋骨骨折の整復により解除できた開胸術後無気肺の2症例, 日本胸部外科学会雑誌, 35(2): 232, 1987.

高橋 豊, カレッド・レシャード, 乾 健二, 竹内吉喜: 横隔膜神経鞘腫の一例, 日本胸部外科学会誌, 35(4): 80, 1987.

安田雄司, 小鯖 覚, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 胃転移を来した肺原発悪性線維性組織球腫の1例, 日本胸部外科学会雑誌, 35(4): 84-89, 1987.

田村康一, 青木 稔, 光岡明夫, 和田洋巳, 伊藤元彦, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: 右開胸による肺癌縦隔リンパ節郭清術, 日本胸部外科学会雑誌, 35(5): 722, 1987.

室 恒太郎, 呉 俊雄, 寺田泰二, 松廷政一, 外村聖一, 清水慶彦: 肺門リンパ節転移を伴った非定型気管支カルチノイドの1手術例, 日本胸部外科学会雑誌, 35(6): 145~149, 1987.

三宅正幸, 伊藤元彦, 住友伸一, 光岡明夫, 瀧 俊彦, 人見滋樹: 縦隔原発の malignant germ cell tumor の免疫組織化学的検討, 日本胸部外科学会雑誌, 35(6): 792, 1987.

住友伸一, 三宅正幸, 和田洋巳, 伊藤元彦, 人見滋樹, 渡部 智: 胸膜肺剔除術を行ったびまん型悪性胸膜中皮腫の1例, 日本胸部外科学会雑誌, 35(6): 908-912, 1987.

安田雄司, 榎堀 徹, 塙 健, 小鯖 覚, 二宮和子, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 原発性胸壁腫瘍の臨床的検討, 日本胸部外科学会雑誌, 35(9): 63-71, 1987.

辰巳明利, 北野司久, 山中 晃, 松井輝夫, 山下直己: 原発性肺平滑筋肉腫の1手術例と本邦報告例の検討, 日本胸部外科学会雑誌, 35(9): 1790-1795, 1987.

瀧 俊彦, 伊藤元彦, 人見滋樹, 清水慶彦, 高嶋義光, 千葉 渉: 気管に発生した Extramedullary Plasmacytoma の1例, 日本胸部外科学会雑誌, 35(12): 2166-2171, 1987.

辰巳明利, 北野司久, 藤尾 彰, 朝倉庄志, 松井輝夫: 肺癌を含む重複癌23例の臨床的検討, 肺癌, 27(2): 141-148, 1987.

安田雄司, 榎堀 徹, 塙 健, 小鯖 覚, 二宮和子, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 肺多発癌の臨床的検討, 肺癌, 27(3): 247-255, 1987.

倉田昌彦, 桑原正喜, 他10名: 病理組織所見よりみた肺野型小型腺癌 (腫瘍径 2.0 cm 以下) の術後健存率の検討, 肺癌, 27(6): 663-670, 1987.

岡田賢二, 他1名: 喀痰中に砂粒体を認めた肺乳頭状腺癌の1例, 肺癌, 27, 789, 1987.

奥村典仁, 寺町政美, 岡田賢二, 伊東政敏, 井上律子, 小林君美: 腫瘍内および局所リンパ節にサルコイド様反応を認めた肺癌の1症例, 日本胸部疾患学会雑誌, 25(3): 360~364, 1987.

寺町政美, 江崎 寛, 奥村典仁, 岡田賢二, 伊東政敏, 井上律子, 小林君美, 他2名: 後縦隔発生の Malignant Schwannoma の1例, 日本胸部疾患学会雑誌, 25(4): 461~465, 1987.

カレッド・レシャード, 高橋 豊, 平田敏樹, 糸井和美, 他 3 名: 原発性肺癌に対する腫瘍マーカーとしての Neuron Specific Enolase (NSE) の臨床的意義, 日本胸部疾患学会雑誌, 25(6): 625-631, 1987.

カレッド・レシャード, 糸井和美, 高橋 豊, 平田敏樹, 他 4 名: 名腫胸膜炎における胸水腫瘍マーカー (CEA, TPA, ADA, Ferritin, β_2 マイクログロブリン, Sialic acid) の臨床的意義, 日本胸部疾患学会誌, 25(11): 1174, 1987.

山中 晃, 榎堀 徹, 加藤弘文, 岡田慶夫: Alpha-fetoprotein 産生肺癌の 1 例, 日本胸部疾患学会雑誌, 25: 257-261, 1987.

池 修, 安田雄司, 宮本雄司, 宮本好博, 青木 稔, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄, 高橋清之: 肺原発の hemangiopericytoma の 1 例, 日本胸部臨床46(3): 230-233, 1987.

寺田泰二, 室恒太郎, 呉 俊雄, 松廷政一, 外村聖一, 千原幸司, 伊藤元彦, 清水慶彦: SIADH を呈し, 原発巣およびヌードマウス移植腫瘍により ADH 産生が確認された肺小細胞癌の 1 症例, 日本胸部臨床, 46(4): 328, 1987.

松井祐佐公, 渡部 智, 人見滋樹, 他 8 名: Malignant lymphoma of lymphomatoid granulomatosis type の 1 例, 日本胸部臨床, 46(8): 669-680, 1987.

池田貞雄, 松原義人: 肺癌における各種腫瘍マーカーの臨床的意義, 日本胸部臨床, 46(12日): 983-990, 1987.

北野司久, 他 6 名: ヌードマウスを用いた制癌剤感受性試験の効果判定基準に関する研究, 癌と化学療法, 14(3): 680-686, 1987.

伊藤元彦, カレッド・レシャード: 経口抗癌剤 Carmofur の胸水への移行性に関する検討, 癌と化学療法, 14(4): 1167-1168, 1987.

岡田賢二, 井上律子, 前里和夫, 伊東政敏, 小林君美: CT 上腫瘍内石灰化を認めた食道平滑筋腫の 1 例, 日本臨床外科医学会雑誌, 48(3): 369-372, 1987.

田村康一, 人見滋樹: 転移性肺腫瘍の手術方針, 外科診療, 29(11): 1496, 1987.

三宅正幸, 伊藤元彦, 光岡明夫, 和田洋巳, 青木 稔, 田村康一, 人見滋樹: 縦隔原発の malignant germ cell tumor の臨床的検討, 日本外科学会雑誌, 88(3): 340, 1987.

カレッド・レシャード, 人見滋樹: 癌性胸膜炎について——癌性胸水の処置を中心に——, 日本医事新報, 3307: 8, 1988.

松原義人, 横川智信, 池田貞雄: 《各臓器ごとの腫瘍マーカー》肺癌, 内科, 60(3): 703-708, 1987.

Masayuki Miyake, Motohiko Ito, Akio Mitsuoka Toshihiko Taki, Hiromi Wada, Shigeki Hitomi and et al.: Alpha-Fetoprotein and Human Chorionic Gonadotropin Producing Lung Cancer, Cancer 59: 227, 1987.

山中 晃, 山下直己, 松井輝夫, 辰巳明利, 北野司久: 限局型線維性胸膜中皮腫の 1 治験例, 胸部外科, 40(13): 1072-1075, 1987.

平田敏樹, カレッド・レシャード, 乾 健二, 糸井和美, 高橋 豊, 他 2 名: 食道嚢腫の 1 例, 京都大学結核胸部疾患研究所紀要, 20(1,2): 20-26, 1987.

池田貞雄, 榎堀 徹, 松原義人: 肺癌患者における血清 CA125 測定の意義, 映像情報, 19(16): 857-861, 1987.

池 修, 人見滋樹: 肺癌, 検査と技術, 15(8)874~879, 1987.

源河圭一郎, 前里和夫, 他10名: TXNOMO 肺癌の治療, 国療沖繩医誌, 8(1): 37-41, 1987.

前里和夫, 源河圭一郎, 他 6 名: 癌性髄膜炎を併発した肺小細胞癌の 1 例, 国療沖繩医誌, 8(1): 42-45, 1987.

カレッド・レシャード, 糸井和美, 高橋 豊, 平田敏樹, 他 3 名: 胸水における各種パラメーターの検索 (その 1; CEA, フェリチンおよびシアル酸について), 第 6 回腫瘍マーカー研究会記録誌.

2. 胸腺・免疫

北野司久, 藤尾 彰, 辰巳明利, 山中 晃, 松井輝夫, 他 2 名: 心タンポナーデを合併した悪性胸腺腫の 2 例, 胸部外科, 40(8): 669-674, 1987.

神頭 徹, 他1名: 胸腺ホルモンによるインターロイキン2レセプター発現調節, 医学のあゆみ, 141(4): 189, 1987.

神頭 徹, 人見滋樹, 他4名: ヒトリンパ球の活性化と KOLT-2 抗原, Medical Immunology, 14(1): 91, 1987.

神頭 徹, 他6名: IL-2 レセプターにおけるシグナル伝達—2種類の IL-2 レセプターの役割について, 実験医学, 5(9): 811, 1987.

神頭 徹, 他4名: インターロイキン2レセプターの発現調節, Biomedica, 2(2): 133, 1987.

3. 結 核

辰巳明利, 北野司久, 山中 晃, 松井輝夫, 山下直己, 他1名: 有癭性慢性膿胸に対する有茎性大網充填法, 胸部外科, 40(2): 86-87, 1987.

カレッド・レシャード, 糸井和美, 高橋 豊, 平田敏樹, 他4名: 最近経験した粟粒結核10例の検討, 呼吸6(1): 72-77, 1987.

4. 人工材料

千原幸司, 河原崎茂孝, 清水慶彦, 五十部潤, 寺田泰二, 松廷政一, 水野 浩, 人見滋樹, 屋ヶ田和彦, 野口康夫, 三上 隆: 陰圧式人工呼吸器の開発, 人工臓器, 16(1): 611-615, 1987.

渡部 智, 中村達雄, 五十部潤, 清水慶彦, 河原崎茂孝, 池 修, 千原幸司, 水野 浩, 田村康一, 他1名: 医用合成高分子材料の表面改質—シリコーンゴム製尿道カテーテル表面への抗菌活性及び活滑性の付与, 人工臓器, 16(3): 1337-1340, 1987.

中村達雄, 五十部潤, 池 修, 渡部 智, 清水慶彦, 他3名: “ハイドロキシアパタイト含有生体内吸収性ポリラクチド肋骨接合ピンの実験的検討, 人工臓器, 16(3): 1419-1422, 1987.

田村康一, 河原崎茂孝, 池 修, 水野 浩, 人見滋樹, 中村達雄, 五十部潤, 渡部 智, 清水慶彦: Polyurethane を素材とする人工血管の開発, 人工臓器16(3): 1500, 1987.

松原義人, 畠中陸郎, 小鯖 覚, 塙 健, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 人工気管による気道再建術, 日本外科学会雑誌, 88(4): 478-482, 1987.

五十部潤, 河原崎茂孝, 水野 浩, 寺田泰二, 中村達雄, 渡部 智, 松廷政一, 清水慶彦: ガス側 Oscillation による膜型人工肺のガス交換効率の検討, The Japanese Journal of Artificial Organs, 16(1): 658-661, 1987.

清水慶彦: ECMO, ECLA の現状と将来の展望, 呼吸管理研究会会誌, 7: 16-20, 1987.

清水慶彦: 気管形成・人工気管の現状, オペナーシング, 2(9): 5-13, 1987.

千原幸司, 河原崎茂孝, 人見滋樹, 清水慶彦: 携用人工呼吸器の開発, 病態生理, 6: 958-96, 1987.

清水慶彦: 体外循環装置「人工肺と熱交換器」, 日本体外循環技術研究会教育セミナーテキスト, 18-25, 1987.

池田貞雄, 松原義人, 小鯖 覚: 人工気管関する研究の現況, Annual Review 呼吸器, 155-165, 1987.

Tatsuo Nakamura, Shigeki Hitomi, Satoshi Watanabe, Yasuhiko Shimizu, and 3 others: “Surgical Application of Biodegradable Films prepared from Lactide-ε-Caprolactone Copolymers” Biomaterials and Clinical Applications p. 759-764, edited by A. Pizzoferrato, P. G. Machetti, A. Ravaglioli and A. J. C. Lee, Elsevier Science Publ. 1987.

5. 心・血管

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 吉谷 信, 大久保憲一, 秋山文弥: 急性期I型解離性大動脈瘤手術症例の検討, 日本心臓血管外科学会雑誌, 17(3): 298, 1987.

6. 移 植

人見滋樹, 和田洋巳, 青木 稔, 山崎文郎, 乾 健二, 神頭 徹, 李 民実: 肺移植の実際—温阻血保存と拒絶反応, 胸部外科, 40: 180, 1987.

和田洋巳, 山崎文郎, 横見瀬裕保, 李 民実, 神頭 徹, 乾 健二, 青木 稔, 人見滋樹: いぬ同種肺移植における気管支吻合部拒絶反応についての検討, 文部省班会議, 仲田班最終報告書, 1987.

山崎文郎, 横見瀬裕保, 李 民実, 神頭 徹, 乾 健二, 青木 稔, 和田洋巳, 人見滋樹: いぬ自家肺移植における温阻血時間 (WIT) の検討, 文部省班会議, 仲田班最終報告書, 1987.

7. 一般的胸部疾患

藤尾 彰, 北野司久, 辰巳明利, 松井輝夫: 気管瘻を伴う縦隔膿瘍の1治験例——重篤感染巣に対する有茎大網充填の有用性——, 日本胸部外科学会雑誌, 35(9): 124~127, 1987.

千原幸司, 人見滋樹: 胸壁再建, 臨床胸部外科, 7: 427-433, 1987.

人見滋樹: 胸腔鏡の有用性, 日本胸部臨床, 46(2): 89-94, 1987.

安田雄司, 塙 健, 榎堀 徹, 小鯖 覚, 住友伸一, 二宮和子, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: リポイド肺炎の1例, 日本胸部臨床, 46(6): 473-476, 1987.

朝田完二, 常松建夫, 土居裕幸, 中山 正, 中村隆澄, 宮本信昭, 沼本 敏, 森本和夫, 橋口義久, 鈴木了司: 肺糸状虫症の1例, 呼吸, 6(1): 105-109, 1987.

岡田賢二, 人見滋樹: 肺子宮内膜症, 呼吸, 6: 705, 1987.

二宮和子, 松原義人, 塙 健, 榎堀 徹, 住友伸一, 小鯖 覚, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 特発性間質性肺炎における血清 LDH 意義, 呼吸, 6(10): 1101-1106, 1987.

池田貞雄: 慢性呼吸器感染症を対象とする Carumonam の臨床評価—Cefoperazone を対照とする二重盲検比較試験—, 感染症雑誌, 61(3): 333-355, 1987.

田村康一, 人見滋樹: 漏斗胸の手術手技——腹直筋有茎性胸骨翻転術——, 外科治療57(6): 603, 1987.

池田貞雄, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志: 両側肺手術における問題点, 外科治療, 57(4): 357-364, 1987.

岡田賢二, 井上律子, 伊東政敏, 小林君美, 他2名: 選択的葉気管支内加圧による遷延性無気肺の治療経験. 日本臨床外科医学会雑誌, 48(5): 651~654, 1987.

人見滋樹: 各種吻合術のコツ——気管吻合手術, 41(11): 1813~1820, 1987.

寺田泰二, 松廷政一, 室恒太郎, 呉 俊雄, 千原幸司, 外村聖一, 清水慶彦: 重症マイコプラズマ肺炎に対するハイドロコーチゾン併用療法の意義, 日本胸部疾患学会雑誌, 25(2): 203, 1987.

池田貞雄: 気管気管支軟化症について (Tracheobronchomalacia), 日本胸部疾患学会雑誌, 25(5): 491-493, 1987.

安田雄司, 塙 健, 小鯖 覚, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 慣性壊死性肺アスペルギルス症の1例, 日本胸部疾患学会雑誌, 25(12): 1386-1390, 1987.

千原幸司, 人見滋樹: 高齢者における異常陰影とその鑑別診断, 横隔膜異常影, 老年医学, 25: 1507-1518, 1987.

カレッド・レシャード, 高橋 豊, 乾 健二, 糸井和美, 他4名: ノルフロキサミンの呼吸器感染症に対する臨床的研究, 診療と新薬, 24(3): 153-158, 1987.

人見滋樹, 腕頭動脈蛇行症, 日経メディカル, 10: 193~194, 1987.

松廷政一: 胸部X線読影について (IV), 大津市医師会雑誌, 10(4): 27-31, 1987.

松廷政一: 胸部X線読影について (VI), 大津市医師会雑誌, 10(11): 9~10, 1987.

松廷政一: 胸部X線読影について (III), 大津市医師会雑誌, 10(1): 41~43, 1987.

松廷政一: 胸部X線読影について (V), 大津市医師会雑誌, 10(7): 20~24, 1987.

人見滋樹, 他9名: CT によるびまん性肺病変の解析, 気管支学, 9(2): 122-128, 1987.

カレッド・レシャード, 乾 健二, 高橋 豊, 糸井和美, 平田敏樹: 気管支動脈結紮切除術の経験, 日本呼吸器外科学会誌, 1(2): 93, 1987.

畠中陸郎: 気管・気管支軟化症の診断と治療・気管支喘息と“誤診”され, いつまでも治らない例もある, 毎日ライフ, 7: 79-83, 1987.

桑原正喜: くりかえす肺炎—『カニ』の肉による気管支内異物症—, 月刊ドクターズレビュー, 3(1): 64-66,

1987.

渡部 智, 清水慶彦, 住友伸一, 光岡明夫, 田村康一, 和田洋巳, 伊藤元彦, 人見滋樹, 高嶋義光, 松延政一, 加藤弘文: アルミナセラミック肋骨接合ピンの臨床的検討, *Orthopaedic Ceramic Implants*, 5: 19-24, 1985.

〔胸部外科学部門主催講演会〕

62. 5. 30

未舛恵一, (国立がんセンター副院長): がんの狩人

62. 6. 1

馬 富錦, (中国医科大学胸部外科助教授): 自家肋骨を用いた気管・気管支補填術 (in English)

62. 6. 29

津川 力, (兵庫県立子供病院外科部長): 小児の気管・気管支形成術

62. 9. 28

尾本良三, (埼玉医大外科第1講座教授): ドプラ断層心エコーと心弁膜症の外科

62. 10. 12

中村博行, (大阪成人病センター内科部長): 骨髄移植の実際

62. 10. 13

Patterson A., (Assistant Professor, Thoracic Surgery University of Toronto Canada): Lung Transplantation

62. 11. 9

Galletti P., (Vice-President Brown University): Discussion about thoracic surgery and polymers

62. 11. 9

Wa Huai Shen, (Shanghai Chest Hospital): Surgical treatment of small cell lung cancer

62. 12. 10

Soffer A., (Editor in Chief Chest): Discussion about the new curiass respirator synchronizing with spontaneous respiration

62. 12. 18

仁井谷久暢, (日本医大臨床病理学教授): 最近の肺癌の化学療法とその問題点

病 理 学 部 門

〔学 会 発 表〕

吉岡秀幸, 吉田治義, 土井俊夫, 濱島義博, 武曾恵理, 三宅健夫, 樋口京一, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XXVI, 腎病変の免疫組織学的検討, 第76回日本病理学会, (昭62. 3).

梅沢真樹子, 花田敬吾, 細川昌則, 黒住真史, 細野正道, 細川友秀, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XXVII, 食餌制限による促進老化抑制機序, 第76回日本病理学会, (昭62. 3).

花田敬吾, 梅沢真樹子, 小岸久美子, 光岡明夫, 細野正道, 細川友秀, 馬場満男, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XXVIII, SAM の免疫応答能について, 第76回日本病理学会, (昭62. 3).

川又敏男, 秋山治彦, 田中静吾, 杉山 博, 秋口一郎, 八木秀雄, 樋口京一, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XXIX, 加齢によるコリン作動性上行性網様系の変化と脳幹部グリオーシスについて, 第76回日本病理学会, (昭62. 3).

陳 文熙, 小野尊睦, 細川昌則, 松下隆寿, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XXX, SAM に自然発症する変形性顎関節症について, 第76回日本病理学会, (昭62. 3).

細川昌則, 坪山直生, 米津智徳, 陳 文熙, 入野美香, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実

験的研究 XXXI, SAM に発症する老年性白内障について(2), 第76回日本病理学会, (昭62.3).

内木宏延, 米津智徳, 樋口京一, 宇谷厚志, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XXXII, SAM における HDL 代謝—特に apo A-II クリアランスと老化アミロイド蛋白質沈着との関連について, 第76回日本病理学会, (昭62.3).

川又敏男, 中村慎一, 秋山治彦, 秋口一郎, 亀山正邦, 竹田俊男, 三好巧峰: 脳内 NADPH-diaphorase 陽性神経細胞の加齢変化について—Image Analysing Computer による分析—, 第28回日本神経学会, (昭62.5).

川又敏男, 中村慎一, 秋山治彦, 秋口一郎, 亀山正邦, 竹田俊男: 加齢により部位特異的变化を示す脳内 NADPH-diaphorase 陽性神経細胞の定量的検討, 第28回日本神経病理学会, (昭62.6).

吉岡秀幸, 租田雅美, 三宅健夫, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) における Peyer 板の加齢による免疫組織化学的变化, 第1回加齢と消化器研究会, (昭62.6).

竹田俊男: 老化病態自然発症モデル動物としての Senescence Accelerated Mouse (SAM)—開発とその意義—, 特別講演・第1回加齢と消化器研究会, (昭62.6).

陳 文熙, 小野尊睦, 細川昌則, 竹田俊男: 自然発症変形性顎関節症モデルマウスの開発—老化促進モデルマウス (SAM) を用いた実験的研究—, 第8回顎関節研究会, (昭62.7).

吉岡秀幸, 三宅健夫, 大塩学而, 濱島義博, 樋口京一, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) におけるパリエル板の免疫組織化学的検討, 第18回消化器と免疫研究会, (昭62.8).

宇谷厚志, 田中俊宏, 錦織千佳子, 宮地良樹, 今村貞夫, 細川昌則, 竹田俊男: Reduced secretion of type III procollagen in a patient with Ehlers-Danlos syndrome, 第12回日本研究皮膚科学会, (昭62.8).

坪山直生, 笠井隆一, 奥村秀雄, 山室隆夫, 松下 睦, 花田敬吾, 細川昌則, 竹田俊男, 細野正道: 自然発症骨粗鬆症マウス (SAM-P/6) の骨量に対する骨髓キメラ作成の影響, 第2回日本整形外科学会基礎学術集会, (昭62.9).

竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の遺伝環境—とくに老化諸病態との関連において—, シンポジウム<遺伝環境と寿命・老化>日本基礎老化学会第11回大会, (昭62.10).

内木宏延, 樋口京一, 米津智徳, 宇谷厚志, 細川昌則, 竹田俊男: SAM における HDL 代謝 II—マウス老化アミロイド前駆タンパク質 apoA-II クリアランスの加齢に伴う特異的亢進及び apoA-II 臓器分布の加齢変化について—, 日本基礎老化学会第11回大会, (昭62.10).

細川昌則, 芦田 靖, 坪山直生, 陳 文熙, 入野美香, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に自然発症する老年性白内障に於いて (II)—新たに SAM-R/3 マウスより分離された白内障マウスの諸特性—, 日本基礎老化学会第11回大会, (昭62.10).

陳 文熙, 小野尊睦, 細川昌則, 松下隆寿, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) 顎関節の加齢変化—とくに自然発症変形性顎関節症モデル (SAM-P/3) の開発—, 日本基礎老化学会第11回大会, (昭62.10).

坪山直生, 松下 睦, 奥村秀雄, 山室隆夫, 花田敬吾, 竹田俊男: SAM-P/6 にみる骨粗鬆症の遺伝的解析 (I)—高骨量系 (SAM-P/2) との F1 ハイブリッド (SAM-P/2×SAM-P/6F1) の骨量加齢変化について—, 日本基礎老化学会第11回大会, (昭62.10).

入野美香, 徳永力雄, 八木秀雄, 秋口一郎, 細川昌則, 竹田俊男: 学習・記憶障害モデル SAM-P/8 系脳幹部の海綿状変性について—とくに超微形態学的観察による病変成立過程の解析—, 日本基礎老化学会第11回大会, (昭62.10).

八木秀雄, 秋口一郎, 加藤星河, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス SAM-P/8 の加齢に伴う記憶障害—特に受動的回避反応における獲得障害について—, 日本基礎老化学会第11回大会, (昭62.10).

花田敬吾, 細川友秀, 細野正道, 小岸久美子, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス SAM-P/1 における *in vitro* 一次抗ヒツジ赤血球低応答性の遺伝的解析, 日本基礎老化学会第11回大会, (昭62.10).

梅沢真樹子, 花田敬吾, 黒住眞史, 細川昌則, 細野正道, 細川友秀, 竹田俊男: 免疫能よりみた食餌制限による老化制御メカニズムの解析, 日本基礎老化学会第11回大会, (昭62.10).

田中静吾, 八木秀雄, 川又敏男, 秋口一郎, 中村重信, 細川昌則, 竹田俊男, 亀山正邦: 学習・記憶障害と脳内モノアミン系の関連—学習障害を示す老化促進モデルマウス (SAM) の脳内モノアミン分布—, 第29回日本老

年医学会総会, (昭62. 10).

吉岡秀幸, 吉田治義, 稲田雅美, 宮田 学, 三宅健夫, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する腎病変の免疫組織学的検討, 第29回日本老年医学会総会, (昭62. 10).

Naiki, H., Higuchi, K., Yonezu, T., Hosokawa, M. and Takeda, T.: Age-related specific acceleration of serum clearance rate of senile amyloid related high density lipoprotein apoprotein A-II in Senescence Accelerated Mouse, Vth International Symposium on Amyloidosis, 1987 (Hakone, Japan Oct. 26-28).

Takeda, T., Higuchi, K., Hosokawa, M.: AS_{SAM} amyloidosis is present in aging mice of many strains, not only in SAM, Vth International Symposium on Amyloidosis, 1987 (Hakone, Japan Oct. 26-28).

Shimizu, K., Higuchi, K., Matsushita, M., Yamamuro, T. and Takeda, T.: Immunohistochemical studies of age-associated amyloid deposition in the joint of senescence-accelerated mouse (SAM), Vth International Symposium on Amyloidosis, 1987 (Hakone, Japan Oct. 26-28).

Yonezu, T., Higuchi, K., Tsunasawa, S., Sakiyama, F., Kunisada, T., Yamagishi, H., Naiki, H. and Takeda, T.: Biochemical and genetic characterization of murine senile amyloidosis, Vth International Symposium on Amyloidosis, 1987 (Hakone, Japan Oct. 26-28).

Matsushita, M., Tsuboyama, T., Okumura, H., Takeda, T. and Yamamuro, T.: The relationship between bone loss with age and PTH level in the Senescence Accelerated Mouse (SAM), 1st International Conference, on New Action of Parathyroid Hormone, 1987 (Kobe, Japan Oct. 26-31).

坪山直生, 奥村秀雄, 山室隆夫, 松下 睦, 花田敬吾, 竹田俊男: 新生仔骨髄キメラ作成によるマウス系統固有骨量の修飾, 自然発症骨粗鬆症系 (SAM-P/6) を用いて, 第7回骨粗鬆症研究会, (昭62. 11).

〔誌 上 発 表〕

Higuchi, K., Monge, J. C., Lee, N., Brewer, H. B. Jr., Sakaguchi, A. Y., and Naylor, S. L.: The human apo B-100 gene: ApoB-100 is encoded by a single copy gene in the human genome, *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 144: 1332-1339, (1987).

Hospattankar, A. V., Higuchi, K., Law, S. W., Maglin, N., and Brewer, H. B. Jr.: Identification of a novel translational stop codon in human intestine apoB mRNA, *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 148: 279-285, (1987).

Law, S. W., Grant, S. M., Higuchi, K., Hospattankar, A. V., Lackner, K., Lee, N., and Brewer, H. B. Jr.: Human liver apolipoprotein B-100 cDNA: Complete nucleic acid and derived amino acid sequence, *Proc. Natl. Acad. Sci. U.S.A.* 83: 8142-8146, (1986).

Law, S. W., Monge, J. C., Lackner, K. L., Grant, S. M., Higuchi, K., Hospattankar, A. V., Hoeg, J. M., Gregg, R., Lee, N., Sakaguchi, A. Y., Naylor, S. L. and Brewer, H. B. Jr.: Human apolipoprotein B: Cloning and analysis of liver and intestinal mRNA and their expression in patients with abetalipoproteinemia, in "Cardiovascular Disease" ed. L. L. Gallo, Plenum Publishing Corp. pp. 21-32, (1987).

Yonezu, T., Tsunasawa, S., Higuchi, K., Kogishi, K., Naiki, H., Hanada, K., Sakiyama, F. and Takeda, T.: A molecular-pathologic approach to murine senile amyloidosis. Serum precursor-apo A-II variant (pro⁵-glu) presents only in amyloidosis prone SAM-P/1 and -P/2 mice, *Lab. Invest.* 57: 65-70, (1987).

Hosokawa, T., Hosono, M., Higuchi, K., Aoike, A., Kawai, K. and Takeda, T.: Immune responses in newly developed short-lived SAM mice I. Age-associated early decline in immune activities of cultured spleen cells, *Immunology* 62: 419-423, (1987).

Hosokawa, T., Hosono, M., Hanada, K., Aoike, A., Kawai, K. and Takeda, T.: Immune responses in newly developed short-lived SAM mice II. Selectively impaired T helper cell activity in in vitro antibody response, *Immunology* 62: 425-429, (1987).

杉山 博, 秋山治彦, 秋口一郎, 亀山正邦, 竹田俊男: 学習障害を示す老化促進モデルマウス (SAM) の海馬 CA1 錐体細胞における dendritic spines の減少—Golgi 法による定量的検討, *臨床神経学* 27: 841-845 (1987).

- 竹田俊男：老化モデル動物(2)マウス (SAM) 生物科学シリーズ老化6, 臨床科学, 23 : 345~352 (1987).
 米津智徳, 竹田俊男：マウス老化アミロイド症, 特集—アミロイド, Dementia 1 : 119~125 (1987).
 樋口京一, 竹田俊男：老化とアミロイドーシス, 内科 MooK35 アミロイドーシス : 251~259 (1987). 編集, 荒木淑郎, 金原出版.
 竹田俊男, 樋口京一：老化とアミロイド. アミロイドーシス—皮膚と全身— : 21~30 (1987) 編集, 大橋 勝, 名古屋大学出版会.

2. 臨床病理

〔誌 上 発 表〕

- 寺町政美, 江崎 寛, 奥村典仁, 岡田賢二, 伊東政敏, 井上律子, 小林君美, 内木宏延, 竹田俊男：後縦隔発生 Malignant Schwannoma の1例, 日本胸部疾患学会雑誌, 25 : 461~465 (1987).
 Ogawa, K., Kim, Y.-C., Nakashima, Y., Yamabe, H., Takeda, T. and Hamashima, Y. : Expression of epithelial markers in sarcomatoid carcinoma : an immunohistochemical study, Histopathology 11: 511-522 (1987).

3. 病理学部門主催特別セミナーおよび講演会

Seminar
to
Welcome Professor Earl P. Benditt
on
Senescence Accelerated Mouse (SAM)

2:00 P.M., Oct. 20, 1987

The Conference Room of Chest Disease Research
Institute, Kyoto University, Kyoto, Japan

- Toshio Takeda, M. D. : Opening Remarks.
 Masanori Hosokawa, M. D., Mafumi Kurozumi M. T., Yasushi Ashida, M. VM. : Introduction to Senescence Accelerated Mouse (SAM).
 Sazuku Nishitani, M. S. : Chromosome Aberrations in SAM.
 Masamichi Hosono, Ph. D., Keigo Hanada, M. VM., Makiko Umezawa, M. Ds., Tomohide Hosokawa, Ph. D. : Immunological Functions in SAM and Aging.
 Shuji Takeshita, Ph. D. : Morphological Studies of Senile Amyloidosis in SAM.
 Katsuji Shimizu, M. D. : Aging and Articular Amyloid Deposition in SAM.
 Tomonori Yonezu, B. Agr., Keiichi Higuchi, Ph. D. : Biological and Molecular Genetic Studies of Senile Amyloidosis in SAM.
 Hironobu Naiki, M. D., Atushi Utani, M. D. : Metabolism of Senile Amyloid Precursor and Amyloidogenesis.
 Tadao Tsuboyama, M. D., Chen Wen-Hsi, D. DM. : Senile Osteoporosis and Degenerative Arthritis in SAM.
 Hideo Yagi, M. D., Seika Katoh, M. D., Mika Irino, Ph. D., Akira Ohta, R. F. : Age Related Loss of Learning Ability and Memory.
 Toshio Kawamata, M. D., Seigo Tanaka, M. D., Ichiro Akiguchi, M. D. : Morphological Changes of the Central Nervous System in SAM.
 Earl P. Benditt, M. D. : Special Comments.

Special Lecture

Dr. Earl P. Benditt
Professor and Chairman,
Department of Pathology
University of Washington,
Seattle, U.S.A.

Title: Amyloidosis SAA Gene Family Expression in the Mouse

Seminar

to
Welcome Professor Tsuranobu Shirahama
on
Senescence Accelerated Mouse (SAM)

1:00 P.M., Oct. 29, 1987

The Conference Room of Chest Disease Research
Institute, Kyoto University, Kyoto, Japan

Toshio Takeda, M. D. : Opening Remarks

Masanori Hosokawa, M. D., Mafumi Kurozumi, M. T., Yasushi Ashida, M. VM., Atsushi Utani, M. D.
Sazuku Nishitani, M. S., Toshio Takeda, M. D. : Introduction to Senescence Accelerated Mouse (SAM).

Shuji Takeshita, Ph. D., Katsuji Shimizu, M. D., Hironobu Naiki, M. D., Tomonori Yonezu, B. Agr. :
Ultrastructural Studies of Senile Amyloidosis Precursor Protein CSAS_{SAM}.

Tadao Tsuboyama, M. D., Chen Wen-Hsi, D. DM. : Senile Osteoporosis and Degenerative Arthritis in SAM.
Keigo Hanada, M. VM., Masamichi Hosonono, Ph. D. : Immunological Functions in SAM and Aging.

Makiko Umezawa, M. Ds. : Nutritional Effect on Aging.

Hideo Yagi, M. D., Seika Katoh, M. D., Akira Ohta, R. F. : Age Related Loss of Learning Ability and
Memory.

Seigo Tanaka, M. D., Toshio Kawamata, M. D. : Morphological and Biochemical Changes of the Central
Nervous System in SAM.

Mika Irino, Ph. D. : Ultrastructural Studies of Spongiform Degeneration in Brain Stem of SAM.

Tsuranobu Shirahama, M. D. : Special Comments

Special Lecture

Dr. Tsuranobu Shirahama
Professor, Dept. of Medicine,
Boston Univ. School of Medicine,
Thorndike Memorial Lab.,
Boston, U.S.A.

演題：形態学からみたアミロイド発生論

胸部研特別セミナー

第134回 昭和62年10月22日 ヒト多剤耐性遺伝子 (mdr1) : 京都大学・農学部 植田和光

第135回 昭和62年10月28日 From genes to structural morphogenesis : California Institute of Technology
Elias Lazarides

第136回 昭和62年11月6日 SV40 による多段階発癌 : 神奈川県立がんセンター 安本 茂

第137回 昭和63年1月25日 カルシウムイオンによる細胞骨格制御 : 大阪大学・医学部 祖父江憲治

- 第138回 昭和63年 3 月 2 日 熱ショック応答と細胞骨格：東京都臨床医学総合研究所 矢原一郎
 第139回 昭和63年 3 月 5 日 ウィルス学領域におけるトランスジェニックマウスの利用：東京大学・医科学研究所 岩倉洋一郎
 第140回 昭和63年 3 月15日 放射線誘発胸腺腫発生の細胞性機構：放射線医学総合研究所 佐渡敏彦
 第141回 昭和63年 3 月18日 *in vitro* における血液幹細胞の分化：自治医科大学 須田年生
 第142回 昭和63年 3 月23日 ゾウリ虫の老化と寿命：奈良女子大学・理学部 高木由臣
 第143回 昭和63年 3 月30日 蛋白質一次構造決定の現状：大阪大学・蛋白質研究所 綱沢 進
 第144回 昭和63年 3 月31日 老化に伴う DNA の変化：京都大学・放射線生物研究センター 小野哲也

免疫学部門

〔学会発表〕

- 桂 義元：T細胞の初期分化．文部省科学研究費総合研究B公開シンポジウム，1987，3，東京．
 細野正道：SAM 免疫能の *in vitro* 解析．第1回 SAM 京都シンポジウム，1987，3，京都．
 細野正道，矢野勝喜，桂 義元，高橋清人：抗原特異的免疫不応答の一機構としての自然免疫寛容成立．第58回日本動物学会，1987，10，富山．
 Okada, Y., Hirayoshi, K., Nishikawa, S. and Katsura, Y. : DNA-mediated gene transfer into myeloma cells by electroporation using a novel type of rectangular-pulse generator. J. Physiol. Soc. Japan, 1987, 4.
 細野正道，藤原道夫，桂 義元，細川友秀：同一 MHC 個体間での混合リンパ球反応に携わる細胞の加齢変化．第11回日本基礎老化学会，1987，10，大阪．
 杉田昌彦，熊谷俊一，波内俊三，鏑田武志，梅原久範，石田 博，東 二郎，岩井一宏，井村裕夫：全身性エリテマトーデス (SLE) 患者末梢リンパ球より樹立した，HTLV-1 感染T細胞株の解析．第37回日本アレルギー学会総会，1987，10，東京．
 鏑田武志，桂 義元，熊谷俊一，井村裕夫：Scatchard 解析による抗 DNA 抗体のアフィニティーの測定とそのレパートア研究への応用．同上学会，1987，10，東京．
 細野正道，黒住真史，桂 義元：MHC クラス II 抗原反応性胸腺細胞の寛容誘導：新生仔寛容誘導細胞の胸腺内分布について．第17回日本免疫学会総会，1987，11，金沢．
 藤本真慈，戸田雅昭，桂 義元，山岸秀夫：4 週齢のマウス胸腺細胞に存在する小環状 DNA と T細胞レセプター α 鎖遺伝子再配列の関連．同上学会．
 鏑田武志，西川伸一，平芳一法，行徳淳一郎，桂 義元：長期骨髄培養より得たストローマ細胞依存性 B系細胞株の解析．同上学会．
 行徳淳一郎，魚住公治，富田由美子，高沖悠子，桂 義元：T系列幹細胞と赤白血球系列幹細胞の分離．同上学会．
 魚住公治，行徳淳一郎，菅名 充，喜納辰夫，桂 義元：T細胞系幹細胞に対する 5-fluorouracil (5-FU) の影響．同上学会．
 渡部良広，宇津山正典，行徳淳一郎，高沖悠子，広川勝昱，桂 義元：pro T細胞の分化能の解析．同上学会．
 広川勝昱，宇津山正典，桂 義元，佐渡敏彦：胸腺内 T細胞の増殖分化とその末梢移住の加齢に伴う変化：胸腺内骨髄細胞直接注入法による研究．同上学会．
 生田宏一，小川峰太郎，桂 義元，西川伸一：Bリンパ球を含む様々な血液系細胞の増殖を支持するストローマ細胞株の樹立．血液細胞の分化決定機構解析のための実験系の確立．同上学会．
 西川伸一，小川峰太郎，行徳淳一郎，菊谷 仁，岸本忠三，桂 義元：ストローマ細胞依存性 B系細胞の増殖を抑制するモノクローナル抗体．同上学会．
 小川峰太郎，生田宏一，桂 義元，西川伸一：B細胞白血病化のクローンレベルでの解析．同上学会．
 平芳一法，岡田泰伸，西川伸一，桂 義元：高電圧パルスによるマウスミエローマ細胞への遺伝子移入．同上

学会.

木梨達雄, 稲葉カヨ, 鏑田武志, 田代 啓, Ronald Palacios, 本庶 佑: In vitro における IL-3 依存型 pro-B 細胞株の B 細胞への分化. 同上学会.

〔誌 上 発 表〕

桂 義元: 胸腺内細胞移入による T 細胞分化の解析. *Medical Immunology*, 14(2), 219-223, 1987.

Amagai, T., Kina, T., Hirokawa, K., Nishikawa, S., Imanishi, J., and Katsura, Y.: Dysfunction of irradiated thymus for the development of helper T cells. *J. Immunol.*, 139, 358-364, 1987.

Hosono, M., Hosokawa, T., Kina, T. and Katsura, Y.: Neonatal tolerance induction in the thymus to MHC-class II-associated antigens. III. Significance of hemopoietic stem cell for induction and maintenance of Mls tolerance by continuous supply of tolerance-inducing nonlymphocytes. *Cell. Immunol.*, 108, 162-174, 1987.

細野正道: 免疫寛容の機序. *臨床免疫*, 19, 61-67, 1987.

Kina, T., Nishikawa, S., Amagai, T. and Katsura, Y.: Concanavalin A-mediated polyclonal helper assay of normal thymocytes and its use for the analysis of ontogeny. *Thymus*, 9, 159-172, 1987.

Fujimoto, S. and Yamagishi, H.: Isolation of an excision product of T-cell receptor α -chain gene rearrangements. *Nature*, 327, 242-243, 1987.

Hosokawa, T., Hosono, M., Higuchi, K., Aoike, A., Kawai, K. and Takeda, T.: Immune responses in newly developed short-lived SAM mice. I. Age-associated early decline in immune activities of cultured spleen cells. *Immunology*, 62, 419-423, 1987.

Hosokawa, T., Hosono, M., Hanada, K., Aoike, A., Kawai, K. and Takeda, T.: Immune responses in newly developed short-lived SAM mice. II. Selectively impaired T helper cell activity in in vitro antibody response. *Immunology*, 62, 425-429, 1987.

Hirayoshi, K., Nishikawa, S., Kina, T., Hatanaka, M., Habu, S., Nomura, T. and Katsura, Y.: Immunoglobulin heavy chain gene diversification in the long-term bone marrow culture of normal mice and mice with severe combined immunodeficiency. *Eur. J. Immunol.*, 17, 1051-1057, 1987.

熊谷俊一, 鏑田武志: AIDS に関する話題. *臨床免疫*, 19(2), 139-145, 1987.

西川伸一, 鏑田武志: B細胞の増殖とその異常. *代謝*, 24, 臨時増刊「免疫 '87」, 153-159, 1987.

〔著 書〕

Tsubata, T., Kumagai, S., Imura, H., Nishikawa, S., and Katsura, Y.: Study of anti-DNA repertoire of normal and lupus mice. *New Horizons in Animal Models for Autoimmune Disease*, eds. by Kyogoku, M. and Wigzell, H. Academic Press Japan, p. 177-182, 1987.

細胞化学部門

〔誌 上 発 表〕

Saga, S., Nagata, K., Chen, W.-T., and Yamada, K. M.: pH-dependent function, purification, and intracellular location of a major collagen-binding glycoprotein. *J. Cell Biol.* 105: 517-527 (1987).

Hirayoshi, K., Nishikawa, S., Kina, T., Hatanaka, M., Habu, S., Nomura, T., and Katsura, Y.: Immunoglobulin heavy chain gene diversification in the long term bone marrow culture of normal mouse and mouse with severe combined immunodeficiency. *Eur. J. Immunol.* 17: 1051-1057 (1987).

Mori, K., Sabe, H., Shiomi, H., Iino, T., Tanaka, A., Takeuchi, K., Hirayoshi, K., and Hatanaka, M.:

Expression of a provirus of human T cell leukaemia virus type I by DNA transfection. *J. Gen. Virol.* 68: 499-506 (1987).

Hatanaka, M., Sabe, H., Tanaka, A., Mori, K., Shiomi, H., Nam, S., Adachi, Y., Itamura, S., and Hirayoshi, K. : Genomic expression of human T-lymphotropic virus (HTLV-1). *AIDS Res.* 2: s579-s585 (1986).

Shida, H., Tochikura, T., Sato, T., Konno, T., Hirayoshi, K., Seki, M., Ito, Y., Hatanaka, M., Hinuma, Y., Sugimoto, M., Takahashi-Nishimaki, F., Maruyama, T., Miki, K., Suzuki, K., Morita, M., Sashiyama, H. and Hayami, M. : Effect of the recombinant vaccinia virus that express HTLV-1. *EMBO J.* 6: 3379-3384 (1987).

Tsuboi, K., Hirayoshi, K., Takeuchi, K., Sabe, H., Shimada, Y., Ohshio, G., Tobe, T., and Hatanaka, M. : Expression of the c-myc gene in human gastrointestinal malignancies. *Biochem. Biophys. Res. Comm.* 146: 699-704 (1987).

永田和宏：トランスホーメーション感受性をもつ新しい熱ショック蛋白質。蛋白質・核酸・酵素，32：1012-1018 (1987)。

永田和宏，平芳一法：熱ショック蛋白質の発現と機能。日本ハイパーサーミア誌，3：135-154 (1987)。

永田和宏，平芳一法：細胞骨格と細胞運動—アクチンとアクチン結合蛋白質。呼吸，6：1324-1331 (1987)。

Maeda, M., Arima, N., Daitoku, Y., Kashihara, M., Okamoto, H., Uchiyama, T., Shirono, K., Matsuoka, M., Hattori, T., Takatsuki, K., Ikuta, K., Shimizu, A., Honjo, T. and Yodoi, J. : Evidence for the interleukin-2 dependent expansion of leukemic cells in adult T cell leukemia, *Blood* 70: 1407-1411, 1987.

Ikai, K., Uchiyama, T., Maeda, M. and Takigawa, M. : Sézary-like syndrome in a 10-year-old girl with serologic evidence of HTLV-I infection. *Arch. Dermatol.* 123:1351-1355, 1987.

Yodoi, J., Tagaya, Y., Okada, M., Taniguchi, Y., Hirata, M., Naramura, M. and Maeda, M. : Interleukin-2 receptor-inducing factor(s) in adult T cell leukemia. *Acta Hematol.* 78(suppl. 1): 56-63, 1987.

前田道之：T細胞レセプター遺伝子の再編成。臨床免疫，19 (suppl. 2.): 66-74, 1987.

前田道之：T細胞レセプター遺伝子を用いた ATL 成立過程の解析。日本皮膚科学会誌，97：1373-1375, 1987.

佐野 統，加藤治樹，杉野 成，近藤元治，熊谷俊一，前田道之：全身性エリテマトーデス患者にみられる ATLA 抗体の偽陽性に関する研究。アレルギー，36：213-221, 1987.

〔学 会 発 表〕

永田和宏：トランスフォーメーション感受性の新しい熱ショック蛋白質 (HSP47) 第46回日本癌学会，総会ワークショップ「温熱療法の適用と限界」昭和62年9月，東京。

平芳一法，小原政信，佐賀信介，K. M. Yamada，永田和宏：Transformation-sensitive heat-shock protein (HSP47) の転写レベルでの調節。同上学会。

佐賀信介，永田和宏，K. M. Yamada：Transformation-sensitive heat-shock protein (HSP47) の精製と細胞内局在，同上学会。

永田和宏：トランスフォーメーション感受性熱ショック蛋白質の転写レベルでの発現調節。第4回日本ハイパーサーミア学会，昭和62年10月，米子。

永田和宏，平芳一法，佐賀信介，小原政信，K. M. Yamada：新しい熱ショック蛋白質 (hsp47) の発現調節，第40回日本細胞生物学会，昭和62年11月，大阪。

佐賀信介，永田和宏，W. -T. Chen，K. M. Yamada：熱ショック蛋白質 (Hsp47) と Type I-procollagen の細胞内局在とその相関，同上学会。

平芳一法，永田和宏：テトラカルチノーマ細胞 F9 の分化と熱ショック蛋白質 hsp47 の誘導，同上学会。

岡田泰伸，山本 隆，小作隆子，永田和宏：蛋白質分解酵素標品中の細胞間接着促進因子，同上学会。

岡田泰伸，平芳一法，西川伸一，桂 義元：高出力電圧低出力抵抗，矩形波パルス発生装置の開発による電氣的遺伝子導入。第64回日本生理学会，昭和62年4月，千葉。

平芳一法, 岡田泰伸, 西川伸一, 桂 義元: 高電圧パルスによるマウスミエローマ細胞への遺伝子導入. 第17回日本免疫学会, 昭和62年11月, 金沢.

永田和宏: コラーゲンに結合する新しい熱ショック蛋白質. 公開シンポジウム「フィブロネクチンと細胞外マトリックス」昭和62年12月, 東京.

永田和宏: Heat shock protein and transformation. 第201回ウイルス研究所セミナー. 昭和62年1月, 京都.

大川欣一, 鈴木康弘: ナゼ反応に関する研究 (第九報), ラット骨髄細胞における M-ナゼ反応, 第76回日本病理学会.

前田道之: T細胞レセプター遺伝子を用いた ATL 成立過程の解析. 第86回日本皮膚科学会総会シンポジウム“悪性リンパ腫”, 1987年4月, 横浜.

前田道之, 柏原万里, 岡本祐之, 内山 卓, 生田宏一, 清水 章, 本庶 佑, 多賀谷温, 淀井淳司: Transition from IL-2 responsive to IL-2 unresponsive phase of the leukemic cells of a chronic ATL, 第46回日本癌学会総会, 1987年9月, 東京.

杉江勝治, 多賀谷温, 近藤信雄, 羽室淳爾, 前田道之, 内山 卓, 井村裕夫, 淀井淳司: 抗 ADF 抗体を用いた ATL の autocrine 機構の検討, (同上).

多賀谷温, 杉江勝治, 三井 彰, 近藤信雄, 羽室淳爾, 前田道之, 淀井淳司: ATL-derived factor: Determination of N-terminal amino acid sequence, 第17回日本免疫学総会1987年11月, 金沢.

Bourinbaiar, A. S., Kamiya, T., Maeda, M. and Minowada, J.: Epithelial membrane antigen (EMA) is expressed on HTLV-I infected T-cells, but not on HIV infected T-cell line (同上).

梅原久範, 熊谷俊一, 波内俊三, 石田 博, 杉之下俊彦, 前田道之, 井村裕夫: 全身性進行性硬化症 (PSS) における CD4 陽性細胞の異常活性化 (同上).

西村公孝, 前田道之, 足立昭夫, 秋口一郎, 石本秋稔: HAM 患者髄液由来 T細胞株より HTLV-I プロウイルスのクローニング. 第10回日本分子生物学会年会, 1987年11月, 京都.

臨床生理学部門

〔誌 上 発 表〕

久野健志: 話題の新薬: 塩酸ナロキソン. 現代医療, 19(1): 440~447, 1987.

久野健志: 呼吸不全/検査法を中心に. RI シンチ. 現代医療, 19(7): 1951~1962, 1987.

久野健志: CO₂ ナルコーシス. 今日の治療指針 (医学書院) 29: 302~303, 1987.

久野健志: 呼吸不全 (分担執筆), 現代医療社, 1987.

加藤幹夫: 肺水腫; 病態分類と治療法. 岡田和夫, 沼田克雄編: 「麻酔科 Q & A」, 78~81, 金原出版, 東京, 1986.

加藤幹夫: 呼吸調節機序. 「特集 呼吸不全と呼吸管理」, 救急医学, 11: 15~23, 1987.

加藤幹夫, 梅宮正志: 酸塩基平衡の動き, “酸素療法” 適応とその実際, 治療69: 13~18, 1987.

加藤幹夫: 成人呼吸促迫症候群 (ARDS), Medicina, 24: 644~646, 1987.

加藤幹夫: Pco₂ の測定法とその読み方: 越川昭三編「酸塩基平衡」, 282.

大井元晴, 平井正志, 陳 和夫, 久野健志: 呼吸不全の病態—睡眠時呼吸異常. 結核: 63: 54~58, 1988.

山岡新八, 米倉義晴, 栗山隆信, 平井正志, 西村浩一, 久野健志: 慢性閉塞性肺疾患患者の ^{81m}Kr 心プールスキャンによる非侵襲的肺動脈圧計測の検討. 日本胸部疾患学会雑誌, 25(10), 1081~1088. 1987.

Yuichi Ishibe, Keita Suekane, Masato Nakamura, Takafumi Izumi, Takashi Umeda, Yanosuke Sagawa, Kimihiko Satoh and Motoharu Ohi: Measurement of lung water with double indicator dilution method using heat and sodium ions in dogs, Japanese Anesthesia Journal's Review 2(1), 5~7, 1987.

Carol Marshall, Yuichi Ishibe and Bryan E. Marshall: A combined in vivo/in vitro small animal model for studying pulmonary responses, Meth and Find Exptl Clin Pharmacol 10 (1): 5~11, 1988.

Masanori Fujita, Mark A. Schroeder, and Robert E. Hyatt : Canine Model of Chronic Bronchial Injury : Lung Mechanics and Pathologic-Changes. Am Rev Respir Dis, 137: 429~434, 1988.

S. Yamaoka, Y. Yonekura, H. Koide, M. Ohi, K. Kuno : Noninvasive method to assess cor pulmonale in patients with chronic obstructive pulmonary disease, Chest, 92(1) 10~17, 1987.

大井元晴：酸呼吸性アシドーシスの成因，症状，対策，酸塩基平衡，中外医学社，256~263，1987.

陳 和夫，大井元晴，久野健志：呼吸不全の基礎疾患「呼吸不全とその管理」，Medicina vol. 24, No. 4, 594~596, 1987.

藤田正憲：喀痰からの臨床分離株に対するニューキノロン製剤の MIC 比較，医学と薬学，18巻4号，1147~1153, 1987.

石部裕一，末包慶太，榎田高士，中村正人，泉 貴文，美濃吉峰：低酸素性肺血管収縮反応の経時変化，麻酔，36(1) 53~58, 1987.

石部裕一，末包慶太，中村正人，榎田高士，泉 貴文：低酸素性肺血管収縮に対するハロセン吸入の影響。麻酔，36(3) 356~362, 1987.

石部裕一，末包慶太，中村正人，泉 貴文，榎田高士：ハロセン局所吸入が低酸素性肺血管収縮反応に及ぼす影響，麻酔，36(6) 890~896, 1987.

市谷迪雄，弘野慶次郎，坪井裕志，小田芳郎，他1名：Latamoxef の気管支組織内への移行について，日本胸部疾患学会雑誌，25(4)：416~420, 1987.

坪井裕志，市谷迪雄，弘野慶次郎，佐々木正道：気管支 atypical carcinoid の1例。外科診療，29(6)：806~809, 1987.

水本明良，市谷迪雄，弘野慶次郎，坪井裕志，西川忠男，岡田慶夫：自然気胸の胸腔内持続吸引中に発生した再膨張性肺水腫の2例。日本胸部臨床，47(1)：65~69, 1988.

〔学会・研究会発表〕

久野健志：第27回日本胸部疾患学会「座長発言」，第27回日本胸部疾患学会総会，1987，4.

大井元晴：呼吸不全の病態—眼睡時呼吸異常。第62回日本結核病学会。シンポジウム肺結核後遺症としての呼吸循環不全，1987，4.

大井元晴，平井正志，陳 和夫，栗山隆信，祝 爾誠，関野 一，久野健志，越久仁敬，佐川弥之助：胸郭外陰圧式人工呼吸器と CPAP の併用効果，第27回日本胸部疾患学会総会，1987，4.

祝 爾誠，大井元晴，陳 和夫，平井正志，栗山隆信，久野健志，佐川弥之助：過換気後の過呼吸について，同上，1987，4.

佐藤公彦：ビタミンE欠乏における喫煙曝露のグルタチオンペルオキシダーゼシステムに与える影響，同上，1987，4.

三嶋理晃，山岡新八，福永隆文，久野健志： ^{133}Xe -静脈内持続注入法による肺のトポグラフィカルな換気・血流比分布の測定について—測定システムの妥当性に関する検討—，同上，1987，4.

福永隆文，山岡新八，三嶋理晃，久野健志：ランダム波オシレーション法による呼吸インピーダンスの呼吸相による影響，同上，1987，4.

陳 和夫，大井元晴，平井正志，栗山隆信，祝 爾誠，田中嘉人，山岡新八，平田博通，佐川弥之助：Moderate Hypoxia 時の眼睡時呼吸に関する検討，同上，1987，4.

山岡新八，平井正志，久野健志，西村浩一，栗山隆信，米倉義晴：COPD 患者の右室機能評価による非侵襲的肺動脈圧計測への検討，同上，1987，4.

川上賢三，吉田 仁，平林正孝，中川正清，三嶋理晃，久野健志：Asymmetrical branching model をもちいた呼吸インピーダンスの周波数特性の解析，同上，1987，4.

中村正人，美濃吉峰，泉 貴文，榎田高士，石部裕一，末包慶太：アルミトリンの低酸素性肺血管収縮に対する影響，同上，1987，4.

平井正志, 栗山隆信, 大井元晴, 陳 和夫, 祝 爾誠, 中村吉法, 松尾晃次, 久野健志, 佐川弥之助: 睡眠時無呼吸症候群に対する Acetazolamide の効果, 同上, 1987, 4.

中村正人, 美濃吉峰, 泉 貴文, 榎田高士, 石部裕一, 末包慶太: プロスタグランディン I₂ の低酸素性肺血管収縮に対する影響, 36回日本麻酔学会総会, 1987, 4.

越久仁敬, 大井元晴, 久野健志, 佐川弥之助: 呼吸調節系のダイナミック・レスポンス特性, 第26回日本 ME 学会総会, 1987, 4.

貴島源一, 神島 陽, 村尾 仁, 槇野茂樹, 河合正行, 栗山隆信, 関 庚燁, 茂在敏司: CAP 療法を通じての肺癌化学療法実施の経験—多施設共同研究開始に向けての諸問題—第6回大阪肺癌化学療法研究会, 1987, 4.

三嶋理晃, 田中瑩子, 山岡新八, 福永隆文, 久野健志: 酸素投与の肺内換気・血流比分布に及ぼす影響—¹³³Xe 静脈内持続注入法を用いて—, 京阪神肺機能研究会, 1987, 5.

陳 和夫, 大井元晴, 祝 爾誠, 久野健志, 平井正志, 栗山隆信: Mild hypoxia 時の睡眠時呼吸に関する検討, 同上, 1987, 5.

安田隆三郎, 他1名: 本院における開心術210症例の検討, 第23回滋賀県循環器研究会, 1987, 5.

大嶋真一, 市谷迪雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志, 西川忠男, 他1名: 胸壁神経鞘腫の三例, 第141回近畿外科学会, 1987, 5.

弘野慶次郎, 市谷迪雄, 坪井裕志, 西川忠男, 大嶋真一: 肺葉切除例における肺シンチによる肺血流, 換気及び換気血流比の検討, 第4回日本呼吸器外科学会総会, 1987, 5.

市谷迪雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志, 西川忠男, 小田芳郎: Ceftrizoxime の気管支組織内と肺組織内への移行について, 第35回日本化学療法学会総会, 1987, 5.

加藤幹夫: 老人の呼吸器感染症とその対策, 千里丘山田臨床医学談話会, 1987, 5.

水谷 哲, 藤川 潤, 八幡三喜男, 久保勝彦, 日下博文, 今井輝国, 五味邦英, 高木 康, 丹 司紅: CK 結合免疫グロブリンを伴った家族性無症候性高 CK 血症例, 第122回日本内科学会近畿地方会, 1987, 6.

福田正悟, 前川豊行, 鎌苅邦彦, 土肥佳郎: 左胸膜炎を疑わせた成人型 Bochdalek Hernia の1症例, 第176回大津赤十字病院院内集談会, 1987, 6.

赤対史郎, 河本英作, 平田健一, 向谷準一, 内橋正仁, 鏡 啓司, 深見隆則, 岡本良三, 三嶋理晃, 川上賢三: 肺原発性悪性黒色腫と考えられた1例, 第29回日本胸部疾患学会近畿地方会, 1987, 6.

福永隆文, 山岡新八, 田中瑩子, 川上賢三, 三嶋理晃, 久野健志: 食道内圧を利用した PANTING による FRC の測定, 同上, 1987, 6.

田中瑩子, 三嶋理晃, 福永隆文, 山岡新八, 久野健志, 網谷良一, 田中栄作: ¹³³Xe- 持続注入法による各種肺疾患の換気血流比分布の比較及び酸素投与の影響, 同上, 1987, 6.

富岡洋海, 網谷良一, 久世文幸, 三嶋理晃, 伊藤春海: 気道疾患に対する Tc-99m-MAA 肺血流シンチグラフィの有用性, 同上, 1987, 6.

西川忠男, 市谷迪雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志, 大嶋真一, 他4名: 汎血球減少を伴った非定型抗酸菌症の1例, 同上, 1987, 6.

弘野慶次郎, 市谷迪雄, 坪井裕志, 西川忠男, 大嶋真一, 他2名: 原発性クリプトコッカス症の1例, 第30回日本胸部外科学会関西地方会, 1987, 7.

福田正悟, 鎌苅邦彦, 土肥佳郎: 左胸膜炎を疑わせた成人型 Bochdalek Hernia の1症例, 同上, 1987, 7.

杉田隆彰, 安田隆三郎: Björk-Shiley 弁 mono strut fracture の1手術治験例同上, 1987, 7.

坪井裕志, 市谷迪雄, 弘野慶次郎, 西川忠男, 平松義規: 無作為抽出によって治療した N₂ 肺癌症例の予後検討, 第47回日本肺癌学会関西支部会, 1987, 7.

水谷 哲, 鍵岡 均, 藤森 明, 福井基成, 藤田正憲, 倉田昌彦, 滝 俊彦: 中葉症候群を呈したサルコイドーシスの1例, 第31回近畿気管支鏡懇話会, 1987, 7.

福田正悟, 前川豊行, 鎌苅邦彦, 土肥佳郎: 左胸膜炎を疑わせた成人型 Bochdalek Hernia の1症例, 第29回滋賀呼吸器疾患談話会, 1987, 7.

越久仁敬, 佐藤公彦, 佐川弥之助: 横隔膜弛緩症の1手術例: 同上, 1987, 7.

- 加藤幹夫：酸・塩基平衡，第6回実践肺機能講座，1987，7.
- 加藤幹夫：術後肺合併症の病態と管理，第4回呼吸療法士研修会，1987，8.
- 加藤幹夫：血液ガスの臨床評価，第27回臨床肺機能講習会，1987，8.
- 加藤幹夫：術前術後の肺機能，第27回臨床肺機能講習会，1987，8.
- 大井元晴：睡眠時呼吸障害の治療並びに管理—連続加圧呼吸，第8回呼吸管理研究会，1987，8.
- 福永隆文，山岡新八，田中瑩子，川上賢三，三嶋理晃，久野健志，西村浩一，泉 孝英：慢性肺気腫の気道インピーダンス—各種肺機能検査値，胸部CTとの関連について，第35回閉塞性肺疾患研究会，1987，8.
- 杉田隆彰，安田隆三郎：腹部大動脈瘤25手術症例の検討，第25回京滋奈良循環器懇話会，1987，8.
- 久野健志：第26回肺機能セミナー，1987，8.
- 久野健志：第24回日本臨床生理学会総会座長発言，1987，9.
- 福永隆文，山岡新八，田中瑩子，川上賢三，三嶋理晃，久野健志，西村浩一，泉 孝英：慢性肺気腫患者におけるランダム・ノイズ・オシレーション法による気道インピーダンスの特徴，第24回日本生理学会総会，1987，9.
- 陳 和夫，大井元晴，山岡新八，久野健志，平井正志：両側声帯不全麻痺例の睡眠時異常呼吸に関する検討，同上，1987，9.
- 山岡新八，三嶋理晃，福永隆文，大井元晴，田中瑩子，久野健志：COPD患者の肺生心における病態と左右心機能の関連について，同上，1987，9.
- 鍵岡 均，藤森 明，福井基成，水谷 哲，小中義照，藤田正憲，陳 和夫：DPB様症状で発症しVEPA療法にて改善したATLの1症例，第123回日本内科学会近畿地方会，1987，9.
- 弘野慶次郎，市谷迪雄，坪井裕志，西川忠男，平松義規：肺葉切除術例における肺シンチによる肺血流，換気及び換気血流比の検討Ⅱ. 第23回日本赤十字社医学総会，1987，9.
- 市谷迪雄，弘野慶次郎，坪井裕志，西川忠男，平松義規：Giant bullaeの手術後の肺機能の変化，同上，1987，9.
- 福田正悟，前川豊行，鎌苅邦彦，土肥佳郎：Etoposide CQ. MMCにて気管支動脈注入療法(BAI)を施行した肺癌13例の治療成績，同上，1987，9.
- 前川豊行，徐 以政，鎌苅邦彦，福田正悟，土肥佳郎：自然気胸に対し，フィブリン糊を使用した1症例，第177回大津赤十字病院院内集談会，1987，9.
- 鎌苅邦彦，前川豊行，福田正悟，土肥佳郎：肺化膿症の1例，滋賀県感染症懇話会，1987，9.
- C. Marshall, Y. Ishibe and B. E. Marshall: Inhibition of Hypoxic Constriction: Synthesis of vasodilator or consumption of substrate. 1987 Annual Meeting American Society of Anesthesiologists. 1987 10. Atlanta USA (Anesthesiology 67(3A) Suppl. p. A325, 1987).
- 藤川 潤，水谷 哲，友田伊一郎，江口 忠：当院での超音波内視鏡の臨床応用，第39回日本消化器内視鏡学会近畿地方会，1987，10.
- 藤田正憲：MICと組織内移行からみたTarividの有用性について，ニューキノロンの基礎と臨床，1987，10.
- 弘野慶次郎，市谷迪雄，坪井裕志，西川忠男，平松義規：肺葉切除例における肺シンチによる肺血流，換気及び換気血流比の検討，第40回日本胸部外科学会総会.
- 杉田隆彰，安田隆三郎：Myopathic-nephrotic-metabolic syndromeの1救命例，第6回滋賀救急医療研究会，1987，10.
- 久野健志：第60回日本結核病学会第30回日本胸部疾学会近畿地方会会長発言，第60回日本結核病学会第30回日本胸部疾患学会近畿地方会，1987，11.
- 吉田 仁，平林正孝，川上賢三，中川正清：アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の1治験例，同上，1987，11.
- 木村哲郎，関野 一，平井正志：気管支喘息におけるピークフロー連日測定の意義，同上，1987，11.
- 遠藤和夫，中村吉法，陳 和夫，越久仁敬，西垣正憲，北 英夫，大井元晴，久野健志，土師知行，佐川弥之助：気管支狭窄症の1症例，同上，1987，11.

田中嘉人, 服部 登, 三嶋理晃, 佐藤公彦, 久野健志, 関野 一: α -フェトプロテイン産生肺癌の一例, 同上, 1987, 11.

中村吉法, 陳 和夫, 大塚直紀, 中出雅治, 坪井知正, 服部 登, 大井元晴, 久野健志, 酒井直樹, 立川道雄: 過換気テストにより過換気および低酸素血症の誘発された過換気症候群の1例, 同上, 1987, 11.

坪井裕志, 市谷迪雄, 弘野慶次郎, 西川忠男, 平松義規: 肺手術前後の胸郭前後径運動の変化, 同上, 1987, 11.

関野 一, 木村哲郎, 平井正志, 陳 和夫, 大井元晴, 久野健志: 在宅人工呼吸施行中の筋萎縮性側索硬化症の1例. 同上, 1987, 11.

梅宮正志, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 木下良太, 森中節子, 西本和彦: Wegener 肉芽腫症の1例, 同上, 1987, 11.

川島敦子, 栗山隆信, 槇野茂樹, 貴島源一, 関 庚輝, 茂在敏司: 軽症糖尿病に発症した縦隔峰窩織炎の1例, 同上, 1987, 11.

松尾晃次, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 三嶋理晃, 久野健志: Swyer-James 症候群の1例, 同上, 1987, 11.

松尾晃次, 藤編直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 白川太郎, 日下幸則: 超硬合金喘息の1例, 同上, 1987, 11, 同上, 1987, 11.

福井基成, 稲垣暢也, 塚本達雄, 進藤高士, 水谷 哲, 鍵岡 均, 田中瑩子, 藤田正憲: 持続する高熱を主症状としたウェゲナー肉芽腫症の2症例, 同上, 1987, 11.

水谷 哲: 急性呼吸不全, DIC, 急性腎不全を呈するも救命しえた粟粒結核の1例, 第2回大阪感染症懇話会, 1987, 11.

坪井裕志, 市谷迪雄, 弘野慶次郎, 西川忠男, 平松義規: III期 (N₂) 非小細胞癌の手術療法と術後 COMF 療法の成績と限界, 第8回日本肺癌学会総会, 1987, 11.

松井祐佐公, 市谷迪雄, 他: III, IV期小細胞癌に対する VP16, CDDP, CTX 三剤併用療法, 同上, 1987, 11.

祖父江友孝, 市谷迪雄, 他: 緑黄色野菜及びビタミン剤摂取と肺癌罹患の関係, 多施設共同症例対象研究の結果, 同上, 1987, 11.

平林正孝, 吉田 仁, 川上賢三, 中川正清, 三嶋理晃, 久野健志: CDDP投与時の Fosfomycin (FOM) 併用効果の検討, 同上, 1987, 11.

平林正孝, 吉田 仁, 川上賢三, 中川正清, 三嶋理晃, 久野健志: IV期非小細胞肺癌症例の検討, 同上, 1987, 11.

加藤幹夫: 肺機能検査, 総論, 全国肺機能学習会 (1987. 11. 上海医科大学中山医院)

加藤幹夫: 肺機能検査, 症例呈示, 全国肺機能学習会 (1987. 11. 上海医科大学中山医院)

中出雅治, 陳 和夫, 三嶋理晃, 大井元晴, 佐藤公彦, 久野健志: I期, II期肺癌における腫瘍マーカーの臨床的意義, 第10回京都大学結核胸部疾患研究所臨床肺生理学部門研究会, 1987, 12.

越久仁敬, 福永隆文, 佐川弥之助, 酒井直樹, 佐藤公彦: 横隔膜弛緩症の一例, 同上, 1987, 12.

堀川禎夫, 南方良章, 新実彰男, 鈴木雄二郎, 西山秀樹, 前川暢夫: 肺癌における BAI の有用性の検討, 同上, 1987, 12.

吉田 仁, 平林正孝, 川上賢三, 中川正清: RI bolus 注入による First pass 肺循環動態の検討 (第一報), 同上, 1987, 12.

水谷 哲, 稲垣暢也, 南方 保, 福井基成, 鍵岡 均, 田中瑩子, 藤田正憲: 急性呼吸不全, DIC, 急性腎不全を呈するも救命しえた粟粒結核の1例, 同上, 1987, 12.

鎌苅邦彦, 坪井知正, 前川豊行, 福田正悟, 土肥佳郎: 排気ガス-CO 中毒の一経験例, 同上, 1987, 12.

矢野博正: プレドニン, エリスロシン併用にて著効を示した DPB の1例, 同上, 1987, 12.

関 剛: 肺結核の疑いにて入院した肺胞蛋白症の1例, 同上, 1987, 12.

松尾晃次, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎: Asbestosis の1例, 同上, 1987, 12.

- 木村哲郎, 関野 一, 平井正志: ピークフロー測定による気管支喘息の管理, 同上, 1987, 12.
- 中井直治, 奥井克治, 鍵岡 朗, 稲葉宣雄, 西川忠雄, 河野慶次郎, 市谷迪雄: 開胸肺生検で診断のついたサルコイドーシスの2例, 同上, 1987, 12.
- 大成功一: CZX (エポセリン) による薬物性肺臓炎が疑われた1例, 同上, 1987, 12.
- 栗山隆信, 柴田美弥, 関 庚輝, 茂在敏司: 自然気胸と交代性反復性胸水を伴った宮崎肺吸虫症の1例, 同上, 1987, 12.
- 加藤達治, 築城健義: 気管平滑筋腫の1例, 同上, 1987, 12.
- 吉田 仁, 平林正孝, 川上賢三, 中川正清: CEA 産性, 異所性気管原性嚢胞の1例, 同上, 1987, 12.
- 坪井裕志, 西川忠雄, 河野慶次郎, 市谷迪雄: 当院における肺癌手術成績について, 同上, 1987, 12.
- 村尾 仁, 後藤 功, 楨野茂樹, 貴島源一, 神島 陽, 河合正行, 栗山隆信, 関 庚輝, 茂在敏司, 傍島 徹, 垣内成泰, 山本隆一: 右 S³ の浸潤影に始まり約2ヶ月の経過で右肺全体に広がったびまん性肺疾患の1例, 第39回びまん性肺疾患研究会, 1987, 12.
- 富岡洋海, 田中栄作, 網谷良一, 倉沢卓也, 川合 満, 久世文幸, 三嶋理晃, 伊藤春海: 慢性気道疾患に対する^{99m}Tc-MAA 肺血流 Scintigraphy の有用性, 第3回京大胸部研内科学第1部門合同研究会, 1987, 12.
- 鎌苅邦彦, 坪井知正, 徐 以政, 前川豊行, 福田正悟, 土肥佳郎: 大脳淡蒼球変化を伴った一酸化炭素中毒(排気ガス)の後遺症なく救命し得た1例, 第178回大津赤十字病院院内集談会, 1987, 12.
- 杉田隆彰, 安田隆三郎: 修正大血管転移症に対する左側房室弁置換術の1例, 第16回近畿心臓外科研究会, 1987, 12.
- 加藤幹夫: 呼吸調節, 第7回実践肺機能講座, 1987, 12.
- 陳 和夫: 肺機能正常例における呼吸異常. 昭和62年度京都大学結核胸部疾患研究所学術講演会, 1988. 1.
- 吉田 仁, 平林正孝, 川上賢三, 中川正清: CEA 産生性を証明し得た傍食道壁発生の気管支原性嚢胞の一治験例, 第48回日本肺癌学会関西支部会, 1988, 2.
- 水谷 哲, 鍵岡 均, 福井基成, 藤田正憲, 日下博文, 伊東秀文, 加来倭磨: 重症筋無力症型から Eaton-Lambert 型に筋電図所見が変化した Myasthenic syndrome を呈する肺小細胞癌の1例, 第48回日本肺癌学会関西支部会, 1988, 2.
- 平松義規, 市谷迪雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志, 西川忠男: 当院における肺癌手術成績, 第48回日本肺癌学会関西支部会, 1988, 2.
- 藤田正憲: 呼吸器感染症と抗菌化学療法剤: Fluoroquinolone 系薬剤について, 第2回近畿呼吸器疾患談話会, 1988, 2.
- 川喜田睦司, 安田隆三郎, 他3名: 食道平滑筋腫を合併した縦隔セミノーマの1例, 第122回日本泌尿器科学会関西地方会, 1987, 2.
- 越久仁敬, 陳 和夫, 三嶋理晃, 大井元晴, 久野健志: 多次元自己回帰モデルによる呼吸調節系の動的特性の同定, 第8回「呼吸の ME 研究会」, 1988, 3.
- 越久仁敬, 平井正志, 陳 和夫, 大井元晴, 久野健志: 運動時の換気応答の動的特性, 同上, 1988, 3.
- 坪井知正, 前川豊行, 鎌苅邦彦, 福田正悟, 土肥佳郎: 最近経験した粟粒結核症の2例, 第179回大津赤十字病院院内集談会, 1988, 3.
- 杉田隆彰, 安田隆三郎: 医原性と思われる解離性大動脈瘤の1治験例, 第26回京滋奈良循環器懇話会, 1988, 3.
- 越久仁敬, 佐川弥之助, 他: 多彩な臨床経過をとった皮膚筋炎の1例. 第28回滋賀呼吸器疾患談話会, 1988, 3.

薬 剤 部 門

〔学会・研究会・講演発表〕

佐野雅俊, 川勝一雄, 大北智恵子, 上田順子, 吉川恵津子, 山本育由, 後藤光良, 武山正治, 山科 肇: ヒトにおけるピリドンカルボン酸系抗菌剤のテオフィリンおよびその尿中代謝物に及ぼす影響. 日本薬学会第107年会 (1987. 4. 4. 京都).

岸本育子, 谷川原祐介, 奥村勝彦, 堀 了平, 川勝一雄, 武山正治: 疾患時の薬物動態と薬効 (24) —低酸素血症モデルにおける Theophylline の体内動態. 日本薬学会第107年会 (1987. 4. 4. 京都).

川勝一雄, 武山正治, 川合 満, 西村浩一: 徐放性製剤投与後の血中テオフィリン濃度の予測性. 第2回薬物モニタリング全国交流会 (1987. 5. 24. 東京).

川勝一雄: テオフィリンの薬物治療モニタリング—その実際—, 第27回薬物治療モニタリング研究会 (1987. 7. 26. 東京).

川合 満, 河南里江子, 加藤元一, 倉澤卓也, 久世文幸, 川勝一雄, 武山正治, 岸本育子, 谷川原祐介, 堀了平: テオフィリン点滴静注療法 of 臨床薬理学的検討. 第37回日本アレルギー学会 (1987. 10. 9. 東京).

川勝一雄: TDM の有効利用法—解析結果と臨床効果の不一致例—. 日本 TDM 学会第9回セミナー (1987. 12. 5. 大阪).

川勝一雄: TDM 症例検討シリーズ—テオフィリン—. 大阪 TDM 倶楽部第15回例会 (1988. 1. 23. 大阪).

川勝一雄: 服薬指導—テオフィリンを中心に—. 第7回近畿病薬 TDM 懇話会 (1988. 2. 27. 大阪).

〔誌 上 発 表〕

川合 満, 川勝一雄, 武山正治: β 刺激薬. 現代医療19(5), 1433-1443, 1987.

川勝一雄, 川合 満: キサンチン誘導体の見直し. Medicina 24(10), 1928-1929, 1987.

川勝一雄, 岡部好恵, 木野稔也, 千熊正彦: 血清中テオフィリン濃度測定における Particle-Enhanced Turbidity-metric Inhibition Immunoassay の評価. 病院薬学13(6), 366-372, 1987.

川勝一雄, 川合 満: テオフィリン: 臨床薬理学と至適投与設計の考え方. Therapeutic Research 8(1), 33-83, 1988.

川勝一雄, 川合 満: テオフィリンの TDM の実際と至適投与設計. Pharma Medica 6(2), 67-84, 1988.

川合 満, 川勝一雄: テオフィリン. 呼吸7(2), 192-201, 1988.